

# 平成 29 年度行政栄養士による活動事例

平成 30 年 9 月  
公益社団法人 日本栄養士会  
公衆衛生事業部

## 【趣旨】

行政栄養士の公衆栄養業務におけるマネジメント力、事業計画力や事業推進力の向上を目指し、地域保健対策の実践に役立てるため、公衆衛生事業部会員による活動事例を収集し、事例集を作成します。

## 【テーマ】

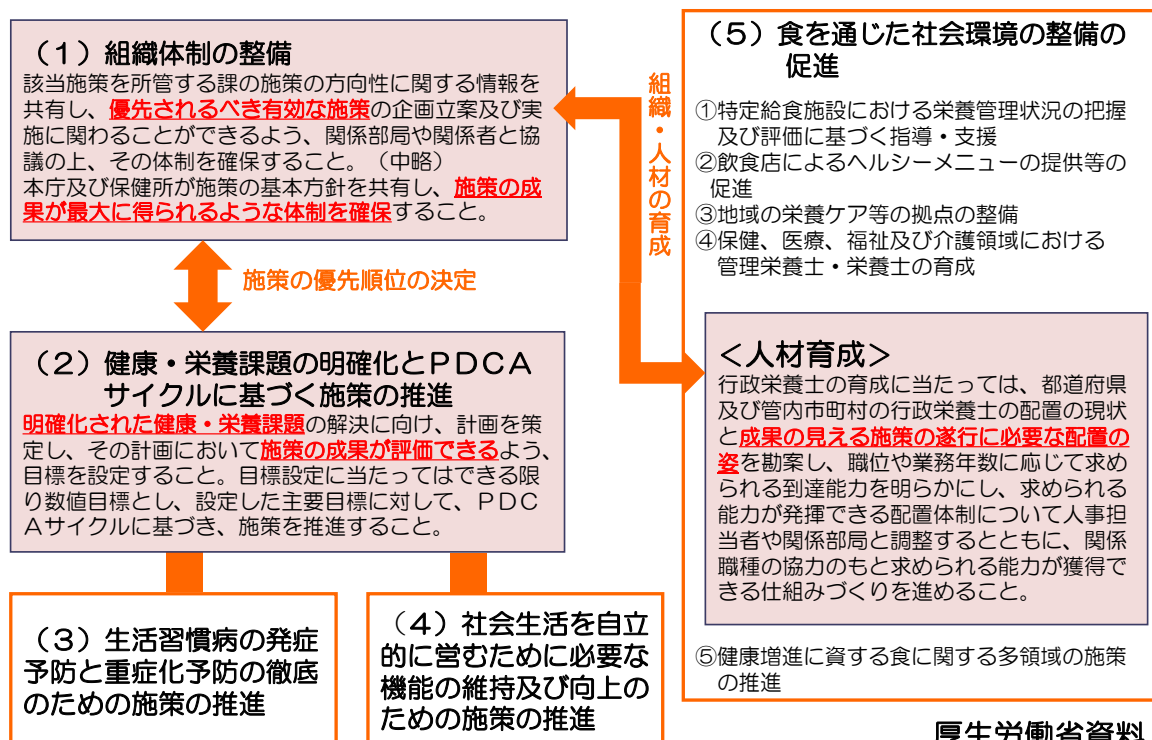
行政栄養士による健康づくり及び栄養・食生活の改善の基本方針（行政栄養士業務指針）（平成 25 年 3 月 29 日健が発 0329 号第 4 号 厚生労働省健康局がん対策・健康増進課長通知）では、栄養施策の成果を最大に得るために、都道府県、保健所設置市、市町村における業務の基本的な考え方を下図のとおり、（１）と（２）に基づき、（３）（４）（５）の具体的な施策を展開する構成となっています。

そこで、業務指針の（３）（４）（５）をテーマとして、具体的な活動事例を収集しました。

活動事例のテーマ（３）（４）（５）は、次のとおりです。

- （３）生活習慣病の発症予防と重症化徹底のための施策の推進
- （４）社会生活を自律的に営むために必要な機能の維持及び向上のための施策の推進
- （５）食を通じた社会環境の整備の促進

### ◆健康日本２１（第二次）と行政栄養士の業務の推進 ～施策の成果を最大に得るためには～



## 【重点テーマ】

業務指針では、健康寿命の延伸及び健康格差の縮小の実現に向けて、生活習慣病の発症予防や重症化の予防を図るとともに、社会生活を営むために必要な機能の維持や向上を目指し、新しい時代の要請に対応するため、行政栄養士の役割が期待されています。

また、2025 年に向けて、高齢者に包括的な支援・サービスを提供するための地域包括ケアシステムの構築は市町村の責務とされており、低栄養等の栄養課題への対応に向けた取組に期待が寄せられています。施策の推進市町村行政栄養士の配置促進による組織体制整備も求められています。

そこで、今年度は重点テーマを (4) 社会生活を自律的に営むために必要な機能の維持及び向上のための施策の推進 とし、以下の取組の事例を積極的に収集しました。

- 高齢者の健康増進、介護予防及び介護保険等での栄養・食生活支援を効果的に行う体制の確保
- 低栄養傾向や低栄養の高齢者の実態把握及びその背景の分析等を進め、改善に向けた効果的な計画の立案、取組の展開
- 地域包括ケア体制全体の中で、優先的に解決すべき栄養の課題について、他職種と情報を共有し、連携して取り組む体制の確保
- 高齢者に必要な栄養・食生活支援について、関係部局や関係機関と調整した具体的な取組

## 【掲載事例】

活動事例は、原則として各都道府県単位で 2 事例（実施主体が都道府県のを 1 事例、保健所設置市及び特別区、市町村が実施主体のを 1 事例）として掲載しています。

## 【目次】

- 活動事例のテーマ (3) (4) (5) は、次のとおりです。
  - (3) 生活習慣病の発症予防と重症化徹底のための施策の推進
  - (4) 社会生活を自律的に営むために必要な機能の維持及び向上のための施策の推進
  - (5) 食を通じた社会環境の整備の促進
- 区分の「県」は都道府県が実施主体の事例、「市」は保健所設置市、特別区、市町村が実施主体の事例となっています。
- 重点テーマの事例を、「◎」で示しています。

| 都道府県名 | 事例<br>No | 実施主体    | 事業名                                | 概要                                                                                                   | 事例の<br>テーマ |     |     | 区分 |   | 添付資料 |
|-------|----------|---------|------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------|-----|-----|----|---|------|
|       |          |         |                                    |                                                                                                      | (3)        | (4) | (5) | 県  | 市 |      |
| 北海道   | 1        | 胆振総合振興局 | 平成 28 年度西胆振管内行政栄養業務担当者研修会          | 管内の行政栄養業務担当者を対象に、高齢者の食の支援の実践方法を学ぶ研修会を実施した。研修後、担当者の意識が向上し、関係会議への出席や関連研修会に参加するなどの行動が見られた。              |            |     | ○   | ○  |   |      |
|       | 2        | 鷹栖町     | おたっしや料理教室                          | 60 歳以上の町民を対象に調理実習を通して、簡単かつ健康的な料理を知る機会を提供し、高齢者にバランスのとれた食生活を身に付けてもらう。                                  |            | ◎   |     |    | ○ |      |
| 岩手県   | 3        | 洋野町     | 洋野町食生活改善推進員協議会と協働した脳卒中死亡率減少の取り組み   | 一般住民を対象に、食生活改善推進協議会と行政との協働により、健康教室を実施した。適切な塩分量や栄養バランスのとれた食事と適量などについて、広く周知している。                       | ○          |     |     |    | ○ |      |
|       | 4        | 大船渡保健所  | 気仙地域食形態基準の作成                       | 管内の病院、老人福祉施設、障がい者施設等の嚥下調整食の食形態ごとに「気仙地域統一名称」を定め、ICT（情報通信技術）システム上で「栄養管理情報提供書」の内容を共有できるシステムを構築した。       |            |     | ○   |    | ○ | 有    |
| 宮城県   | 5        | 塩釜保健所   | 食品表示法に基づく食品の栄養成分表示の適正化に向けた業務       | 栄養成分表示のうち、義務表示を食品事業者が簡単に行うツールとして「食品に栄養表示をする際のチェックリスト(基本編)」を作成し、普及している。この活用により、相談事業の効率化にある一定の効果があつた。  |            |     | ○   | ○  |   |      |
|       | 6        | 七ヶ浜町    | 特定保健指導における「尿中ナトリウム・カリウム比值」を用いた栄養指導 | 特定健康診査結果における高血圧予備軍該当者に対し、血圧、尿中ナトリウム・カリウム比及び食事内容をモニタリングし、指導を行った結果、平均血圧値などで改善が見られた。                    | ○          |     |     |    | ○ |      |
| 秋田県   | 7        | 健康推進課   | 野菜で元気！応援事業                         | 1 日の野菜摂取目標量を意識づけ、野菜摂取量の増加を図るための「協力店」を募り、「野菜を食べようキャンペーン」を展開した。協力店が増え、野菜摂取量の認識が高まった。                   | ○          |     |     | ○  |   | 有    |
|       | 8        | 羽後町     | 食育活動推進事業「食に関する指導」                  | 家庭でのうす味習慣の意識づけを図るため、小学 3 年生親子に味覚体験と自然だしを使った郷土料理の調理実習を実施した。味覚経験により、自然だしの大切さや旨味を生かした料理を作りたいという意識が高まった。 | ○          |     | ○   |    | ○ |      |
| 山形県   | 9        | 村山保健所   | 「村山地域おすすめ健康レシピ集」の作成                | 保健所管内の栄養士が、様々な健康教室で活用できる「共同レシピ集」を作成し、レシピ集を活用した健康づくりを推進した。今後、活用状況を把握し、評価する予定である。                      | ○          |     |     | ○  |   |      |

| 都道府県名 | 事例<br>No | 実施主体       | 事業名                                | 概要                                                                                                   | 事例の<br>テーマ |     |     | 区分 |   | 添付資料 |
|-------|----------|------------|------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------|-----|-----|----|---|------|
|       |          |            |                                    |                                                                                                      | (3)        | (4) | (5) | 県  | 市 |      |
|       | 10       | 天童市        | 個別糖尿病予防教室                          | 糖尿病が強く疑われる者を対象に9回コースで教室を実施した。個別目標を設定し、食事内容、体重や歩数など記録し、教室前後の血液検査で評価することにより、食生活改善への意識と行動につながった。        | ○          |     |     |    | ○ |      |
| 福島県   | 11       | 県中保健福祉事務所  | 県中地域における子どもの食育実態調査を踏まえた食習慣改善への取り組み | 食育実態調査を踏まえたリーフレットを作成し、乳幼児を持つ保護者への啓発を図るため、保育士や幼稚園教諭を対象に指導者研修会を開催した。参加施設でリーフレットが活用され、食育の環境づくりにつながった。   | ○          |     | ○   | ○  |   |      |
| 茨城県   | 12       | 日立保健所      | いばらき健康づくり支援店を通した食環境整備の推進           | 支援店が適塩や野菜提供増に取り組めるよう、市、県、商工会議所等と連携し「支援店関係者会議」を開催した。支援店同士が取組への意識を高め、関係者が共同でPR資料を作成・配布し、推進体制の整備につながった。 | ○          |     | ○   | ○  |   |      |
| 栃木県   | 13       | 県西健康福祉センター | 県西地区における地域栄養ケアシステムの構築に向けた取組        | 関係機関が主導で栄養ケア体制を推進するためのサポートとして、地域連携栄養ケア研究会を設置した。食事形態表や栄養剤の情報の共有及び活用を検討し、地域の栄養ケア体制の課題に取り組んだ。           |            | ◎   |     |    | ○ | 有    |
|       | 14       | 宇都宮市       | 高校・大学等との食育連携事業                     | 若い世代の正しい食習慣の定着を目指して、市主催の「食育フェア」に、                                                                    |            | ○   |     | ○  |   | 有    |
|       |          |            |                                    | 食育に関心が低い若い世代である学生自身が主体的に参画できるよう支援・連携を図った。                                                            |            |     |     |    |   |      |
| 群馬県   | 15       | 群馬県        | 特定給食施設等指導事業におけるワークシートの作成及び活用       | 優先的・効果的な施設指導につなげるため、管内給食施設の現状・課題を把握、達成目標を明確にするためのワークシートを作成し、活用を図り、指導事業を評価している。                       |            |     | ○   | ○  |   |      |
|       | 16       | みなかみ町      | 糖尿病予防及び重症化予防事業                     | 特定健診時の栄養指導やアンケート、健診後の受診勧奨、健康づくり教室を通して、正しい知識の提供及び実技指導を行い、次年度の特定健診で評価する。                               | ○          |     |     |    | ○ |      |
|       | 17       | 板倉町        | ふれあい昼食会                            | BMI20以下（低栄養）の一人暮らし高齢者を対象に、食事を通じた交流を行い、外出と仲間づくり、食事を見直す機会を提供し、低栄養の予防のための食生活の改善を図る。                     |            | ◎   |     |    | ○ |      |
| 埼玉県   | 18       | 神川町        | なっちゃんカフェ（認知症カフェ）                   | 福祉・保健・ボランティアが連携し、認知症当事者や介護者の支援・相談、食事の改善指導が受けられる場として、認知症カフェを実施している。参加者及びボランティアが共に増加し、関心が高まっている。       |            | ◎   | ○   |    | ○ | 有    |

| 都道府県名 | 事例<br>No | 実施主体                | 事業名                                    | 概要                                                                                                    | 事例の<br>テーマ |     |     | 区分 |   | 添付資料 |
|-------|----------|---------------------|----------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------|-----|-----|----|---|------|
|       |          |                     |                                        |                                                                                                       | (3)        | (4) | (5) | 県  | 市 |      |
| 東京都   | 19       | 島しょ保健所              | 島しょ地域における栄養・食生活の状況調査                   | 保健所栄養士と町村栄養士が共に、食事調査手法について学び、会議で地域課題や調査方法の検討を行い、食事調査を実施した。調査結果による現状と課題を島民に向けて広く公表した。                  | ○          |     |     | ○  |   | 有    |
| 神奈川県  | 20       | 平塚保健福祉事務所<br>秦野センター | 地域食生活対策推進協議会<br>(低栄養・フレイル・介護予防対策)      | 地域の食環境整備のための事業の企画・立案・評価等の機能を担う「地域食生活対策推進協議会」を開催し、地域の特性に応じた優先度を考慮したテーマを選定し、事業を実施した。                    |            | ◎   | ○   | ○  |   |      |
|       | 21       | 相模原市                | 相模原市特定保健指導プログラム<br>「脱！メタボランチ体験クッキング教室」 | 特定保健指導対象者(参加希望者)が、食習慣の改善が継続できるよう、講義と試作、試食という体験を通して、食事に関する具体的手法を知り、自宅での再現性を高めるためのプログラムを実施した。           | ○          |     |     |    | ○ | 有    |
| 新潟県   | 22       | 佐渡地域振興局             | 高校生の生活習慣に関する実態調査                       | 高等学校での食育推進体制を構築するため、基礎資料となる栄養・生活習慣の実態調査を高校、特別支援学校、佐渡市健康推進協議会、佐渡市と連携して実施した。                            |            |     | ○   | ○  |   |      |
|       | 23       | 新潟市保健所              | 「うす味でおいしい病院食」提供のための病院支援                | 脳血管疾患・胃がんによる死亡率減少のため、新潟病院給食研究会と連携し、減塩モデル病院の取組を支援するとともに、市民向けに病院食の料理レシピ集の作成、調理講習会の開催等、病院を起点とした減塩の普及を行う。 |            |     | ○   |    | ○ | 有    |
| 富山県   | 24       | 富山市                 | 保健・医療・福祉ネットワーク事業<br>(けんこう相談会)          | 生活習慣病予防に関する正しい知識の普及啓発や改善の支援として「健康チェック」「みそ汁の塩分濃度測定」「個別相談」を住民に身近な公民館で継続して行った。生活習慣病への理解と改善につなげることができた。   | ○          |     |     | ○  |   |      |
|       | 25       | 砺波厚生センター            | 職域栄養士等研修会及び管内栄養士協議会支援                  | 医療・福祉施設に勤務する管理栄養士・栄養士が地域包括ケアにおける役割を理解し、栄養管理につなげられるための研修会(講義・GW・試食)を開催し、食形態の学習や情報共有により、各施設が連携を図った。     |            | ◎   |     |    | ○ |      |
| 福井県   | 26       | 丹南健康福祉センター          | 栄養管理連絡票の活用とネットワークの構築事業                 | 栄養管理情報交換ツールを共有し、転院、転所時に関係する管理栄養士間での情報共有を図ることで、管内の地域包括ケアシステムにおける栄養管理のネットワークづくりを目指す。                    |            | ◎   |     | ○  |   |      |
|       | 27       | 越前市                 | 越前市健康21推進事業<br>～減塩を中心とした無関心層への働きかけ～    | 市健康21計画では、減塩が課題とされていることから、減塩啓発の取組みとして、2歳6か月健診時にみそ汁を持参してもらい、薄味への意識変容を図っている。                            | ○          |     |     |    | ○ |      |

| 都道府県名 | 事例<br>No | 実施主体       | 事業名                                       | 概要                                                                           | 事例の<br>テーマ |     |     | 区分 |   | 添付資料 |
|-------|----------|------------|-------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------|------------|-----|-----|----|---|------|
|       |          |            |                                           |                                                                              | (3)        | (4) | (5) | 県  | 市 |      |
| 山梨県   | 28       | 昭和町        | はつらつ栄養教室                                  | 地域に暮らす 65 歳以上の方の食生活改善と介護予防の意識の向上を図るとともに、事業に携わる食生活改善推進員の資質向上を目指している。          |            | ◎   |     |    | ○ |      |
| 長野県   | 29       | 北信地域振興局    | ベジ食べ！北信州                                  | 健康に配慮したヘルシーメニューを提供する店舗における注文の増加を図るために、農政課、商工観光課、保育所、学校等が連携した取組により、喫食数が増加した。  | ○          |     | ○   | ○  |   |      |
|       | 30       | 山ノ内町       | 介護予防・生活支援サービス事業「栄養講座」                     | 低栄養項目の該当者を対象とした教室を実施している。口腔機能を低下させないための食事への理解を図り、介護予防及び健康長寿を目指す。             |            | ◎   |     |    | ○ |      |
| 岐阜県   | 31       | 関保健所       | 企業・職場給食等と協働した働く世代へのアプローチ                  | 脂質異常症、高血圧、肥満に係る生活習慣病を予防するために、野菜摂取量の増加を目指すため、働く世代へのアプローチに取り組んだ。               | ○          |     | ○   | ○  |   |      |
|       | 32       | 可児市        | 骨粗しょう症予防教室                                | 55 歳～60 歳を対象に、骨粗しょう症予防として講話・調理実習・運動の内容を取り入れた予防教室を実施した。                       |            | ○   |     |    | ○ |      |
| 静岡県   | 33       | 東部健康福祉センター | 働き盛り世代の健康支援を考える～健康課題の解決に向けて、事業所と連携した取組経過～ | 肥満、高血圧、習慣的喫煙の健康課題の解決に向け、モデル事業所 4 ヶ所において各部門と連携し、食堂や健診会場等を活用した健康づくりの支援を行った。    | ○          |     |     | ○  |   |      |
|       | 34       | 富士宮市       | 介護予防普及啓発事業～健康講座（複合教室）での栄養改善の取り組み～         | 介護予防として運動・口腔・栄養の複合プログラムを実施し、特に栄養改善では食事の多様性得点チェック表により低栄養予防に取り組んだ。             |            | ◎   |     |    | ○ |      |
| 愛知県   | 35       | 名古屋市西保健所   | 高校生の食育推進について                              | 食事に関心を持ち、朝食を摂取する高校生・大学生を増やすため、ピアエデュケーションの要素を取り入れた体験型食育プログラムを企画・実施した。         | ○          |     |     |    | ○ |      |
| 滋賀県   | 36       | 東近江健康福祉事務所 | 介護支援専門員による栄養・口腔アセスメントに関する実態調査             | 退院時の連携として、介護支援専門員による栄養・口腔アセスメントの実態把握と課題抽出に取り組んだ。                             |            | ◎   |     | ○  |   |      |
|       | 37       | 竜王町        | 出前講座「高血圧予防のための食事からの健康づくり」                 | 65 歳以上の住民を対象に、クイズなど参加者が楽しく学べるよう工夫した高血圧予防教室を実施した。                             | ○          |     |     |    | ○ |      |
| 京都府   | 38       | 舞鶴市        | 妊婦教室（妊娠期栄養指導）                             | 妊娠 5 カ月以降の妊婦を対象に、だしの飲み比べ等の試食により、減塩や適正な栄養バランス、朝食習慣の実践と定着のための教室を実施した。          |            | ○   |     |    | ○ |      |
| 兵庫県   | 39       | 南あわじ市      | 淡路圏域災害時保健活動ガイドライン〔食・栄養追加版〕の作成に向けて         | 災害時に効果的な栄養・食生活支援活動ができるガイドラインを作成し、連携する機関・職種との合同研修会で災害時の行政栄養士の栄養・食生活支援活動を周知した。 |            |     | ○   |    | ○ |      |

| 都道府県名 | 事例<br>No | 実施主体           | 事業名                                                  | 概要                                                                                                 | 事例の<br>テーマ |     |     | 区分 |   | 添付資料 |
|-------|----------|----------------|------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------|------------|-----|-----|----|---|------|
|       |          |                |                                                      |                                                                                                    | (3)        | (4) | (5) | 県  | 市 |      |
| 奈良県   | 40       | 奈良県栄養士会公衆衛生事業部 | 手づかみ食べレシピの作成                                         | 市町村栄養士が乳幼児の栄養相談の場で、短時間に保護者到手づかみ食べを説明できるよう、口腔機能の発達等を確認する資料を作成し、各段階にあった手づかみ食べのレシピをまとめた。              |            | ○   |     | ○  |   |      |
| 岡山県   | 41       | 備中保健所          | 食生活改善を通じた介護予防、生活支援推進事業<br>～栄養委員との協働によるシルバー世代の健康づくり～  | 健康づくりボランティアの栄養委員が高齢者の低栄養予防の活動をすすめるため、研修会を開催した。栄養委員が意見を出し合い、啓発教材を作成し、地域で活用している。                     |            |     | ○   | ○  |   |      |
|       | 42       | 倉敷市保健所         | 産・官・学による若い世代のための食育キャンペーン                             | 食への関心が低い若い世代や男性への啓発を強化するため、商業施設・大学と連携し、商業施設で食に関するイベントを実施した。学生の意見を取り入れ、イベント内容の検討を行った。               | ○          |     |     |    | ○ |      |
| 山口県   | 43       | 岩国健康福祉センター     | 栄養ケア情報提供に関する取組                                       | 転院・転所時に食事状況を効率的に伝えるため、他職種との連携により検討会・研修会を行い、情報提供用の様式等を整えた。この結果、施設間の連携が図られ、地域包括ケア会議への管理栄養士の参加につながった。 |            |     | ○   | ○  |   |      |
|       | 44       | 光市             | 光 スマイル ライフプロジェクト<br>～光市健康応援プロジェクト～<br>「光の恵みいただきます事業」 | 市民の食育への関心を深め、望ましい食生活の実践を目指し、旬の食材のレシピカード等を作成し、食料品店での配布やホームページ等に掲載するとともに、各教室で活用を図った。                 | ○          |     | ○   |    | ○ |      |
| 徳島県   | 45       | 西部総合県民局        | 医療機関等と連携した糖尿病対策<br>(糖尿病についてのアンケート調査)                 | 医療機関との連携により2型糖尿病在宅療養者に対してアンケート調査を行い、その結果に基づき、糖尿病連携手帳用カードを作成し、カードと手帳の活用を啓発した。                       | ○          |     |     | ○  |   |      |
|       | 46       | 松茂町            | 子育て世代への食育支援事業<br>(子育てクッキング)                          | 適切な食生活の基礎をつくるために、幼稚園、小学校保護者への健康教育を実施し、子供の生活習慣病予防につなげる取り組みを行った。                                     | ○          |     |     |    | ○ |      |
| 愛媛県   | 47       | 保健福祉部健康衛生局     | 愛顔のE-IYOプロジェクト事業                                     | 「朝食をとろう！野菜de朝食」キャンペーン、「企業の食生活・栄養改善支援」、「栄養先進県えひめ」の発信を通じて若い世代・働き盛りの食生活改善をサポートした。                     |            |     | ○   | ○  |   |      |
|       | 48       | 四国中央市          | 健康づくりサポーター養成講座                                       | 健康づくりに関する知識や技術を学び地域に広めていくための担い手として「健康づくりサポーター」を養成した。                                               |            | ○   |     |    | ○ | 有    |
| 福岡県   | 49       | 京築保健福祉環境事務所    | 児童福祉施設における「食事摂取基準」を活用した栄養管理への援助及び指導                  | 児童福祉施設において、子供達の健やかな発育・発達及び健康の維持・増進のため、食事摂取基準を活用したツールの導入等の効果的な支援活動を行った。                             |            |     | ○   | ○  |   | 有    |

| 都道府県名 | 事例<br>No | 実施主体  | 事業名                                        | 概要                                                                            | 事例の<br>テーマ |     |     | 区分 |   | 添付資料 |
|-------|----------|-------|--------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------|------------|-----|-----|----|---|------|
|       |          |       |                                            |                                                                               | (3)        | (4) | (5) | 県  | 市 |      |
| 佐賀県   | 50       | 福岡市   | 地域団体と連携した生活習慣病予防の取り組み                      | 健康づくりに取り組む地域団体の代表者らを対象に地域の現状や課題を共有する講習会を開催し、生活習慣病予防対策につなげた。                   | ○          |     |     |    | ○ |      |
|       | 51       | 健康増進課 | 職域健康づくり支援モデル事業                             | 40歳代男性肥満の肥満率が高いことから、モデル事業所を選定し、食生活、身体活動の指導・支援及び環境整備を行い、生活習慣病の発症、重症化予防を図った。    | ○          |     |     | ○  |   |      |
|       | 52       | 武雄市   | 管内栄養士・管理栄養士の人材育成事業                         | 市の事業に関わる栄養士・管理栄養士を確保するため、有資格者の掘り起こしと力量形成のための学習会を実施し、人材のレベルアップ及び登録が増加した。       |            |     | ○   |    | ○ |      |
|       | 53       | 大村市   | 大村市介護予防事業<br>日常生活支援総合事業<br>食の自立支援コーディネート事業 | 低栄養の高齢者宅を訪問し、個別に食の自立プランを提供するとともに、多職種連携により歯科衛生士等と同行訪問することで、誤嚥性肺炎等を予防し、健康増進を図る。 |            | ◎   |     |    | ○ |      |
|       | 54       | 豊肥保健所 | 高齢者施設等における食事管理体制の整備事業                      | 医療機関、介護施設の入退院において、施設間の食形態の情報共有を行うため、キザミ食の統一化、栄養サマリの様式を作成する等により体制の整備に取り組んだ。    |            |     | ○   | ○  |   |      |
| 大分県   | 55       | 杵築市   | 高齢者サロン<br>元気アップ講座                          | 高齢者の低栄養の発症を予防するため、高齢者サロン運営者に対して、低栄養に対する研修、講座説明会等を実施し、サロン全体で啓発事業を継続して実施した。     |            | ◎   |     |    | ○ | -    |

|                                     |        |                                                                                                                                                                                                                                                                             |   |
|-------------------------------------|--------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---|
| 事業名                                 |        | 平成 28 年度 西胆振管内行政栄養業務担当者研修会                                                                                                                                                                                                                                                  |   |
| 行政栄養士の基本指針における位置づけ<br><br>* 該当区分に○印 |        | (3)生活習慣病の発症予防と重症化予防の徹底のための施策の推進                                                                                                                                                                                                                                             |   |
|                                     |        | (4)社会生活を自律的に営むために必要な機能の維持及び向上のための施策の推進                                                                                                                                                                                                                                      |   |
|                                     |        | (5)食を通じた社会環境の整備の促進                                                                                                                                                                                                                                                          | ○ |
| 指標と目標値                              |        | 高齢者の食の支援として、行政管理栄養士の役割を考え、各市町で事業化することを目標とする。                                                                                                                                                                                                                                |   |
| 現状と課題                               |        | 西胆振圏域は、高齢化率が高く、在宅医療の先進的なクリニックもあるため、専門職の研修会も活発に開催されているが、行政の管理栄養士の役割を考える機会が無く、在宅で高齢者が元気に過ごすための食支援の実践方法を学び、高齢者の低栄養防止・慢性疾患の重症化予防等のための栄養管理について具体的に検討する必要がある。                                                                                                                     |   |
| 事業の目的                               |        | 市町における栄養・食生活業務の円滑な推進に向けて、必要な知識や技術の習得を図ることを目的とする。                                                                                                                                                                                                                            |   |
| 対 象                                 |        | 西胆振管内の市町に所属する行政栄養業務担当者等                                                                                                                                                                                                                                                     |   |
| 連携機関                                |        | 北海道胆振総合振興局保健環境部社会福祉課、市立室蘭総合病院、本輪西ファミリークリニック                                                                                                                                                                                                                                 |   |
| 実施時期                                |        | ( 1 回目) 平成 28 年 7 月 15 日 (金)、( 2 回目) 平成 28 年 12 月 19 日 (月)                                                                                                                                                                                                                  |   |
| 事業内容                                |        | ( 1 回目)<br>講義「地域包括ケアシステムのめざす方向性について」(社会福祉課 保健師)<br>グループワーク<br>講義「在宅医療におけるいつまでも美味しく食べることの支援」(在宅医療専門クリニック 医師)<br>( 2 回目)<br>講義「これからの高齢化の進展にむけ管理栄養士の役割とは」(総合病院 管理栄養士)<br>情報交換<br>※資料添付 : 有 ・ <span style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 2px;">無</span> |   |
| 評価                                  | プロセス評価 | 研修会終了後、行政栄養業務担当者からの情報提供や施策への参画状況など聞き取りし、研修前と比較すると意識も向上し、中には関係会議に出席したり、関連研修会に参加する等、事業化まではいかなくとも情報収集するなど行動していた。                                                                                                                                                               |   |
|                                     | 結果評価   | 研修会終了後のまとめや感想の意見交換を行い、発表してもらう中で、高齢者に対する食の支援として行政ができることを明確に発言できていたことから、事業の目的は達成できたと考えられる。                                                                                                                                                                                    |   |
| 課 題                                 |        | 配食サービスなど新たな栄養情報がある中、機会あるごとに話題にし意見交換を行っていく必要がある。                                                                                                                                                                                                                             |   |
| その他                                 |        |                                                                                                                                                                                                                                                                             |   |

|       |                                                                                  |
|-------|----------------------------------------------------------------------------------|
| 工夫した点 | 年に 2 回の研修会だが、テーマを 1 つにし、医療・介護・在宅における栄養情報や食の支援を繋げて考えられるようグループワークを取り入れながら研修会を開催した。 |
|-------|----------------------------------------------------------------------------------|

キーワード：

|      |                            |
|------|----------------------------|
| 実施主体 | 北海道胆振総合振興局保健環境部保健行政室 企画総務課 |
|------|----------------------------|

|                                 |                                        |                                                                                                                                                  |   |
|---------------------------------|----------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---|
| 事業名                             |                                        | おたっしや料理教室                                                                                                                                        |   |
| 行政栄養士の基本指針における位置づけ<br>* 該当区分に○印 | (3)生活習慣病の発症予防と重症化予防の徹底のための施策の推進        |                                                                                                                                                  | ○ |
|                                 | (4)社会生活を自律的に営むために必要な機能の維持及び向上のための施策の推進 |                                                                                                                                                  |   |
|                                 | (5)食を通じた社会環境の整備の促進                     |                                                                                                                                                  |   |
| 指標と目標値                          |                                        | 参加者が自身の健康の維持・増進のための望ましい食習慣を身につける                                                                                                                 |   |
| 現状と課題                           |                                        | 当町の高齢化率は 26.9% (H28 年度)と国や道と比較すると高い割合で、今後も高くなっていくことが予想される。健康寿命延伸のため、高齢期の住民が自身で健康管理できるよう食に関する正しい知識や望ましい食習慣を身につけるための支援が必要。                         |   |
| 事業の目的                           |                                        | 参加者が調理実習を通して、自身の日頃の食生活を見直す機会とする<br>参加者が身近な食材で、簡単かつ健康的な料理を知る機会とする<br>参加者がバランスのとれた食生活を身につける                                                        |   |
| 対 象                             |                                        | 60 歳以上の町民                                                                                                                                        |   |
| 連携機関                            |                                        | なし                                                                                                                                               |   |
| 実施時期                            |                                        | H29 年 5 月～10 月                                                                                                                                   |   |
| 事業内容                            |                                        | 望ましい食習慣を身につけ、自身の健康を管理できるよう、管理栄養士による簡単な講話と調理実習を行なう。「骨粗鬆症を予防する料理」や「減塩調味料を活用した料理」など毎回テーマを決めて、主食、主菜、副菜を揃えた料理の調理と試食を実施する。<br><br>※資料添付 : 有 ・ <u>無</u> |   |
| 評価                              | プロセス評価                                 | 全 7 回開催<br>平均参加者数 8 人/回 (平均年齢 72.4 歳)<br>毎年継続して参加している参加者も多く、教室で作った料理を自宅でも作ったという声が聞かれる。                                                           |   |
|                                 | 結果評価                                   | 高齢期だけでなく 30 歳以上の結果だが、「バランスの良い食事を摂る人の割合」が H24 年調査で男性 64.4%、女性 76.0%から H29 調査では男性 70.9%、女性 81.6%に増加。                                               |   |
| 課 題                             |                                        | 参加者の固定化                                                                                                                                          |   |
| その他                             |                                        |                                                                                                                                                  |   |

|       |  |
|-------|--|
| 工夫した点 |  |
|-------|--|

キーワード：

|      |                        |
|------|------------------------|
| 実施主体 | 北海道上川郡鷹栖町役場 健康福祉課保健推進係 |
|------|------------------------|

|                                     |        |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           |   |
|-------------------------------------|--------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---|
| 事業名                                 |        | 洋野町食生活改善推進員協議会と協働した脳卒中死亡率減少の取り組み                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          |   |
| 行政栄養士の基本指針における位置づけ<br><br>* 該当区分に○印 |        | (3)生活習慣病の発症予防と重症化予防の徹底のための施策の推進                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           | ○ |
|                                     |        | (4)社会生活を自律的に営むために必要な機能の維持及び向上のための施策の推進                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |   |
|                                     |        | (5)食を通じた社会環境の整備の促進                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        |   |
| 指標と目標値                              |        | 健康ひろの 21 プラン（平成 22 年度～平成 29 年度）<br>脳血管疾患年齢調整死亡率(人口 10 万対)：目標値 町全体 45.0<br>脳血管疾患死亡数の減少：目標値 15                                                                                                                                                                                                                                                                                              |   |
| 現状と課題                               |        | 洋野町の脳血管疾患年齢調整死亡数は 27 (H26)⇒25 (H27)⇒25 (H28) と横ばいである。<br>岩手県の食塩摂取量 (H28 国民健康栄養調査) は、男性：10.7 g、女性：9.3 g となっており、適量な塩分摂取・適度な塩分濃度の味付けが必要であるという概念は浸透してきているが、依然として塩分摂取が多いことが伺える。平成 27 年度に町食生活改善推進員協議会が実施した塩分調査ではみそ汁と漬物から摂取する 1 日の推定塩分量は平均 2.93 g となっている。洋野町は海と山に囲まれ、新鮮な食材が手に入る一方で魚介類を使用した濃い味付け、野菜を長期保存できるような漬物類の摂取が多い傾向にある。<br>食生活改善協議会会員数：85 名 (平成 29 年度)                                      |   |
| 事業の目的                               |        | 住民への適量・適切な塩分量・塩分濃度・食事量・食事バランスの周知、および家庭での実践                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                |   |
| 対 象                                 |        | 一般住民                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |   |
| 連携機関                                |        | 町食生活改善推進員協議会、町内保育園・小学校・中学校                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                |   |
| 実施時期                                |        | 通年                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        |   |
| 事業内容                                |        | (1) 地区栄養講習会(講話・みそ汁の塩分測定・調理実習)<br>調理実習を通した脳卒中予防の学習 1 食あたり 500kcal 台、塩分 2 g 程度のバランスメニュー<br>(2) 協議会独自の「ヘルシーレストラン」の開催<br>バランスの良い食事例の掲示・会食 1 食あたり 500kcal 台、塩分 2 g 程度のワンプレートランチ<br>劇やクイズを中心とした健康教育、健康体操の実施。<br>(3) 町内保育園・子育て支援センター・小学校・中学校での食育事業(講話・調理実習)<br>乳幼児・学童・思春期からの減塩対策と食事スキルの定着を図った調理実習<br>(4) 健康手作りおやつの配布<br>乳幼児健診時に食改考案の手作りおやつの配布、おやつに関するミニ講話<br>※資料添付：有・ <input type="checkbox"/> 無 |   |
| 評価                                  | プロセス評価 | (1)地区栄養講習会<br>毎年約 40 地区での開催、600 人前後の参加者数がある。<br>(2)協議会独自の「ヘルシーレストラン」の開催<br>年 1 回の開催、50 名前後の参加<br>(3)町内保育園・子育て支援センター・小学校・中学校での食育事業(講話・調理実習)<br>平均年 10 回の講話、調理実習<br>(4)健康手作りおやつの配布 平成 28 年度：18 回、400 名に配布                                                                                                                                                                                   |   |
|                                     | 結果評価   | 上記に挙げた事業および食生活改善推進員協議会の活動は住民にも浸透しているが、健康意識の高い住民の参加が定着している。事業は平日の開催となることから、働き盛り・子育て世代の参加は極めて低い。                                                                                                                                                                                                                                                                                            |   |
| 課 題                                 |        | 地区組織の育成。働き盛りを対象とした事業の充実、介入。町内保育園・小学校・中学校での食育事業の実施校数の増加。平成 27 年度に実施した塩分調査の再調査。                                                                                                                                                                                                                                                                                                             |   |
| その他                                 |        |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           |   |
| 工夫した点                               |        | 食生活改善推進員協議会と行政の協働により、ほとんどの地域での健康教室の開催が可能となっている。また日程等については各地区の状況に合わせて事業を行っている。                                                                                                                                                                                                                                                                                                             |   |

キーワード：

|      |              |          |                                   |
|------|--------------|----------|-----------------------------------|
| 実施主体 | 洋野町健康増進課     | 所在地      | 岩手県九戸郡洋野町種市 22-1-1                |
| 電話番号 | 0194-65-3950 | F A X 番号 | 0194-65-3568                      |
| 担当者  | 大粒来 千晶       | E - mail | otsuburai392@town.hirono.iwate.jp |

| 事業名                                 |        | 気仙地域食形態基準の作成                                                                                                                                                                                                                                                                      |   |
|-------------------------------------|--------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---|
| 行政栄養士の基本指針における位置づけ<br><br>* 該当区分に○印 |        | (3)生活習慣病の発症予防と重症化予防の徹底のための施策の推進                                                                                                                                                                                                                                                   |   |
|                                     |        | (4)社会生活を自律的に営むために必要な機能の維持及び向上のための施策の推進                                                                                                                                                                                                                                            |   |
|                                     |        | (5)食を通じた社会環境の整備の促進                                                                                                                                                                                                                                                                | ○ |
| 指標と目標値                              |        | —                                                                                                                                                                                                                                                                                 |   |
| 現状と課題                               |        | ・ 管内の病院や福祉施設で提供されている嚥下調整食については、施設ごとに名称や分類、調理法が異なるため、依頼側の施設と受け入れ側の施設で齟齬が生じ、円滑な食事提供が困難な状況だった。<br>・ 施設・病院間の転院（所）時、「サマリ」から食事・栄養に関する情報を入手していたが、食事情報については記入されていないことも多く、食事提供に必要な情報を得るためには、ケアマネや看護師を通じて情報提供依頼を行うため、必要な情報を正確に入手するまで時間と負担を要していた。                                            |   |
| 事業の目的                               |        | 施設・病院間の転院（所）時に、円滑な食事情報伝達提供を行うためのシステムを構築する                                                                                                                                                                                                                                         |   |
| 対 象                                 |        | 管内で給食提供を行っている病院及び介護老人福祉施設、老人福祉施設、障がい者施設                                                                                                                                                                                                                                           |   |
| 連携機関                                |        | 対象施設と同じ                                                                                                                                                                                                                                                                           |   |
| 実施時期                                |        | 平成 28 年 5 月から                                                                                                                                                                                                                                                                     |   |
| 事業内容                                |        | ・ 施設間で異なる名称で提供されている嚥下調整食について、食形態ごとに気仙地域の標準を定義し、地域内で共通で使用する「気仙地域統一名称」を定めた。<br>・ 転院（所）受け入れ時、円滑に給食提供を行うために必要な情報を連絡できる「栄養管理情報提供書」を作成した。<br>・ 管内の医療介護福祉施設が参加する地域医療・介護連携 ICT（情報通信技術）システム「未来かなえネット」上で「栄養管理情報提供書」の内容を共有できるシステムを構築した。<br>※資料添付　： <input checked="" type="checkbox"/> 有　・　無 |   |
| 評価                                  | プロセス評価 | ・ 食形態基準の作成にあたって開催した「気仙地域栄養士連絡会」には案内通知を送付したすべての対象施設が参加した。                                                                                                                                                                                                                          |   |
|                                     | 結果評価   | ・ これまでケアマネや看護師を通じてやりとりしていた情報を、「栄養管理状況提供書」を活用することで、直接、栄養士間で行われるようになり、地域の栄養士の連携体制が図られた。<br>・ 平成 29 年 7 月から「未来かなえネット」の本格運用が始まり、医療・介護情報として食事に関する情報についても地域で共有できるようになった。<br>・ 今年度、開催を予定している連絡会議の中で、運用にあたっての新たな課題やニーズ把握を行う予定。                                                            |   |
| 課 題                                 |        | 在宅療養移行時も活用できるよう、ケアマネ等他職種への周知が必要。                                                                                                                                                                                                                                                  |   |
| その他                                 |        |                                                                                                                                                                                                                                                                                   |   |

|       |                                                                                                |
|-------|------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 工夫した点 | 未来かなえネット上で栄養管理情報提供書の情報を共有することで、災害等で、施設内での帳票が使用できなくなった場合でも、他施設から情報を確認することが可能となり、危機管理体制の構築が図られた。 |
|-------|------------------------------------------------------------------------------------------------|

キーワード：地域包括ケアシステム、健康危機管理

|      |              |          |                      |
|------|--------------|----------|----------------------|
| 実施主体 | 岩手県大船渡保健所    | 所在地      | 岩手県大船渡市猪川町字前田 6-1    |
| 電話番号 | 0192-27-9913 | F A X 番号 | 0192-27-4197         |
| 担当者  | 菊池 絵美        | E - mail | CC0007@pref.iwate.jp |

＜添付資料＞

気仙地域食形態基準2016年版

(副食)

| 気仙地域<br>統一名称 |             | イメージ写真                                                                              | 調理の状態                                          | 対象                           | 学会分類<br>2013 | 嚥下食<br>ピラミッド |
|--------------|-------------|-------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------|------------------------------|--------------|--------------|
| 形成食          |             |    | ミキサーで混ぜて増粘剤でまとめた食事                             | 咀嚼力が弱い<br>時々むせがある            | 1j           | L1<br>L2     |
| ペースト食        |             |    | スプーンですくえるペースト・ミキサー状の食事<br>市販の半固型化濃厚流動食の一部を含む   | 咀嚼ができない<br>むせが頻回に見られる        | 2-1          | L3           |
| 軟菜           | 軟菜<br>極きざみ食 |    | 軟菜を3～5mm程度に刻んだ食事                               |                              | 4            | L4           |
|              | 軟菜<br>きざみ食  |    | 軟菜を1cm程度に切った食事                                 | 歯や義歯がなくても歯茎や上顎と舌ですりつぶすことができる |              |              |
|              | 軟菜<br>一口大   |    | 軟菜を一口大(2cm程度)に切った食事                            | 嚥下機能等を考慮し刻んだりあんをかける          |              |              |
|              | 軟菜          |   | 誤嚥のリスクを考慮し、素材と調理方法を選んだ食事<br>スプーンでつぶせる硬さに調理した食事 |                              |              |              |
| 常菜           | 常菜<br>一口大   |  | 常食を一口大(2cm程度)に切った食事                            | ある程度噛むことが必要で、歯や義歯を有することが望ましい |              | L4           |
|              | 常菜          |  | 多くの高齢者が硬く食べられない食品や調理法は使用範囲を設定した食事              | 嚥下機能等を考慮し刻んだりあんをかける          |              |              |
| 一般食          |             |  | ほぼ全ての食品や調理法が可能                                 | 咀嚼でき、むせずに嚥下ができる              |              | L5           |

2017年3月気仙地域栄養士等連絡会作成

(送付先施設名)

栄養管理担当者様

記載日 年 月 日

營養管理情報提供書

日頃より大変お世話になっています。下記の方の栄養管理情報についてお知らせします。今後の診療のご参考にしていただければ幸いです。

|        |       |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             |  |                                                          |  |                    |  |        |  |
|--------|-------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--|----------------------------------------------------------|--|--------------------|--|--------|--|
| (フリガナ) |       |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             |  | <input type="checkbox"/> 男<br><input type="checkbox"/> 女 |  | 生年月日 M T S H 年 月 日 |  | 年齢 月 日 |  |
| 患者氏名   |       | 性別                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          |  | 身長                                                       |  | cm                 |  | 体重     |  |
| 主病名    |       |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             |  |                                                          |  |                    |  |        |  |
| 禁止食品   | アレルギー | <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 ( <input type="checkbox"/> 鶏卵 <input type="checkbox"/> 牛乳 <input type="checkbox"/> 小麦 <input type="checkbox"/> えび <input type="checkbox"/> かにかい <input type="checkbox"/> 貝類 <input type="checkbox"/> さば <input type="checkbox"/> 魚卵 <input type="checkbox"/> そば <input type="checkbox"/> 落花生<br><input type="checkbox"/> その他 ( )<br><input type="checkbox"/> アレルギー検査済 |  |                                                          |  |                    |  |        |  |
|        | 薬案    | <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 ( <input type="checkbox"/> 納豆 <input type="checkbox"/> グレープフルーツ <input type="checkbox"/> 牛乳 <input type="checkbox"/> アルコール <input type="checkbox"/> その他 ( ) )                                                                                                                                                                                                         |  |                                                          |  |                    |  |        |  |

|                                                                                   |                                                                                                                                                                                                                    |
|-----------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <input type="checkbox"/> 経口                                                       |                                                                                                                                                                                                                    |
| 厚生労働大臣が定める特別食 提供有無 <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 (治療食名: ) |                                                                                                                                                                                                                    |
| 提供栄養素/日                                                                           | エネルギー kcal たんぱく質 g 脂質 g 食塩相当量 g 水分量 ml                                                                                                                                                                             |
| 食事形態                                                                              | 主食 <input type="checkbox"/> 粥・ <input type="checkbox"/> 全粥 <input type="checkbox"/> 軟飯 <input type="checkbox"/> 高齢者向け常食 <input type="checkbox"/> 常食                                                                |
|                                                                                   | 副食 <input type="checkbox"/> 形煮食 <input type="checkbox"/> パースト食 <input type="checkbox"/> 軟原塊きざみ食 <input type="checkbox"/> 軟菜きざみ <input type="checkbox"/> 軟菜一口大 <input type="checkbox"/> 軟果                          |
|                                                                                   | <input type="checkbox"/> 常食一口大 <input type="checkbox"/> 常菜 <input type="checkbox"/> 一般食                                                                                                                            |
|                                                                                   | 水分 <input type="checkbox"/> トロミなし <input type="checkbox"/> トロミあり                                                                                                                                                   |
| 自訪問                                                                               | <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 ( <input type="checkbox"/> 車 <input type="checkbox"/> スプーン <input type="checkbox"/> カップ <input type="checkbox"/> その他 ( )                                     |
| 義 歯                                                                               | <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 ( <input type="checkbox"/> 総歯 <input type="checkbox"/> 部分(上) <input type="checkbox"/> 部分(下) ) → ( <input type="checkbox"/> 使用 <input type="checkbox"/> 不使用 ) |
| 特記事項                                                                              | 補助食品、嗜好の状況、食意欲、姿勢、食器の注意点 など                                                                                                                                                                                        |

|                               |                             |                             |                              |
|-------------------------------|-----------------------------|-----------------------------|------------------------------|
| <input type="checkbox"/> 経腸栄養 |                             |                             |                              |
| 投与方法                          | <input type="checkbox"/> 経鼻 | <input type="checkbox"/> 胃瘻 | <input type="checkbox"/> 瘻瘻  |
|                               |                             | <input type="checkbox"/> 形態 | <input type="checkbox"/> 液体  |
|                               |                             |                             | <input type="checkbox"/> 半固形 |
| 栄養剤の名称                        |                             |                             |                              |
| 投与エネルギー                       | kcal/日                      | 回数                          | 回/日                          |
| 注入水分量                         | ml/回 ×                      | 回 =                         | ml/日                         |
| 特記事項                          |                             |                             |                              |

|                               |                                  |
|-------------------------------|----------------------------------|
| <input type="checkbox"/> 特記事項 |                                  |
| 特記事項                          | 体重変化、栄養補給方法に關してのこれまでの経緯、今後の課題 など |

|              |                                        |     |          |
|--------------|----------------------------------------|-----|----------|
| 問い合わせ<br>担当者 | ご不明な点がありましたら、下記の連絡先にご連絡下さい。よろしくお願ひします。 |     |          |
|              | 施設名:                                   | 氏名: | 連絡先 TEL: |
|              | 所属部署:                                  |     | e-mail   |

2017年3月筑仙地域榮養士等連絡会作成

| 事業名                             |        | 食品表示法に基づく食品の栄養成分表示の適正化に向けた業務                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |   |
|---------------------------------|--------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---|
| 行政栄養士の基本指針における位置づけ<br>* 該当区分に○印 |        | (3)生活習慣病の発症予防と重症化予防の徹底のための施策の推進                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  |   |
|                                 |        | (4)社会生活を自律的に営むために必要な機能の維持及び向上のための施策の推進                                                                                                                                                                                                                                                                                                           |   |
|                                 |        | (5)食を通じた社会環境の整備の促進                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               | ○ |
| 指標と目標値                          |        | (1) 栄養成分表示のチェックリストの活用を食品事業者に促し、制度理解と適正表示を推進する。<br>(2) チェックリストの活用により、保健所の相談業務の効率化（時間短縮・効率化）を図る。                                                                                                                                                                                                                                                   |   |
| 現状と課題                           |        | (1) 平成27年4月の食品表示法施行により、従来任意であった加工食品等への栄養成分表示が義務化され、平成32年4月1日の完全施行までに、法改正や表示のルール等に関する食品事業者への周知を一層徹底する必要がある。<br>(2) 食品事業者からの相談は、法施行前の4倍と激増しているが、内容は軽微なものが多く、1案件に複数回相談を要するケースが多い。また、複数事業者から同じ質問を受けることが多い。今後は、更なる相談件数の増加が見込まれており、効率化な相談対応が必要な状況である。<br>(3) 国や県において、関連法令や通知等の周知、リーフレット等事業者向けの情報提供は行っているが、情報量が膨大であり、栄養成分表示に初めて取り組む者には、その活用が難しいという声がある。 |   |
| 事業の目的                           |        | 栄養成分表示のうち、義務表示を事業者が簡便に行うツールとして、「食品に栄養表示をする際のチェックリスト（基本編）」を作成・普及し、栄養成分表示に関する相談業務の効率化と、食品の栄養表示に取り組む事業者の適正表示を支援することを目的とした。                                                                                                                                                                                                                          |   |
| 対 象                             |        | 食品事業者                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            |   |
| 連携機関                            |        | 保健所食品衛生担当部署、商工会議所・商工会、水産加工関連組合等                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  |   |
| 実施時期                            |        | 通年（チェックリストの作成は、平成28年度）                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           |   |
| 事業内容                            |        | (1) チェックリストの作成と周知<br>「事業者自らが自己チェックに活用できる」、「根拠法令の確認が容易にできる」、「義務表示に必要な情報を盛り込む」をコンセプトに「食品に栄養成分表示を行う際のチェックリスト（基本編）」を作成し、当保健所のホームページや、食品衛生担当窓口及び関係機関への周知を通じ、事業者へ普及した。<br>(2) 「食品に栄養表示を行う際のチェックリストの活用<br>事業者からの相談対応時にチェックリストを活用し、相談業務の効率化を進めた。<br>※資料添付：有・無                                                                                            |   |
| 評価                              | プロセス評価 | (1) チェックリストの内容は、利用者から「義務表示事項がまとまっていて使い易い」、「便利である」と評価されたこと、相談の際に、義務表示の項目に過不足はないことから、概ね妥当と思われた。<br>(2) ホームページを通じた周知は、閲覧数が年間600件弱と低調であり、ホームページ利用を促すための方法等検討の余地がある。また、食品事業者等への周知のため、商工会議所や水産加工関連組合等と連携したことは、より幅広くに制度周知を行う方法として有用と思われた。                                                                                                               |   |
|                                 | 結果評価   | (1) チェックリストの活用により、義務表示にかかる事業者へのルールの説明が短時間ででき、かつ説明もれ等の防止につながっており、担当者の相談業務の効率化につながってきた実感がある。<br>(2) 現時点では、全体の相談件数や1事業者あたりの相談件数の減少には至っていない。ただし、1回あたりの相談や報告書に係る所要時間は以前よりも短縮できていること、担当者不在時でも、チェックリストの活用により、最低限の対応ができるようになる等、相談事業の効率化にある一定の効果があったと考えられる。                                                                                               |   |
| 課 題                             |        | 現時点で栄養成分表示を実施していない事業者へチェックリストの活用を、食品表示法完全施行までの期間までに、いかに効率的に啓発していくかを検討していく必要がある。                                                                                                                                                                                                                                                                  |   |
| その他                             |        | 塩釜保健所ホームページ 食品に栄養表示をするときには<br><a href="http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/sd-hohuku/eiyouseibunhyouzi.html">http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/sd-hohuku/eiyouseibunhyouzi.html</a>                                                                                                                                                                |   |
| 工夫した点                           |        | (1) 事業者の主体的な取組を促すため、義務表示に関しての自己チェック方式のリストにしたこと。<br>(2) 制度の周知に関して、多様な関係機関の協力を求め連携したこと。                                                                                                                                                                                                                                                            |   |

キーワード：栄養成分表示義務化、食品に栄養表示をする際のチェックリスト、相談業務の効率化

|      |              |        |                            |
|------|--------------|--------|----------------------------|
| 実施主体 | 宮城県塩釜保健所     | 所在地    | 宮城県塩竈市北浜4-8-15             |
| 電話番号 | 022-363-5503 | FAX番号  | 022-362-6161               |
| 担当者  | 渡部順子、星裕子     | E-mail | sdhfwzke@pref.miyagi.lg.jp |

|                                 |        |                                                                                                                                                                                                                                                                              |   |
|---------------------------------|--------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---|
| 事業名                             |        | 特定保健指導における「尿中ナトリウム・カリウム比值」を用いた栄養指導                                                                                                                                                                                                                                           |   |
| 行政栄養士の基本指針における位置づけ<br>* 該当区分に○印 |        | (3)生活習慣病の発症予防と重症化予防の徹底のための施策の推進                                                                                                                                                                                                                                              | ○ |
|                                 |        | (4)社会生活を自律的に営むために必要な機能の維持及び向上のための施策の推進                                                                                                                                                                                                                                       |   |
|                                 |        | (5)食を通じた社会環境の整備の促進                                                                                                                                                                                                                                                           |   |
| 指標と目標値                          |        | 家庭血圧値・尿中ナトカリ比值の低下                                                                                                                                                                                                                                                            |   |
| 現状と課題                           |        | 七ヶ浜町データヘルス計画から、生活習慣病の受療状況では、高血圧での受診が約8割と最も多い。一人あたりの費用額・100人当たりの受診率でも高血圧がトップである。基礎疾患として他の生活習慣病と深く密接に関連していることから、当町の健康課題の重点項目と捉え、改善に向けた取り組みを行っている。                                                                                                                              |   |
| 事業の目的                           |        | ①高血圧予備群と考えられる対象者（服薬なし）が、血圧、尿中ナトカリ比值、食事内容をモニタリングすることにより、食生活習慣に関するフィードバックを受け、その後の健康づくりに役立てる。<br>②栄養指導の効果をデータとして「見える化」し、効果的な指導方法を模索する。                                                                                                                                          |   |
| 対 象                             |        | 平成28年度特定健康診査結果で高血圧予備軍（収縮期159以下・拡張期85以上）該当者                                                                                                                                                                                                                                   |   |
| 連携機関                            |        | 東北大学                                                                                                                                                                                                                                                                         |   |
| 実施時期                            |        | 平成28年6月～8月・平成29年1月～3月                                                                                                                                                                                                                                                        |   |
| 事業内容                            |        | ①対象者に案内文書を送付<br>②説明会：機器の取り扱い方法・食事記録表記入方法 等<br>③指導前セルフモニタリング：血圧測定・尿中ナトカリ比值測定・食事記録表記入（1～2週間）<br>④特定保健指導（栄養指導）：<br>⑤指導後セルフモニタリング：血圧測定・尿中ナトカリ比值測定・食事記録表記入（1～2週間）<br>⑥機器回収・結果についての講評・アンケート<br>※平成29年2月実施分は、②の説明会実施せずに、東北大学より参加者へ機器・必要書類一式を送付<br>※資料添付：有・ <input type="checkbox"/> |   |
| 評価                              | プロセス評価 | ○参加率 ①平成28年6月～8月実施…13.7%<br>②平成29年1月～3月実施…18.4%                                                                                                                                                                                                                              |   |
|                                 | 結果評価   | ○指導前後の平均血圧値（収縮期血圧）に低下がみられた者⇒①期間：84.6% ②期間：69.5%<br>○尿中ナトカリ比值に改善がみられた者⇒①期間：76.9% ②期間：69.5%<br>○食事改善意識に変化があった者⇒①期間：76.9% ②期間：82.6%                                                                                                                                             |   |
| 課 題                             |        | 家庭血圧・尿中ナトカリ比值を測定している間や直後は食事内容（特にナトリウム・カリウムのとり方）に気をつけるが、習慣化まで至る人が少ないため、その後のフォローが必要である。                                                                                                                                                                                        |   |
| その他                             |        |                                                                                                                                                                                                                                                                              |   |

|       |                                                                     |
|-------|---------------------------------------------------------------------|
| 工夫した点 | 栄養指導時の媒体は、家庭での献立に活かしてもらえるよう「そのまんま料理カード」等を使用し、よりわかりやすく視覚に訴えられるようにした。 |
|-------|---------------------------------------------------------------------|

キーワード：高血圧 尿中ナトカリ比值

|      |                |        |                         |
|------|----------------|--------|-------------------------|
| 実施主体 | 七ヶ浜町 町民課 国保年金係 | 所在地    | 宮城県七ヶ浜町東宮浜字丑谷辺5-1       |
| 電話番号 | 022-357-7446   | FAX番号  | 022-357-2118            |
| 担当者  | 板橋 由紀          | E-mail | kokuho@shichigahama.com |

|                                 |                                        |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |   |
|---------------------------------|----------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---|
| 事業名                             |                                        | 野菜で元気！応援事業                                                                                                                                                                                                                                                                                                           |   |
| 行政栄養士の基本指針における位置づけ<br>* 該当区分に○印 | (3)生活習慣病の発症予防と重症化予防の徹底のための施策の推進        |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      | ○ |
|                                 | (4)社会生活を自律的に営むために必要な機能の維持及び向上のための施策の推進 |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |   |
|                                 | (5)食を通じた社会環境の整備の促進                     |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |   |
| 指標と目標値                          |                                        | 成人一人一日当たり平均 野菜摂取量目標値 350 g（健康日本 2 1 計画および健康秋田 2 1 計画）                                                                                                                                                                                                                                                                |   |
| 現状と課題                           |                                        | 平成 2 3 年県民健康・栄養調査調査結果では、秋田県民の一日の野菜摂取量は 3 1 6 . 1 g（成人）と目標値に届いていない。<br>平成 2 4 年の「健康づくりに関する調査」では、野菜を 1 日に 3 5 0 g 食べることを目標としていることを「知っている」人の割合は 3 7 . 8 %、「知らない」と答えた人は 6 1 . 3 %だった。                                                                                                                                    |   |
| 事業の目的                           |                                        | 県民の野菜摂取量の増加と意識付け                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |   |
| 対 象                             |                                        | 一般県民                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 |   |
| 連携機関                            |                                        | 食品販売業（スーパー・コンビニ）、地域振興局健康・予防課                                                                                                                                                                                                                                                                                         |   |
| 実施時期                            |                                        | 常時                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |   |
| 事業内容                            |                                        | <ul style="list-style-type: none"> <li>・スーパーなどの食品小売業へ呼びかけ、賛同した店を「協力店」とし「野菜を食べよう」キャンペーンを一体的に行った。</li> <li>・啓発用のぼりや野菜レシピカードを作成し、県内直売所や協力店に配布した。</li> <li>・各地域振興局で「野菜を食べよう」街頭キャンペーン（大型スーパー→主婦向け、駅→通勤通学向け）を実施した。</li> <li>・野菜摂取推進研修会を開催（対象：食生活改善推進員、食品業者、給食関係者）</li> </ul> ※資料添付： <input checked="" type="radio"/> 有 ・ 無 |   |
| 評価                              | プロセス評価                                 | 協力店 県内 1 4 5 店舗（H 2 7）→ 県内 1 5 4 店舗（H 2 8）→ 県内 1 6 0 店舗（H 2 9）                                                                                                                                                                                                                                                       |   |
|                                 | 結果評価                                   | ・協力店より、野菜の価格高騰時期でも野菜の売上げ量の増加がみられたという報告があった。<br>・H 2 8 調査では、1 日 3 5 0 g 食べることを知っている人は 4 4 . 7 %と前回調査より 6 . 9 ポイント増加した。                                                                                                                                                                                                |   |
| 課 題                             |                                        | キャンペーン参加店（協力店）の数は増加したが、啓発がのぼり旗のみだったという報告があった。のぼり旗以外に P O P や広告、ちらしづくり、試食付きレシピ配布や購入しやすさ（カット野菜）の普及などの取組がみられたのは一部の協力店のみにとどまった。                                                                                                                                                                                          |   |
| その他                             |                                        | スーパーのお総菜コーナーでの野菜メニューを増やすような提案を示していく必要がある。                                                                                                                                                                                                                                                                            |   |

|       |                                                                                                                                                          |
|-------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 工夫した点 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・協力店担当者達との情報共有に努め、メール配信を定期的に行った。</li> <li>・野菜を食べようラジオコマーシャルを作成したほか、県公式ホームページや新聞での紹介等マスメディアを活用した啓発を行った。</li> </ul> |
|-------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|

キーワード：スーパー、野菜摂取

|      |              |          |                           |
|------|--------------|----------|---------------------------|
| 実施主体 | 秋田県健康推進課     | 所在地      | 秋田県山王 4 丁目 1 - 1          |
| 電話番号 | 018-860-1426 | F A X 番号 | 018-860-3821              |
| 担当者  | 加賀谷 淑子       | e - mail | Kagaya-T@pref.akita.lg.jp |

# 野菜を食べよう！キャンペーン

## 協力店（スーパー・食品販売）一覧

全160店 順不同



H29 秋田県健康推進課

| 【能代市・山本郡】 |    |                   |
|-----------|----|-------------------|
| 能代市       | 1  | いとく能代通町店          |
|           | 2  | いとく能代南店           |
|           | 3  | いとく能代ショッピングセンター店  |
|           | 4  | いとくニツ井ショッピングセンター店 |
|           | 5  | ザ・ビッグ能代長崎店        |
|           | 6  | ザ・ビッグ能代高崎店        |
|           | 7  | マックスバリュ能代北店       |
|           | 8  | イオン能代店            |
|           | 9  | テラタ向能代店           |
|           | 10 | テラタバイパス店          |
|           | 11 | ロッキー向能代店          |
| 三種町       | 12 | マックスバリュ琴丘店        |
|           | 13 | テラタ八竜店            |
|           | 14 | テラタ鹿渡店            |
| 藤里町       | 15 | いとく藤里店            |

| 【男鹿市・潟上市・南秋田郡】 |   |                 |
|----------------|---|-----------------|
|                | 1 | いとく男鹿店          |
| 男鹿市            | 2 | マックスバリュ男鹿店      |
|                | 3 | ドジャース男鹿店        |
| 潟上市            | 4 | ナイス追分店          |
|                | 5 | ザ・ビッグ潟上店        |
|                | 6 | マックスバリュ天王店      |
|                | 7 | テラタ天王店          |
|                |   |                 |
| 五城目町           | 8 | イオンスーパーセンター五城目店 |

| 【由利本荘市・にかほ市】 |                   |
|--------------|-------------------|
|              | 1 Aコープ子吉店         |
|              | 2 Aコープおうち店        |
|              | 3 Aコープひがしゆり店      |
|              | 4 Aコープ前郷店         |
|              | 5 Aコープやしま店        |
|              | 6 Aコープ島海店         |
|              | 7 (株)本荘消費         |
| 由利本荘市        | 8 グランマート本荘南店      |
|              | 9 グランマート石脇店       |
|              | 10 グランマート一番塚店     |
|              | 11 マックスバリュ御門町店    |
|              | 12 マックスバリュ新川口店    |
|              | 13 マックスバリュ石脇店     |
|              | 14 マックスバリュ本荘店     |
|              | 15 マックスバリュ本荘中央店   |
|              | 16 マックスバリュ矢島店     |
|              | 17 マックスバリュ新西目店    |
|              | 18 イオンスーパーセンター本荘店 |
|              | 19 マルホンカウボーイ本荘店   |
|              | 20 ビフレにかほ店        |
| にかほ市         | 21 マックスバリュにかほ店    |
|              | 22 マックスバリュ金浦店     |
|              | 23 マックスバリュ武道島店    |

| 【秋田市】 |                    |
|-------|--------------------|
| 1     | ビフレ東通店             |
| 2     | ビフレ外旭川店            |
| 3     | 西武秋田店              |
| 4     | いとく新国道店            |
| 5     | いとく秋田東店            |
| 6     | いとく土崎みなと店          |
| 7     | いとく川尻店             |
| 8     | いとく自衛隊通店           |
| 9     | ドン・キホーテ秋田店         |
| 10    | ナイス外旭川店            |
| 11    | ナイス仁井田店            |
| 12    | ナイス新屋店             |
| 13    | ナイス割山店             |
| 14    | ナイス八橋店             |
| 15    | ナイス仁井田南店           |
| 16    | ナイス土崎店             |
| 17    | ナイス山手台店            |
| 18    | ドジャース櫛山店           |
| 19    | ドジャース堂の沢店          |
| 20    | ドジャース新屋店           |
| 21    | ドジャース広面店           |
| 22    | ドジャース食品館           |
| 23    | 生活協同組合コープあきた土崎店    |
| 24    | 生活協同組合コープあきた茨島店    |
| 25    | Aコープ大正寺店           |
| 26    | グランマート泉店           |
| 27    | グランマート外旭川店         |
| 28    | グランマート手形店          |
| 29    | マックスバリュ茨島店         |
| 30    | マックスバリュ泉店          |
| 31    | マックスバリュエクスプレス新屋関町店 |
| 32    | マックスバリュ広面店         |
| 33    | マックスバリュ港北店         |
| 34    | マックスバリュ河辺店         |
| 35    | ジェイマルエー泉店          |
| 36    | ジェイマルエー広面店         |
| 37    | ジェイマルエー旭南店         |
| 38    | ジェイマルエー御所野店        |
| 39    | マルダイ八橋店            |
| 40    | マルダイ土崎店            |
| 41    | マルダイ牛島店            |
| 42    | マルダイ広面店            |
| 43    | マルダイおのぼ店           |
| 44    | 秋田まるごと市場           |
| 45    | イオン秋田中央店           |
| 46    | イオンスタイル御所野         |
| 47    | イオン土崎港店            |

| 【横手市】 |                  |
|-------|------------------|
| 1     | ビフレ横手店           |
| 2     | よねや南店            |
| 3     | よねやハッピーモール店      |
| 4     | よねや双葉店           |
| 5     | よねや浅舞店           |
| 6     | グランマート婦気店        |
| 7     | グランマート十文字店       |
| 8     | マックスバリュ新雄物川店     |
| 9     | マックスバリュ平鹿町店      |
| 10    | マックスバリュ十文字南店     |
| 11    | スーパーセンタートラスト雄物川店 |
| 12    | イオンスーパーセンター横手南店  |
| 13    | アックスフーズマート横手駅前店  |
| 14    | スーパーモールラッキー      |

| 【鹿角市・鹿角郡】 |   |                  |
|-----------|---|------------------|
|           | 1 | いとく花輪店           |
|           | 2 | いとく鹿角ショッピングセンター店 |
| 鹿角市       | 3 | ユニバース毛馬内店        |
|           | 4 | マルホンカウボーイ鹿角店     |
|           | 5 | マルホンカウボーイ花輪店     |
|           | 6 | Aコープ北東北 Aコープかつの店 |
| 小坂町       | 7 | マックスバリュ小坂店       |

| 【大館市・北秋田市・北秋田郡】 |    |                   |
|-----------------|----|-------------------|
| 大館市             | 1  | いとく大館ショッピングセンター店  |
|                 | 2  | いとく比内店            |
|                 | 3  | いとく片山店            |
|                 | 4  | いとく樹海店            |
|                 | 5  | いとく大館東店           |
|                 | 6  | ザ・ビッグ大館西店         |
|                 | 7  | ザ・ビッグ釈迦内店         |
|                 | 8  | ザ・ビッグ大館南店         |
|                 | 9  | イオンスーパーセンター大館店    |
|                 | 10 | マルホンカウボーイ大館店      |
|                 | 11 | マルホンカウボーイベル比内店    |
| 北秋田市            | 12 | いとく鷹巣南店           |
|                 | 13 | いとく鷹巣ショッピングセンター店  |
|                 | 14 | ザ・ビッグたかのす店        |
|                 | 15 | Aコープ北東北 Aコープもりよし店 |
|                 | 16 | マルホンカウボーイ鷹巣店      |

| 【大仙市・仙北市・仙北郡】 |                     |
|---------------|---------------------|
|               | 1    ビフレ大曲店         |
|               | 2    よねや富士見町店       |
|               | 3    よねやとまき店        |
|               | 4    グランマート飯田店      |
|               | 5    グランマート白金店      |
|               | 6    グランマート中通店      |
|               | 7    タカヤナギ イーストモール  |
| 大仙市           | 8    マックスバリュ協和店     |
|               | 9    マックスバリュ刈和野店    |
|               | 10   マックスバリュ神岡店     |
|               | 11   マックスバリュ太田店     |
|               | 12   ザ・ビッグ大曲飯田店     |
|               | 13   ザ・ビッグ大曲福田店     |
|               | 14   イオン大曲店         |
|               | 15   イオン中仙店         |
| 仙北市           | 16   よねや角館店         |
|               | 17   グランマート田沢湖店     |
|               | 18   タカヤナギ ワンダーモール  |
|               | 19   スズフクYOUマート大塚店  |
|               | 20   ビフレ田沢湖店        |
| 美郷町           | 21   アックスフーズマート六郷店  |
|               | 22   イオンスーパーセンター美郷店 |

| 【湯沢市・雄勝郡】 |                  |
|-----------|------------------|
|           | 1 ビフレ湯沢店         |
|           | 2 ビフレ稲川店         |
| 湯沢市       | 3 ビフレ食品館         |
|           | 4 よねや千石大橋店       |
|           | 5 よねや稲川店         |
|           | 6 グランマート湯沢インター店  |
|           | 7 イオンスーパーセンター湯沢店 |
| 羽後町       | 8 マックスバリュ西馬音内店   |

|                    |           |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             |   |
|--------------------|-----------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---|
| 事業名                |           | 羽後町食育活動推進事業「食に関する指導」                                                                                                                                                                                                                                                                                                        |   |
| 行政栄養士の基本指針における位置づけ | * 該当区分に○印 | (3)生活習慣病の発症予防と重症化予防の徹底のための施策の推進                                                                                                                                                                                                                                                                                             | ○ |
|                    |           | (4)社会生活を自律的に営むために必要な機能の維持及び向上のための施策の推進                                                                                                                                                                                                                                                                                      |   |
|                    |           | (5)食を通じた社会環境の整備の促進                                                                                                                                                                                                                                                                                                          | ○ |
| 指標と目標値             |           | H37 年到達目標【1 食塩（塩分）を控えている人 80%、2 みそ汁の食塩濃度 0.77、3 野菜を毎日食べる人 100%、4 バランスよく食べるようにしている人 80%】（第 2 次健康うご 21 計画）                                                                                                                                                                                                                    |   |
| 現状と課題              |           | 【町健康意識調査 H26 現状値】1 食塩…32%、2 みそ汁…0.77、3 野菜…43.2%、4 バランス…38.3%（第 2 次健康うご 21 計画より）食塩を控えている人が減少している。（H16 年 42.7%から H26 年 30.6%と悪化。）20 代から 60 代の男性は女性に比べて減塩しようとする意識が低い。特に若い世代へ市販食品の食塩濃度が高いことを啓発する必要がある。（羽後町子ども・子育て計画より）就学前児童の母親の就労 79.4%、母親の帰宅時間 19 時台 85.8%であり小学校も同様のため、共働き世代への支援が必要。                                           |   |
| 事業の目的              |           | （学習指導要領）・心身の成長や健康の保持増進の上で望ましい栄養や食事のとり方を理解し、自ら管理していく能力を身に付ける。（食育目標）地域のボランティアと味覚やだしの味について体験し調理することで、子どもが家庭でも好き嫌いなく食べることの気づきにつなげる。家庭でのうす味習慣の意識付け。                                                                                                                                                                              |   |
| 対 象                |           | 羽後明成小学校 3 年生（児童 13 名とその保護者 13 名）                                                                                                                                                                                                                                                                                            |   |
| 連携機関               |           | 羽後町立羽後明成小学校、羽後町食生活改善推進協議会（ヘルスメイト）                                                                                                                                                                                                                                                                                           |   |
| 実施時期               |           | 平成 29 年 6 月 13 日（火） 3・4 校時および昼食時間                                                                                                                                                                                                                                                                                           |   |
| 事業内容               |           | <ul style="list-style-type: none"> <li>・味覚体験学習（45 分間）あまい、しょっぱい、すっぱい、にがい、旨みの体験。旨みは、昆布だし・干しいたけだし・かつお昆布混合・科学調味料（ほんだし）の 4 種を試飲。その後ご飯を 50 回かんだら味はどう変わるかを実際に行う。</li> <li>・自然だしを活用した「みずかやき」と「おにぎり」の調理実習。かやきにはどんなものがあるか（町内産の山菜を使って）、おにぎりは 5 つの具から選んで作る。</li> <li>・親子、担任の先生、ヘルスメイト、町管理栄養士と一緒に会食し、地域のボランティアと交流する。</li> </ul> ※資料添付： 無 |   |
| 評価                 | プロセス評価    | ①「味覚について知っていますか」味覚には 5 つの味があることを 3 年生全員が理解できた。中でも「旨味」には自然だしと科学だしがあることを知り、素材の味を生かす使い方を知ることができた。②親子で「みずかやきとおにぎり」作りをし、家庭でも作ってみたいという感想が児童一人一人から発表された。                                                                                                                                                                           |   |
|                    | 結果評価      | 「おいしいってどういうこと？」というテーマで、味覚は実際に味わった経験が重なることで、ほんものとインスタントの違いなどを知った大人になれることを保護者にも知ってもらうことができた。旨味を活用した郷土料理を作って食べることで、普段はきれいな野菜も食べようとする気持ちが高まった。                                                                                                                                                                                  |   |
| 課 題                |           | 味覚体験学習のみの食育に比べ、味覚についての印象が薄くなる（調理実習の感想のみを書いた児童が多かった）。今後の家庭でのうす味習慣の意識付けについての調査が必要。                                                                                                                                                                                                                                            |   |
| その他                |           | 平成 20 年度から町内小中学校全校で各 2～3 回実施してきた食育事業なので、今後も学校と連携して子どもの頃からの食体験を継続していく予定。                                                                                                                                                                                                                                                     |   |

|       |                                                                     |
|-------|---------------------------------------------------------------------|
| 工夫した点 | 調理実習前の講話（町管理栄養士とヘルスメイト）で今日知ってほしいこと（目的）を話し、実習後の感想発表で児童と親の理解の確認につなげる。 |
|-------|---------------------------------------------------------------------|

キーワード：

|      |              |          |                      |
|------|--------------|----------|----------------------|
| 実施主体 | 羽後町役場福祉保健課   | 所在地      | 秋田県雄勝郡羽後町西馬音内字中野 177 |
| 電話番号 | 0183-62-2111 | F A X 番号 | 0183-62-2120         |
| 担当者  | 瀬川さつき        | e - mail | kenko@town.ugo.lg.jp |

|                                     |        |                                                                                                                                                                                                                                                                                                           |   |
|-------------------------------------|--------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---|
| 事業名                                 |        | 「村山地域おすすめ健康レシピ集」の作成                                                                                                                                                                                                                                                                                       |   |
| 行政栄養士の基本指針における位置づけ<br><br>* 該当区分に○印 |        | (3)生活習慣病の発症予防と重症化予防の徹底のための施策の推進                                                                                                                                                                                                                                                                           | ○ |
|                                     |        | (4)社会生活を自律的に営むために必要な機能の維持及び向上のための施策の推進                                                                                                                                                                                                                                                                    |   |
|                                     |        | (5)食を通じた社会環境の整備の促進                                                                                                                                                                                                                                                                                        |   |
| 指標と目標値                              |        | ・ 管内各市町における健康教室の充実<br>・ 山形県健康増進計画に基づく指標（平成 25 年度から平成 34 年度）<br>野菜摂取量の増加 320. 2g→350g、食塩摂取量の平均値 12. 2g→8g 未満                                                                                                                                                                                               |   |
| 現状と課題                               |        | 栄養・食生活改善の推進にあたり、各市町健康教室での調理実習は、業務の中でも重要なものとなっているが、管内各市町健康づくり担当課への行政管理栄養士の配置状況は1人体制が多い。このようなことから、生活習慣病予防等のための管内共同レシピ集を作成し活用することで、地域における良い食生活の定着を図る。                                                                                                                                                        |   |
| 事業の目的                               |        | ・ 対象者に適する効果的な調理実習の実施。<br>・ 地域住民に良い食生活が定着することでの生活習慣病等の予防推進。                                                                                                                                                                                                                                                |   |
| 対 象                                 |        | 管内各市町で開催する健康教室参加者                                                                                                                                                                                                                                                                                         |   |
| 連携機関                                |        | 村山保健所管内14市町                                                                                                                                                                                                                                                                                               |   |
| 実施時期                                |        | 平成29年5月から平成30年3月                                                                                                                                                                                                                                                                                          |   |
| 事業内容                                |        | 平成28年度村山保健所管内栄養施策担当者会議において、各市町の事業課題を収集したところ、調理実習のレシピ作成に苦労しているとの意見が出された。そこで、各市町でこれまで実施して好評だったレシピを収集し、平成29年度に、おすすめレシピ集として作成することとした。<br>① テーマ ・生活習慣病予防 ・介護予防 ・高齢者対象料理 ・牛乳及び乳製品 ・男性対象料理<br>・保育園給食 ・エコクッキング ②形態 ・1食献立 ・1品料理 ・おやつ<br>② 提出数各市町3点以上 ④検討会を3回開催 ⑤12月末取りまとめ、3月完成。冊子とデータで配布予定<br>※資料添付 : 有 ・ <u>無</u> |   |
| 評価                                  | プロセス評価 | 1回目の栄養施策担当者会議においてレシピ集作成を提案し、2回目の会議でレシピ集作成要領案を提示。題名や実施内容についての意見を、会議とメールで調整した上で、各市町に献立・レシピの提出を依頼。                                                                                                                                                                                                           |   |
|                                     | 結果評価   | ・ 各市町の課題に対応する事業となった。<br>・ 各市町事業計画を基に、各市町開催の健康教室全体を網羅したテーマとした。<br>・ 全員の意見を反映させることができた。                                                                                                                                                                                                                     |   |
| 課 題                                 |        | 平成30年度以降、管内各市町健康教室での活用状況を把握し、好評であれば今後も作成を検討する。                                                                                                                                                                                                                                                            |   |
| その他                                 |        |                                                                                                                                                                                                                                                                                                           |   |

|       |                                                                                                     |
|-------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 工夫した点 | <p>名称は、管内共同レシピ集に適したものとするため、名称案を基に、メール投票で選定した。</p> <p>レシピ収集にあたっては、負担感を抱かないよう、これまでの教室で好評価のレシピとした。</p> |
|-------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------|

キーワード：

|      |                         |          |                          |
|------|-------------------------|----------|--------------------------|
| 実施主体 | 山形県村山保健所                | 所在地      | 山形県山形市十日町一丁目 6 - 6       |
| 電話番号 | 0 2 3 - 6 2 7 - 1 1 0 2 | F A X 番号 | 0 2 3 - 6 2 2 - 0 1 9 1  |
| 担当者  | 二関 悦子                   | E - mail | nisekie@pref.yamagata.jp |

|                                           |               |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |   |
|-------------------------------------------|---------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---|
| <b>事業名</b>                                |               | <b>個別糖尿病予防教室</b>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  |   |
| <b>行政栄養士の基本指針における位置づけ</b><br><br>＊該当区分に○印 |               | (3)生活習慣病の発症予防と重症化予防の徹底のための施策の推進                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   | ○ |
|                                           |               | (4)社会生活を自律的に営むために必要な機能の維持及び向上のための施策の推進                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            |   |
|                                           |               | (5)食を通じた社会環境の整備の促進                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                |   |
| <b>指標と目標値</b>                             |               | 第二次健康てんどう 21 行動計画に基づく指標（平成 25 年度から平成 34 年度）<br>・ 個別糖尿病予防教室参加者数の増加（目標値：中間の H29 年度に見直し予定）<br>→ 67 人(H19 年度から 23 年度までの 5 か年)→72 人（H24 年度から 28 年度までの 5 か年）<br>・ 糖尿病有病者の増加の抑制「糖尿病が強く疑わる人の減少」（目標値：中間の H29 年度に見直し予定）<br>→ 404 人(H23 年度)→370 人(H28 年度)                                                                                                                    |   |
| <b>現状と課題</b>                              |               | 糖尿病は、初期の自覚症状が少なく、深刻な病気であることが理解されず、重症化してしまう人がいる。糖尿病になる前の予防及び重症化を予防するため、特定保健指導や健康教室等の機会を利用し糖尿病の知識の普及を図る。                                                                                                                                                                                                                                                            |   |
| <b>事業の目的</b>                              |               | 疾病の特性や個人の生活習慣等を具体的に把握しながら生活習慣行動の改善を支援し、生活習慣病予防を目指す。                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |   |
| <b>対 象</b>                                |               | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 40 歳から 64 歳までの者で、空腹時血糖 100 mg/dl 以上 126 mg/dl 未満又はヘモグロビン A1c 5.6%以上 6.5%未満（NGSP 値）の者（ただし、インスリン注射又は血糖を下げる薬を服用している者を除く）。</li> <li>・ 40 歳から 64 歳までの者で、治療中であるが、医師が必要と判断した者。</li> </ul>                                                                                                                                       |   |
| <b>連携機関</b>                               |               | 検診センター、市内のスポーツ施設                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  |   |
| <b>実施時期</b>                               |               | 平成 29 年 7 月から平成 30 年 2 月（全 9 回コース）                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                |   |
| <b>事業内容</b>                               |               | 1 回目：血液検査、体力測定                      2 回目：糖尿病予防講演会<br>3 回目：個別健康相談（目標の設定）          4 回目：血液検査、栄養の話（調理実習を含む）、軽体操<br>5 回目：個別健康相談（目標の中間評価）    6 回目：軽体操<br>7 回目：小グループ指導（栄養指導含む）    8 回目：血液検査、体力測定<br>9 回目：個別健康相談<br>※全コースでヘルスチェック（血圧測定と体重・体脂肪測定）を実施。<br>※1 回目に 3 日間の食事記録表を配布し、2 回目で回収し、栄養士が分析。3 回目に栄養士と保健師による個別面談で食事と身体活動の分析結果を参加者へ説明し、目標設定を行う。<br>※資料添付         ：     無 |   |
| <b>評価</b>                                 | <b>プロセス評価</b> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 3 回目の個別健康相談では、3 日間の食事記録を分析した結果をもとに、今後の食生活改善に向けたアドバイスを行った。3 日間の食事内容を記録してもらうことで食事の傾向と問題点を自身が把握することができ、食生活改善への意識と行動につながっている。</li> <li>・ 4 回目の集団指導で調理実習を含んだ栄養指導を実施し、さらに 7 回目（12 月）の小グループで再度栄養指導を実施。食事の大切さについて再認識してもらい、年末年始における食生活の留意点をアドバイスすることができた。</li> </ul>                                                              |   |
|                                           | <b>結果評価</b>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 血液検査による空腹時血糖とヘモグロビン A1c（NGSP 値）の値による評価。</li> <li>・ 参加者の身体測定と目標達成状況の評価、参加者の感想。</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                 |   |
| <b>課 題</b>                                |               | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 教室終了後も継続して生活改善行動ができるように、参加者の健診結果を確認しながらフォローについて検討が必要である。</li> <li>・ 教室への参加は女性が多く、男性が少ない。</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                      |   |
| <b>その他</b>                                |               |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |   |

|       |                                                                        |
|-------|------------------------------------------------------------------------|
| 工夫した点 | 体力測定や食事内容、体重や歩数計などを記録を行ったことで、参加者が自ら問題点を見つけやすく、改善にむけた個々の目標を設定し、取り組んでいる。 |
|-------|------------------------------------------------------------------------|

キーワード：糖尿病予防

|      |              |        |                               |
|------|--------------|--------|-------------------------------|
| 実施主体 | 山形県天童市       | 所在地    | 山形県天童市駅西5-2-2                 |
| 電話番号 | 023-652-0884 | FAX番号  | 023-651-5505                  |
| 担当者  | 鈴木           | E-mail | kenkou@city.tendo.yamagata.jp |

|                                 |                                        |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |   |
|---------------------------------|----------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---|
| 事業名                             |                                        | 県中地域における子どもの食育実態調査を踏まえた食習慣改善への取り組み                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 |   |
| 行政栄養士の基本指針における位置づけ<br>* 該当区分に○印 | (3)生活習慣病の発症予防と重症化予防の徹底のための施策の推進        |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    | ○ |
|                                 | (4)社会生活を自律的に営むために必要な機能の維持及び向上のための施策の推進 |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |   |
|                                 | (5)食を通じた社会環境の整備の促進                     |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    | ○ |
| 指標と目標値                          |                                        | 県中地域における乳幼児期の食習慣の把握                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                |   |
| 現状と課題                           |                                        | <p>○平成26年度に、県中地域の1歳6ヶ月児及び3歳児を持つ保護者を対象に実施した「食育実態調査」（回収数1646枚、有効数1447枚）から見えてきた課題</p> <p>①福島県民の食塩摂取量が全国と比較し高いことを知っている者の割合は16%</p> <p>②毎年6月は食育月間及び毎月19日は食育の日であることを知っている者の割合は12.1%</p> <p>③外食を月5回以上利用する者の割合は68.6%</p> <p>④子どもの食育に関する知識や情報等について、十分得てはいない者の割合は83.2%</p> <p>⑤食品選びや食事のバランスを整える知識や技術を身に付けている者は19.4%</p> <p>⑥野菜を十分に食べることができている者の割合は44%</p> <p>⑦食塩の多い料理を控えることができている者は34.1%</p> |   |
| 事業の目的                           |                                        | 県中地域の乳幼児期の食習慣や生活習慣に関する意識及び現状を把握するために実施した実態調査結果をふまえ、乳幼児期の食習慣改善のための具体的な対策に取組む。                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |   |
| 対 象                             |                                        | 県中地域の乳幼児及び保護者等                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |   |
| 連携機関                            |                                        | 小児科医師、歯科医師、福島県栄養士会、福島県歯科衛生士会、食品関係事業所、農業関係事業所、保育所長、幼稚園長、栄養教諭、養護教諭、NPO法人、福島県PTA連合会、市町村、県中農林事務所、県中教育事務所                                                                                                                                                                                                                                                                               |   |
| 実施時期                            |                                        | 平成27年4月～平成29年3月                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |   |
| 事業内容                            |                                        | <p>食習慣改善に向けた具体的取組</p> <p>○リーフレット「健やかな『けんちゅうキッズ』を育むために」の作成と活用</p> <p>(1) 県中圏域子どもの食を考えるネットワーク会議ワーキング部会を立ち上げ、内容を検討し、リーフレットを作成した。(平成27年度)</p> <p>参 集 者 小児科医師、小学校栄養教諭、中学校栄養教諭、高等学校養護教諭、市町村栄養士</p> <p>開催回数 3回</p> <p>(2) リーフレットの有効な活用を図るため、乳幼児をもつ保護者へ健康教育及び栄養指導の機会をもつ保育士や幼稚園教諭を対象とした指導者研修会を開催し、研修会終了時と8か月後の活用状況についてアンケートを実施した。(平成28年度)</p> <p>※資料添付：無</p>                                |   |
| 評価                              | プロセス評価                                 | <p>○研修会終了時のアンケート 参加人数59名、回収枚数56枚（回収率94.9%）</p> <p>○研修会終了後8か月後のアンケート 送付施設42カ所、回答施設40カ所（回収率95.2%）</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                |   |
|                                 | 結果評価                                   | <p>○関係機関と検討し、「朝ごはん」、「たっぷり野菜」、「減塩」をテーマに、より具体的に簡単レシピやだしの取り方を入れるなど、実態に即したリーフレットとなった。</p> <p>○県中管内保育所等を対象とした指導者研修会終了時のアンケートで、参加者56名中55名がリーフレットの活用ができると回答があった。</p> <p>また、研修終了後8か月後のアンケートでは、平成28年度に活用していた施設は33施設（82.5%）で、活用方法は子どもに対する食育活動及び職員研修が多かった。</p> <p>平成29年度に活用を予定している施設は37施設（92.5%）で、活用方法は食育活動及び職員研修、保護者説明会等が多かった。</p>                                                           |   |
| 課 題                             |                                        | 乳幼児の食事内容は、保護者等の食に関する認識や知識の影響が大きいことから、保護者等が食生活を見直し、健康的な食行動の改善を図っていくことができる環境づくりが必要である。                                                                                                                                                                                                                                                                                               |   |
| その他                             |                                        |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |   |

## 工夫した点

乳幼児と関わりの大きい関係機関と食習慣改善の具体的な対策について検討を重ねて取り組みができた。

キーワード：乳幼児と保護者等、食育

## 実施主体

福島県県中保健福祉事務所

|                                     |        |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |   |
|-------------------------------------|--------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---|
| 事業名                                 |        | いばらき健康づくり支援店を通した食環境整備の推進                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          |   |
| 行政栄養士の基本指針における位置づけ<br><br>* 該当区分に○印 |        | (3)生活習慣病の発症予防と重症化予防の徹底のための施策の推進                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   | ○ |
|                                     |        | (4)社会生活を自律的に営むために必要な機能の維持及び向上のための施策の推進                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            |   |
|                                     |        | (5)食を通じた社会環境の整備の促進                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                | ○ |
| 指標と目標値                              |        | 指標：茨城県食育推進計画（第三次）（計画期間：平成28～32年度）<br>目標：健康づくりに取り組む飲食店等の増加<br>「いばらき健康づくり支援店」（以下「支援店」）登録店舗数1450店                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |   |
| 現状と課題                               |        | ・本県は全国と比較して脳血管疾患，糖尿病などの生活習慣病による死亡率が高い。<br>・成人の食塩摂取量は全国平均より多く，目標量を超えており，野菜の摂取量は目標量に達していない。<br>・県民が自分の健康を考慮した食を選択することができるよう，飲食店等と連携した食環境整備推進が必要であるが，健康づくりに取り組む飲食店等として登録された支援店の店舗数は，934店舗（H29年9月末）に留まっている。（増やす必要がある。）<br>・健康課題に対応した塩分ひかえめメニュー・野菜たっぷりメニュー提供店の増加を図る必要がある。<br>・市町村支援の観点から，市町村の健康課題解決の施策推進と県が共同で取り組む体制を作る必要がある。                                                                                                                                                                                                          |   |
| 事業の目的                               |        | 市町村の健康課題に対応した施策を推進するため，食環境整備の点から県として支援する体制を構築することを目的とする。初年度の目的は，食環境整備に関わる関係者会議を県が開催し，支援店の意見や要望，意識等を明確化し，支援店が積極的に適塩や野菜の提供増に取り組むための効果的な方策を探る。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |   |
| 対 象                                 |        | 日立保健所管内1市のいばらき健康づくり支援店（モデル実施）                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |   |
| 連携機関                                |        | 茨城キリスト教大学，日立商工会議所，日立市健康づくり推進課，全国健康保険協会茨城支部，茨城県立健康プラザ，茨城県保健予防課                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |   |
| 実施時期                                |        | 平成29年度，30年度，31年度                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  |   |
| 事業内容                                |        | 平成29年度（初年度）事業目標：支援店が適塩や野菜の提供増に取り組むための課題を明確にする。<br>1 県による食環境整備関係者会議の開催<br>2 保健所による「いばらき健康づくり支援店関係者会議」の開催<br>（内容）・会議に向けての事前調査票により，適塩の意識や取組状況を把握<br>・市の健康課題と支援店誕生の目的の共通理解<br>・支援店に登録して良かった点などの確認（支援店を増やすPR視点の確認）<br>・適塩に関するヘルシーメニュー（塩分ひかえめメニュー・野菜たっぷりメニュー）提供店の増加へ向けて，取組事例紹介と今後の展望について意見交換<br>（結果）・適塩等の取組に対する支援店の共通の意識として，「食に関わる者の役割として，地域の健康づくりに貢献したい」との思いが共有できた。<br>・支援店が貢献するためには，県や市から情報提供と取組支援が必要であるとの課題が出された。<br>3 適塩及び支援店PR資料の作成・配付（大学・協会健保茨城支部・市・県・保健所による共同作成）<br>※次年度からは，課題に対応した事業を展開する。<br>※資料添付：有・ <input type="checkbox"/> |   |
| 評価                                  | プロセス評価 | ・対象支援店11店舗のうち7店舗が会議に出席した。（出席率：64%）<br>・事前調査票の協力率は100%であった。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        |   |
|                                     | 結果評価   | ・支援店の意見を直接聴くことにより，ニーズや課題の把握，目的の共有をすることができた。<br>・支援店同士が顔見知りの関係になり，意識を高め合うことができた。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |   |
| 課 題                                 |        | ・支援店の知名度をアップし，ヘルシーメニューを選択する利用が増えるための啓発とPRの強化<br>・保健所栄養士による取組促進の手法検討・取組支援のための健康外食アドバイザー制度の整備                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |   |
| その他                                 |        |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |   |
| 工夫した点                               |        | 市の役割と県の役割を融合した協同事業体制をとった。飲食店関係団体等への効率的なPRにつながるよう，日立商工会議所等多くの関連組織と連携して事業推進ができる体制を作った。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              |   |

キーワード：協同事業体制，いばらき健康づくり支援店，健康課題解決

|      |               |        |                           |
|------|---------------|--------|---------------------------|
| 実施主体 | 茨城県日立保健所健康増進課 | 所在地    | 茨城県日立市助川町2丁目6番15号         |
| 電話番号 | 0294-22-4192  | FAX番号  | 0294-24-5132              |
| 担当者  | 中村 珠実         | E-mail | hiho04@pref.ibaraki.lg.jp |

|                                     |        |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |   |
|-------------------------------------|--------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---|
| 事業名                                 |        | 県西地区における地域栄養ケアシステムの構築に向けた取組                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        |   |
| 行政栄養士の基本指針における位置づけ<br><br>* 該当区分に○印 |        | (3)生活習慣病の発症予防と重症化予防の徹底のための施策の推進                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |   |
|                                     |        | (4)社会生活を自律的に営むために必要な機能の維持及び向上のための施策の推進                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             | ○ |
|                                     |        | (5)食を通じた社会環境の整備の促進                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 |   |
| 指標と目標値                              |        | 長期目標は高齢者等の在宅療養に係わる栄養ケアシステムの構築。中期目標は給食を提供する病院及び老人保健施設、特別養護老人ホーム等の施設間の情報共有と効果的な運用の整備（平成 32 年）                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        |   |
| 現状と課題                               |        | 高齢者の栄養管理については、退院促進や在宅医療が求められる中で、病院内の NST（栄養サポートチーム）や退院時の栄養ケアマネジメントの重要性が理解され、その取組が進められるようになった。その一方で、転院時の施設間の食事支援に係わる情報連携方法や、退院後に在宅で利用する施設への情報提供方法が十分でなく、誤嚥や低栄養等を起こす危険があり、利用者の食事及び栄養ケアに係わる課題は大きい。                                                                                                                                                                                                                                                                                    |   |
| 事業の目的                               |        | 高齢者等の在宅療養者が増大することを踏まえ、地域の各関係施設の職員が栄養ケア・食生活に係わる情報を共有する体制を整備する。さらに、利用者の生活習慣病や低栄養の発症及び重症化等、栄養ケアの現場で優先されるべき課題を整理し、地域のニーズに応じた栄養ケアの取組を推進する。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              |   |
| 対 象                                 |        | 管内の病院、老人保健施設、特別養護老人ホーム（その他老人福祉施設含む）、社会福祉施設に勤務しており、「県西支部栄養士会地域連携栄養ケア体制整備」に登録をしている管理栄養士・栄養士                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          |   |
| 連携機関                                |        | 栃木県栄養士会県西支部                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        |   |
| 実施時期                                |        | 平成 27 年度からの継続事業（年 2～3 回）                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           |   |
| 事業内容                                |        | <p>【研究会の設置】県西健康福祉センター地域連携栄養ケア研究会を立ち上げ、「地域連携栄養ケア体制整備」に登録をしている管理栄養士・栄養士を対象に、管内の栄養ケアシステム構築に向けた会議（研究会）を年 2～3 回実施した。</p> <p>【取組内容】各施設の優先順位の高い課題を共有し、摂食機能が低下した高齢者等に提供する食事形態に係わる内容を共通した課題として取り上げた。各施設の食形態は独自のルールで決定し提供され、各施設間の統一性がないことから、転院時や在宅の食事支援が十分に行えていない実態があった。これらのことから、低栄養及び誤嚥等の発症を抑えることを目的に、食事形態表[食形態調整表（別紙 1-①）]や栄養剤[経腸栄養剤一覧表（別紙 1-②）]の統一化及び情報共有シートの作成を行った。</p> <p>【資質の向上と地域の栄養ケア推進の強化】</p> <p>各施設の食形態調整表（別紙 1-①）及び経腸栄養剤一覧表（別紙 1-②）を情報共有し、活用方法の検討を行った。</p> <p>※資料添付　： ○有　・　無</p> |   |
| 評価                                  | プロセス評価 | 管内の対象施設から地域連携栄養ケアの推進に係わるリーダーとなる管理栄養士・栄養士の登録を行うことができた。また、これらを構成員とした研究会の立ち上げ、定期的な会議の開催を行い、地域の関係職員と共に地域課題に取り組むことができた。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 |   |
|                                     | 結果評価   | 行政機関と地域の関係施設が情報共有する場を設定し、地域の栄養ケア体制を構築する基盤づくりを行うことができた。また、各施設の栄養ケアや給食管理に係わる課題の整理や情報共有ができた。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          |   |
| 課 題                                 |        | 在宅療養等に関わる栄養ケア体制の充実には、栄養・食生活に関するニーズの把握を行う仕組みの検討、地域の医師会や訪問看護ステーション、栄養士会等関係団体と連携した事業展開が必要と言える。また、支援する側の施設の運用面の問題、人材不足、知識不足、多職種との連携不足などの課題があげられるため、地域の栄養ケアに係わる者の質の向上や施設間の強化を図る必要がある。                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |   |
| その他                                 |        | 平成 29 年度は地域の基盤を活用して、医師会やケアマネージャーが中心に地域で活動している在宅介護を考える会等と連携した事業展開を行っている。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            |   |
| 工夫した点                               |        | 行政機関は、拠点となる施設の方針と他施設の実態に沿った取組を計画し、地域の関係機関が主導で栄養ケア体制の推進が行えるようにサポートをする体制で事業を展開している点。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 |   |

キーワード：介護食、高齢者の栄養管理、地域連携栄養ケア

|      |                    |          |                               |
|------|--------------------|----------|-------------------------------|
| 実施主体 | 栃木県県西健康福祉センター健康対策課 | 所在地      | 栃木県鹿沼市今宮町 1664-1              |
| 電話番号 | 0289-64-3125       | F A X 番号 | 0289-64-3919                  |
| 担当者  | 池内寛子               | E - mail | kensai-kfc@pref.tochigi.lg.jp |

|                    |                                        |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |   |
|--------------------|----------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---|
| 事業名                |                                        | 高校・大学等との食育連携事業                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |   |
| 行政栄養士の基本指針における位置づけ | (3)生活習慣病の発症予防と重症化予防の徹底のための施策の推進        |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |   |
|                    | (4)社会生活を自律的に営むために必要な機能の維持及び向上のための施策の推進 |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      | ○ |
|                    | (5)食を通じた社会環境の整備の促進                     |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |   |
| * 該当区分に○印          |                                        |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |   |
| 指標と目標値             |                                        | 「第3次宇都宮市食育推進計画」における実践目標<br>① 朝ごはんを毎日食べる20歳代の割合 59.5% ⇒ 85%以上<br>② 朝ごはんを毎日食べる30歳代の割合 74.6% ⇒ 85%以上                                                                                                                                                                                                                                                    |   |
| 現状と課題              |                                        | 平成28年6月に実施した「食育に関する意識調査」の結果によると、「食育」の認知度は向上しているが、20歳代・30歳代の若い世代において、朝食を摂取する割合が依然として低いことや、40歳代・50歳代の働く世代において肥満が増加傾向にある。また、メタボリックシンドロームなどの予防・改善への取組や栄養バランスの良い食事の実践度に課題があるほか、少子高齢化の進展、世帯構造や社会状況の変化による家庭生活の多様化なども課題となっている。                                                                                                                               |   |
| 事業の目的              |                                        | 生きる上での基本である「食」に関する知識と「食」を選択する力を習得し、健全な食生活を実践できる人を育てる「食育」を社会全体で推進するために、行政や関係機関、地域等が連携して総合的・計画的に取り組むことができる体制を整備し、食育を推進する。                                                                                                                                                                                                                              |   |
| 対 象                |                                        | 高校生、短大生、大学生、専門学校生 などの若い世代                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            |   |
| 連携機関               |                                        | あさごはん食べ隊（宇都宮大学 教育学部家政教育専攻・地域デザイン科学部コミュニティデザイン学科）                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |   |
| 実施時期               |                                        | 平成28年度～                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              |   |
| 事業内容               |                                        | ・宇都宮大学の学生15名（教育学部家政教育専攻・地域デザイン科学部コミュニティデザイン学科）が結成した「あさごはん食べ隊」が市主催の「うつのみや食育フェア」において主体的にステージ・出展ブースの企画から運営を担った。<br>・若い世代の食に関する知識や意識、実践状況等の面で、他の世代より課題が多くみられることから、若い世代の正しい食習慣定着のためにも、朝食の欠食率が高い現状を踏まえ、朝食をテーマにした内容とした。<br>・今まで食育に興味関心を持たない人でも、このイベント会場に足を運んでもらい、イベントを通して、食育に興味を持ってもらうために、若い世代向けの内容とした。<br>※資料添付： <input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ 無 |   |
| 評価                 | プロセス評価                                 | 食育への関心が低いとされる若い世代である学生が、イベントの企画、運営に関わったことで、出展者側の学生自身の食生活を見直すきっかけにもなった。<br>「あさごはん食べ隊」はイベント終了後、リフレクションを実施し、今回の反省を踏まえ、次年度に向けて、若い世代により効果的なブース内容の検討を進めている。                                                                                                                                                                                                |   |
|                    | 結果評価                                   | 学生自身が、簡単朝食レシピを考案し、配布するだけではなく、実際に作って試食提供することで、来場者に簡単朝食レシピを知ってもらうことができた。                                                                                                                                                                                                                                                                               |   |
| 課 題                |                                        | 学生自身が、今回のイベントへの参加を契機とし、様々な場において、継続的な活動を行い、若い世代の正しい食習慣の定着に繋がるよう、行政として引き続き支援をしていく必要がある。                                                                                                                                                                                                                                                                |   |
| その他                |                                        |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |   |
| 工夫した点              |                                        | 食育への関心が低いとされる若い世代である学生が、イベントの企画、運営に関わったことで、若い世代を含む多くの来場者の興味を引くことが出来、また、出展者側の学生自身の食生活を見直すきっかけにもなった。                                                                                                                                                                                                                                                   |   |

キーワード：若い世代への食育

|      |              |        |                                         |
|------|--------------|--------|-----------------------------------------|
| 実施主体 | 宇都宮市健康増進課    | 所在地    | 宇都宮市竹林町972番地                            |
| 電話番号 | 028（626）1126 | FAX番号  | 028（627）9244                            |
| 担当者  | 枝 有紀         | E-mail | u19070500@city.utsunomiya.tochigi.ne.jp |

|                                 |        |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |      |      |      |          |
|---------------------------------|--------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------|------|------|----------|
| 事業名                             |        | 特定給食施設等指導事業におけるワークシートの作成及び活用                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  |      |      |      |          |
| 行政栄養士の基本指針における位置づけ<br>* 該当区分に○印 |        | (3)生活習慣病の発症予防と重症化予防の徹底のための施策の推進                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |      |      |      |          |
|                                 |        | (4)社会生活を自律的に営むために必要な機能の維持及び向上のための施策の推進                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        |      |      |      |          |
|                                 |        | (5)食を通じた社会環境の整備の促進                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            |      |      | ○    |          |
| 指標と目標値                          |        | <div>・ 施設の特性に応じた適切な栄養管理を実施し、利用者の健康増進を評価する施設の増加。<br/>現状94.9%(H28年度)→100%(H31年度) 出典：群馬県健康増進法施行細則による栄養管理報告書</div> <div>※適切な栄養管理のサブ目標</div> <div>・ 給食において適切な食塩摂取と積極的な野菜提供を実施する施設の増加。</div> <div>・ 利用者とその家族に健康情報を発信する施設の増加。</div> <div>・ 上記を行う管理栄養士・栄養士配置施設の増加。現状 60.4%(H28 年度)→85%(H34 年度)</div>                                                                                                                  |      |      |      |          |
| 現状と課題                           |        | 本県の給食施設の利用者数は、県民(中核市除く)の約 20%を占めていることから、給食施設における栄養管理の充実を通じて県民の食行動の改善を推進することが重要である。しかし、各保健所単位で実施している給食施設指導には格差があり、指導事業の達成目標が明確でない。また、各施設から提出される栄養管理報告書が指導計画（目標）に有効活用されていない。                                                                                                                                                                                                                                    |      |      |      |          |
| 事業の目的                           |        | 健康増進法に基づき、特定給食施設等における栄養管理について、栄養指導員（管理栄養士）が施設へ指導・助言を行うために、栄養管理報告書を有効に活用し、指導対象施設の優先順位を立て、効率的に指導事業を行う。                                                                                                                                                                                                                                                                                                          |      |      |      |          |
| 対 象                             |        | 各保健所管内給食施設                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    | 連携機関 | 給食施設 | 実施期間 | 平成 29 年度 |
| 事業内容                            |        | <div>＜保健予防課＞各保健所の担当者とこれまでの事業実施を振り返り、現状と課題を共有し、保健所ごとの指導格差が生じないように、指導及び評価のあり方について検討した。</div> <div>＜保健所＞上記指標の達成に向け、栄養管理報告書及びこれまでの指導結果・改善状況等を踏まえ、ワークシート（計画書）を作成し、保健予防課に報告・協議の上、事業の達成目標を決定した。</div> <div>管内の重点指導施設（※）の現状を把握し、優先順位を立て、給食施設へ個別指導（巡回指導）と集団指導（栄養管理講習会）を実施した。</div> <div>※重点指導施設：①管理栄養士・栄養士未配置の施設、②肥満者及びやせの者の把握を実施していない施設、③昨年度の肥満並びにやせに該当する者の合計の割合が基準年と比較して 5 %以上増加した施設</div> <div>※資料添付 ： 有 ・ ○無</div> |      |      |      |          |
| 評価                              | プロセス評価 | <div>・巡回指導の実施：ワークシート（計画書）の作成により、管内給食施設の現状・課題の把握をし、目標を明確にして指導につなげることができた。</div> <div>・栄養管理講習会の開催：巡回指導結果等から課題・問題点を明確にし、目標達成を目指した内容で実施することができた。</div>                                                                                                                                                                                                                                                            |      |      |      |          |
|                                 | 結果評価   | <div>・特定給食施設の健康増進を目的とする施設のうち、管理栄養士・栄養士が未配置であり、肥満・やせの者の割合が、維持・減少・5 %未満の増加〔基準年比較〕である施設の増加（H27 年度 28.5%、H28 年度 29.3%、H29 年度計画 25.7%）</div>                                                                                                                                                                                                                                                                       |      |      |      |          |
| 課 題                             |        | 今後は、栄養管理報告書と巡回指導結果を連動させ、さらに具体的な評価に基づいた指導を行うための評価システムを構築することが必要である。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            |      |      |      |          |
| その他                             |        | 給食施設台帳管理システムの改修に伴い、平成 30 年度に上記の評価システムの構築を行う予定。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                |      |      |      |          |
| 工夫した点                           |        | <div>・県及び保健所の情報共有により、全県で同じ方向性による実施につなげた。</div> <div>・ワークシート（計画書）の作成により、現状・課題を把握し、事業の達成目標を明確にできた。</div>                                                                                                                                                                                                                                                                                                        |      |      |      |          |

## キーワード：給食施設指導

|      |              |        |                |
|------|--------------|--------|----------------|
| 実施主体 | 群馬県          | 所在地    | 群馬県前橋市大手町1-1-1 |
| 電話番号 | 027-226-2604 | FAX番号  | 027-223-7950   |
| 担当者  | 齊藤・細谷        | e-mail |                |

|                                     |                                        |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           |   |
|-------------------------------------|----------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---|
| <b>事業名</b>                          |                                        | <b>糖尿病予防及び重症化予防事業</b>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |   |
| 行政栄養士の基本指針における位置づけ<br><br>* 該当区分に○印 | (3)生活習慣病の発症予防と重症化予防の徹底のための施策の推進        |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           | ○ |
|                                     | (4)社会生活を自律的に営むために必要な機能の維持及び向上のための施策の推進 |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           |   |
|                                     | (5)食を通じた社会環境の整備の促進                     |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           |   |
| <b>指標と目標値</b>                       |                                        | 糖尿病有病者、予備軍の減少 現状値：平成 28 年度特定健診結果糖尿病有病者と予備軍 28%<br>糖尿性腎症による人工透析への移行の減少 現状値：人工透析患者の糖尿病性腎症の割 67%<br>HbA1c を知っている住民の割合の増加 現状値：特定健診受診アンケート 33.4%                                                                                                                                                                                                                                                                               |   |
| <b>現状と課題</b>                        |                                        | 本町では、糖尿病、医療費割合が同規模、県、国より高い。また、人工透析患者の 67%は糖尿病性腎症が背景となっている。特定健診会場にて実施した糖尿病に関するアンケートでは、糖尿病の検査値である HbA1c を知っている割合は 33.4%であった。このようなことから、糖尿病に関する知識の普及をし、発症または重症化を予防することが必要である。                                                                                                                                                                                                                                                 |   |
| <b>事業の目的</b>                        |                                        | 糖尿病に関する知識を（HbA1c を知っている割合）普及する。<br>糖尿病の重症化による合併症を予防するための知識や具体的な生活習慣の改善について普及する。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           |   |
| <b>対 象</b>                          |                                        | 町民                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        |   |
| <b>連携機関</b>                         |                                        | 地域医師会                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |   |
| <b>実施時期</b>                         |                                        | 平成 29 年度内                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 |   |
| <b>事業内容</b>                         |                                        | 1. 特定健診会場にて栄養指導実施（HbA1c6.0 以上、空腹時血糖 110 以上、随時血糖 140 以上の者）<br>2. 糖尿病に関するアンケート実施（特定健診受診者に実施）<br>3. 糖尿病重症化予防のための受診勧奨<br>特定健診結果が空腹時血糖 126mg/dl 以上または HbA1c6.5%以上の者で未治療及び糖尿病治療中断中者に対し、受診勧奨を実施。<br>4. 健康づくり教室実施 特定健診結果が HbA1c6.0 以上の者へ個別通知、また 30～74 歳の希望する者。<br>糖尿病の予防や、糖尿病の重症化による合併症を予防するため、疾病及び栄養や運動について、正しい知識の普及及び実技指導を実施。①糖尿病についての講話、②調理実習 ③みそ汁塩分測定 ④食事調査 ⑤個別指導 ⑥血液検査 ⑦運動指導 ⑧計測（血圧・体重・血管年齢等）<br>5. 糖尿病について広報に掲載<br>※資料添付： 無 |   |
| <b>評価</b>                           | <b>プロセス評価</b>                          | 特定健診会場における栄養指導は 341 人に実施した。糖尿病に関するアンケートは回答者 1,053 人、町民の糖尿病に関するイメージや知識について調査し、今後の事業の参考にした。<br>健康づくり教室は定員 20 名のところ、30 名の申し込みがあった。教室参加者の教室に対する満足度の平均は 92.2%だった。                                                                                                                                                                                                                                                              |   |
|                                     | <b>結果評価</b>                            | 次年度の特定健診で評価予定。<br>また、データヘルス計画(第 2 期)で評価予定。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                |   |
| <b>課 題</b>                          |                                        | 医療機関との連携のあり方（体制の強化）                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |   |
| <b>その他</b>                          |                                        |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           |   |
| <b>工夫した点</b>                        |                                        | 特定健診会場での栄養指導の実施やアンケート調査により町民の現状を把握したこと。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |   |

キーワード：

|             |              |                 |                                |
|-------------|--------------|-----------------|--------------------------------|
| <b>実施主体</b> | みなかみ町 子育て健康課 | <b>所在地</b>      | 群馬県利根郡みなかみ町後閑 318              |
| <b>電話番号</b> | 0278-62-252  | <b>F A X 番号</b> | 0278-62-6610                   |
| <b>担当者</b>  | 平形知子         | <b>e - mail</b> | t-hirakata@town.minakami.ig.jp |

|                                     |        |                                                                                                                                                                                                                                                           |   |
|-------------------------------------|--------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---|
| 事業名                                 |        | ふれあい昼食会                                                                                                                                                                                                                                                   |   |
| 行政栄養士の基本指針における位置づけ<br><br>* 該当区分に○印 |        | (3)生活習慣病の発症予防と重症化予防の徹底のための施策の推進                                                                                                                                                                                                                           |   |
|                                     |        | (4)社会生活を自律的に営むために必要な機能の維持及び向上のための施策の推進                                                                                                                                                                                                                    | ○ |
|                                     |        | (5)食を通じた社会環境の整備の促進                                                                                                                                                                                                                                        |   |
| 指標と目標値                              |        | 板倉町健康増進計画（ひまわり健康２１）の目標値<br>低栄養傾向（BMI20 以下）の高齢者の割合（増加の抑制）：16.9%（H25） → 20%（H34）                                                                                                                                                                            |   |
| 現状と課題                               |        | 町の人口に占める老年人口の割合は年々増加しており、高齢化率は 28.3%となっている（平成 29 年 4 月時点）。また、要介護認定者数も増加傾向にあり、それに伴って介護給付費も増加している。<br>今年度の後期高齢者健診を受診した人のうち、BMI が 20 以下だった人は 16.3%だったが、ひとり暮らしの高齢者でみると、22.7%と高くなることがわかった。高齢期の適切な栄養は、身体機能を維持し生活機能の自立を確保する上で極めて重要である。                           |   |
| 事業の目的                               |        | ①食事を通じた交流（共食）を行うことで、高齢者の外出と仲間づくりの機会を提供<br>②偏りがちな食生活を見直し、低栄養を予防するため、食生活の改善を図る                                                                                                                                                                              |   |
| 対 象                                 |        | 70 歳以上のひとり暮らし高齢者                                                                                                                                                                                                                                          |   |
| 連携機関                                |        | 板倉町地域包括支援センター、板倉町食生活改善推進協議会                                                                                                                                                                                                                               |   |
| 実施時期                                |        | ①秋の回：平成 29 年 11 月 22 日、24 日<br>②春の回：平成 30 年 3 月中（予定）                                                                                                                                                                                                      |   |
| 事業内容                                |        | ・地区の公民館（４会場）で１回ずつ計４回開催（秋に２回、来春に２回）<br>・高齢者訪問相談員が訪問して案内通知を手渡し<br>・食改推が調理を担当<br>・献立は、惣菜や冷凍食品等を活用して家でも作りやすいものとした<br>（献立：ひじき入りハンバーグ、温野菜のごま和え、具だくさんスープ、りんごのケーキ）<br>・会食前に「共食について」の栄養講話、グループワークを実施<br>・参加者とスタッフで会食<br><br>※資料添付　：　有　・ <input type="checkbox"/> 無 |   |
| 評価                                  | プロセス評価 | （秋開催分）<br>・案内通知数：96 名、参加者数：24 名　参加率：25.0%<br>・満足度：100%（「よかった」「おおむねよかった」と回答した人の割合）<br>「また参加したい」「毎月開催してほしい」との声があり、満足度の高さがうかがえた。                                                                                                                             |   |
|                                     | 結果評価   | ・共食の大切さを理解した（「理解した」「おおむね理解した」と回答した人の割合）　100%<br>・食事を見直すきっかけになった（「なった」「おおむねなった」と回答した人の割合）　83.3%                                                                                                                                                            |   |
| 課 題                                 |        | 単発事業では成果が見えにくいため、継続的な実施の検討が必要                                                                                                                                                                                                                             |   |
| その他                                 |        |                                                                                                                                                                                                                                                           |   |

|       |                                        |
|-------|----------------------------------------|
| 工夫した点 | 案内通知を郵送ではなく訪問での手渡しにより、直接対象者に教室の周知をしたこと |
|-------|----------------------------------------|

キーワード：ひとり暮らし高齢者、低栄養予防、共食

|      |              |        |                              |
|------|--------------|--------|------------------------------|
| 実施主体 | 板倉町役場健康介護課   | 所在地    | 群馬県邑楽郡板倉町岩田甲1056             |
| 電話番号 | 0276-82-3757 | FAX番号  | 0276-82-3754                 |
| 担当者  | 森戸 里江子       | e-mail | morito@town.itakura.gunma.jp |

|                    |                                        |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                |   |
|--------------------|----------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---|
| 事業名                |                                        | なっちゃんカフェ（認知症カフェ）                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |   |
| 行政栄養士の基本指針における位置づけ | (3)生活習慣病の発症予防と重症化予防の徹底のための施策の推進        |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                |   |
|                    | (4)社会生活を自律的に営むために必要な機能の維持及び向上のための施策の推進 |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                | ○ |
|                    | * 該当区分に○印                              |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                | ○ |
| 指標と目標値             |                                        | 参加者の人数で評価する。<br>目標値：年間参加人数累計 320 名（2016 年 町内認知症高齢者推計人数と同数）                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |   |
| 現状と課題              |                                        | 神川町において、介護保険の認定者のうち約 4 割が認知症の高齢者として存在している。その人数は、2016 年の調査で 320 人と推計されている。2025 年には、440 人になると推計されている。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            |   |
| 事業の目的              |                                        | ①認知症の方・介護されているご家族、また認知症に関心がある方など、誰でも気軽に安心して参加できる場所を作り、ボランティアや地域住民との横のつながりを形成する場とする。<br>②認知症について正しい知識の普及啓発とともに、認知症の方または介護者の支援や相談の場となることで、介護の悩みや不安の軽減を行う。<br>③管理栄養士指導による昔のおやつ作りを参加者で行うことで、結果の見えやすい、達成感を感じる構成と、偏りがちな食事の改善指導を受ける機会をつくる。                                                                                                                                                                                                                            |   |
| 対 象                |                                        | 軽度認知症の方・ご家族、介護支援専門員、認知症に関心のある方、地域住民の方 他                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        |   |
| 連携機関               |                                        | 地域包括支援センター、保健センター、認知症サポーター、介護支援ボランティア（町内 65 歳以上ボランティア団体）、町内介護事業所や介護支援専門員                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |   |
| 実施時期               |                                        | 平成 29 年 9 月より毎月 1 回、第 1 水曜日に実施。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                |   |
| 事業内容               |                                        | <input type="checkbox"/> カフェのスケジュール（時間配分）<br>10:15～ スタッフ集合、事前ミーティング、準備、お出迎え<br>10:30～11:00 カフェオープン、ストレッチ体操(エンカサイズ)<br>11:00～11:50 簡単なレクや講話、参加者との軽食作り(昔のおやつや季節の行事食)、喫茶<br>11:50～12:00 参加者とみんなで片付け、季節の歌<br>12:00～ 終了、見送り、事後ミーティング ※ 途中参加、退出可<br><input type="checkbox"/> 参加費 1 人 100 円<br><input type="checkbox"/> 提供する飲食物 緑茶、紅茶、ほうじ茶、コーヒー、その日の軽食<br><input type="checkbox"/> 送迎 必要に応じて、地域包括支援センターの無料送迎を活用。<br>※資料添付 : <input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ 無 |   |
| 評価                 | プロセス評価                                 | 9 月以降、毎月 1 回実施できている。<br>参加者数は平均 28 名。職員からの紹介や知人の紹介等で参加者の増加がみられ、2 月現在では当初の予定の 30 名/回を上回る参加となっている。また、カフェを支える介護支援ボランティアのスタッフは、設立当初は 6 名であったが、30 年 2 月現在で 11 名となり、地域住民の関心も高まってきている。                                                                                                                                                                                                                                                                                |   |
|                    | 結果評価                                   | 目標：年間参加者累計 320 名→結果：336 名（平均参加者数より推計）<br>参加者数は予定以上に増加している。現在の施設だけでなく、各地域での設置を目指す。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              |   |
| 課 題                |                                        | 認知症介護者の不安やストレス緩和のため、日頃の悩み等を相談できる場所の提供が必要。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |   |
| その他                |                                        | 神川町ホームページ <a href="http://www.town.kamikawa.saitama.jp/">http://www.town.kamikawa.saitama.jp/</a>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              |   |

|       |                                                                                                                          |
|-------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 工夫した点 | 参加者との軽食づくりのメニューは、各回の季節を考慮した、昔懐かしいものになっている。高齢者の咀嚼嚥下を考慮し、かつ、認知症予防につながる作業（丸める・包む等）ができるようにしている。準備の時間から、利用者が参加できる仕組み作りを行っている。 |
|-------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|

キーワード：認知症、フレイル、2025 問題、生きがいつくり、他職種連携、健康教育

|      |                |          |                                     |
|------|----------------|----------|-------------------------------------|
| 実施主体 | 神川町地域包括支援センター  | 所在地      | 〒367-0246 埼玉県児玉郡神川町大字関口 90          |
| 電話番号 | 0495 (74) 1155 | F A X 番号 | 0495 (74) 1156                      |
| 担当者  | 金子 美紀          | E - mail | houkatu@town.saitama-samikawa.lg.jp |

< 添付資料 >

カフェオープンを、  
ポスターやチラシでアピールしました！

♡ 神川町にカフェができました♡

**なっちゃんカフェ**

なっちゃんカフェってこんなところ！！

認知症の方、家族や地域の方が、おやつ作り  
やレクリエーションを通して **認知症支援**  
の皆さんと楽しく交流する場所です♪

**日時：毎月第1水曜日**  
午前10時30分～

**場所：地域包括支援センター（いいの郷）**

**費用：100円**

**送迎：無料（事前申し込み必要）**

**対象：認知症の方、介護者**  
その他 **だれでも参加できます♪**

平成29年 9月 6日(水) 秋のお月見団子○○○  
平成29年 10月 4日(水) ハロウィンが可愛いお菓子作り  
平成29年 11月 1日(水) 健康を贈ろう！煮の子餅  
平成29年 12月 6日(水) クリスマスツリーのクレープ  
平成30年 1月 10日(水) 未定  
平成30年 2月 7日(水) 未定  
平成30年 3月 7日(水) 未定

1年間の予定

※おいしいお茶と、手作りお菓子を食べてください※

お問い合わせ 地域包括支援センター ☎0495-74-1155



みんなでおやつ作り＆お茶タイム＊

今日は亥の子もち♡

生地で餡を包んで丸め、  
亥の子の柄をつけます

お誕生日の方にはフ  
レートのプレゼント🍰

写真も差し  
上げています

|                    |        |                                                                                                                                                                                                                                                       |   |
|--------------------|--------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---|
| 事業名                |        | 島しょ地域における栄養・食生活の状況調査                                                                                                                                                                                                                                  |   |
| 行政栄養士の基本指針における位置づけ |        | (3)生活習慣病の発症予防と重症化予防の徹底のための施策の推進                                                                                                                                                                                                                       | ○ |
|                    |        | (4)社会生活を自律的に営むために必要な機能の維持及び向上のための施策の推進                                                                                                                                                                                                                |   |
|                    |        | (5)食を通じた社会環境の整備の促進                                                                                                                                                                                                                                    |   |
| * 該当区分に○印          |        |                                                                                                                                                                                                                                                       |   |
| 指標と目標値             |        | 島しょ保健医療圏地域保健医療推進プラン<br>・望ましい食習慣を身につけた人の増加をめざし、栄養・食生活に関する知識・実践方法の普及啓発に取り組む。                                                                                                                                                                            |   |
| 現状と課題              |        | 東京都では、毎年、国民健康・栄養調査の東京都分をまとめ、都民の健康・栄養状況を明らかにしている。しかし、島しょ地域はこれまで調査地区に指定されたことはなく、また本土の東京都から100km～1000km離れ、地勢、産業、地場食品、食文化、流通食品等、食に関する環境は内地とは異なり、都民の健康・栄養状況と同様の傾向を示すのかはこれまで不明であった。島しょ地域においても地域特性に応じた食生活改善対策を進めていくために、各町村の健康・栄養課題を明確にする必要がある。               |   |
| 事業の目的              |        | 管内における島民の食習慣の実態を明らかにし、生活習慣病予防対策の基礎資料とする。                                                                                                                                                                                                              |   |
| 対 象                |        | 管内の20歳以上の島民、約5,000人                                                                                                                                                                                                                                   |   |
| 連携機関               |        | 管内2町7村                                                                                                                                                                                                                                                |   |
| 実施時期               |        | 平成28年9月                                                                                                                                                                                                                                               |   |
| 事業内容               |        | 1 研修会の開催<br>保健所栄養士と町村栄養士が共に、食事調査手法について学んだ。<br>2 調査の検討<br>学識経験者、医師、保健師、事務、栄養士で構成した会議を年2回行い、研修会を通して得られた地域課題や食事調査の方法について検討を行った。<br>3 調査の実施<br>2種類の調査票で構成し、郵送にて実施をした。調査の概要及び結果は添付資料のとおり。<br>4 調査結果の公表<br>ホームページ、広報紙、各種会議、講習会等を活用し、広く島民へ公表した。<br>※資料添付：有・無 |   |
| 評価                 | プロセス評価 | 有効回答数<br>1 簡易型自記式食事歴法質問票 1974（有効回答率40.4％）<br>2 食習慣に関するアンケート 2051（有効回答率41.9％）                                                                                                                                                                          |   |
|                    | 結果評価   | 食塩の過剰摂取、野菜の摂取不足は都民の健康・栄養状況と同様の傾向であったが、低栄養傾向の高齢者の割合が男性18.6％、女性28.1％であり、平成27年国民健康・栄養調査の16.7％と比較して高いことが分かった。                                                                                                                                             |   |
| 課 題                |        | 食事調査の結果から、野菜は摂取不足を認識しているが、食塩は知らずに摂りすぎている者が多い可能性があることが分かり、自身の食塩摂取量についての意識を高めることができる取組が必要であると考える。また、島民の3人に1人が65歳以上と超高齢社会に突入している島しょ地域において、フレイル予防の観点からも高齢者の低栄養傾向の対策は喫緊の課題である。                                                                             |   |
| その他                |        | 今後は、調査結果を活かした食生活改善を島民、関係機関・団体が一体となって取り組むことができる環境整備を推進していく。                                                                                                                                                                                            |   |

|       |                                                                                   |
|-------|-----------------------------------------------------------------------------------|
| 工夫した点 | 本調査をととして、管内町村とともに各町村の栄養・食生活の特徴を整理し、ディスカッションすることで、これまで以上に栄養課題を掘り下げ、課題の共有を図ることができた。 |
|-------|-----------------------------------------------------------------------------------|

## キーワード：食事調査

|      |              |        |                                                                                                    |
|------|--------------|--------|----------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 実施主体 | 島しょ保健所       | 所在地    | 東京都新宿区西新宿二丁目8番1号                                                                                   |
| 電話番号 | 03-5320-4341 | FAX番号  | 03-5388-1428                                                                                       |
| 担当者  | 塚澤拓馬         | E-mail | <a href="mailto:Takuma_Tsukazawa@member.metro.tokyo.jp">Takuma_Tsukazawa@member.metro.tokyo.jp</a> |

# 食事調査の概要

## 1 調査期間

平成 28 年 9 月 1 日（木）～9 月 15 日（木）

## 2 調査項目

### (1) 簡易型自記式食事歴法質問票

- ア 基本属性（年齢、性別、身長、体重）
- イ 習慣的な栄養素等及び食品群別摂取量

### (2) 食習慣に関するアンケート

職業、食事の欠食状況、食事の内容、野菜摂取の意識、外食・惣菜・弁当の利用頻度、味の嗜好、運動習慣、歯科健診の受診状況、服薬状況、食事改善に関する意識

## 3 調査方法等

### (1) 対象者の抽出

原則、性別及び年代別に人口の 2 割の数を住民基本台帳から無作為抽出した。  
人口の少ない島においては、人口の 5 割もしくは全島民を対象とした。

## 4 被調査対象者数

対象者数 5,038 人の内、調査票を送付できた 4,890 人

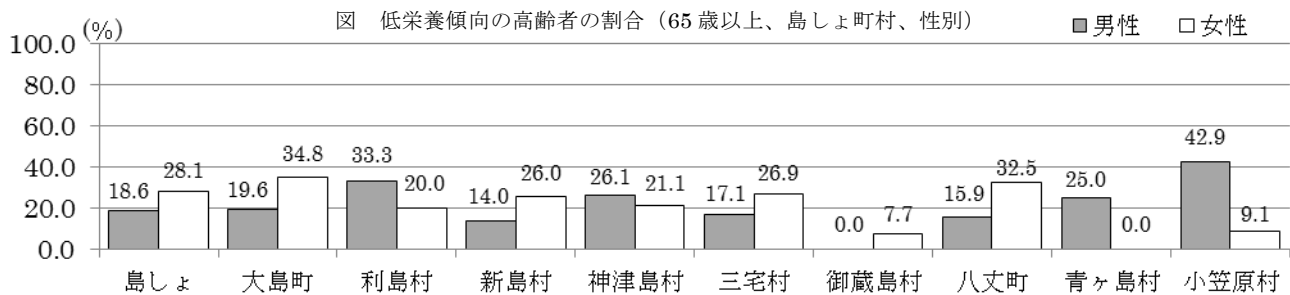
## 5 調査内容及び有効回答数

- ① 簡易型自記式食事歴法質問票 1,974（有効回答率 40.4%）
- ② 食習慣に関するアンケート 2,051（有効回答率 41.9%）

## 6 主な調査結果

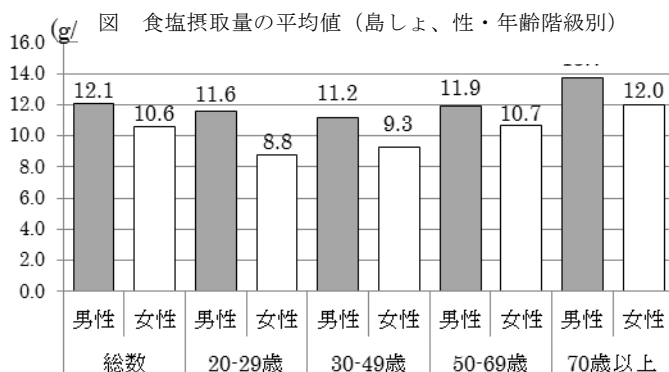
### (1) 肥満とやせの状況

- ・島しょで肥満者（BMI $\geq$ 25）の割合は、男性 27.3%、女性 17.1%で、やせの者（BMI $<$ 18.5）の割合は男性 4.3%、女性 12.1%であった。
- ・65 歳以上の低栄養傾向（BMI $\leq$ 20）の高齢者の割合は男性 18.6%、女性 28.1%であった。



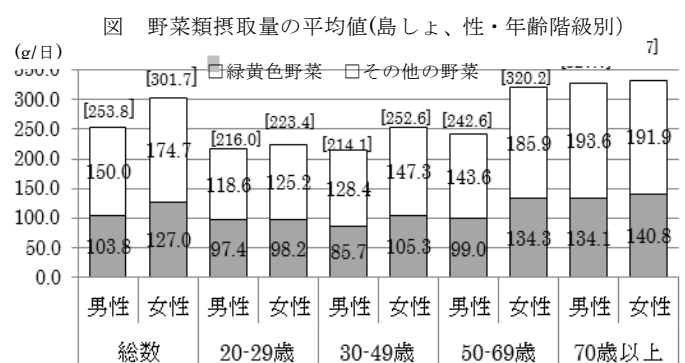
### (2) 食塩の摂取状況

- ・1 人 1 日当たりの平均食塩摂取量は、島しょで男性 12.1 g、女性 10.6 g であった。



### (3) 野菜の摂取状況

- ・1 人 1 日当たりの平均野菜摂取量は、島しょで男性 253.8 g、女性 301.7 g であった。



|                                     |        |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            |   |
|-------------------------------------|--------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---|
| 事業名                                 |        | 地域食生活対策推進協議会（低栄養・フレイル・介護予防対策）                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              |   |
| 行政栄養士の基本指針における位置づけ<br><br>* 該当区分に○印 |        | (3)生活習慣病の発症予防と重症化予防の徹底のための施策の推進                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            |   |
|                                     |        | (4)社会生活を自律的に営むために必要な機能の維持及び向上のための施策の推進                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     | ○ |
|                                     |        | (5)食を通じた社会環境の整備の促進                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         | ○ |
| 指標と目標値                              |        | 各所の取組み内容による。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |   |
| 現状と課題                               |        | ・神奈川県では、関係機関、団体、職域等と連携して地域のよりよい食環境整備のための事業の企画・立案・評価等の機能を担う「地域食生活対策推進協議会」を開催している。<br>・協議する内容は、県全体で設定された5つのテーマから地域の特性に応じた優先度を考慮して決定し、関係機関・団体等と連携し、課題解決に向けた施策の展開等の対策を講じている。<br>・今年度は4か所で「低栄養・フレイル・介護予防対策」をテーマに実施しており、今回はその概要を紹介する。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            |   |
| 事業の目的                               |        | 地域における栄養・食生活課題の解決に向けた施策の推進（その他、各所により設定されている。）                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              |   |
| 対 象                                 |        | 県民、低栄養・フレイル・介護予防対策に携わる従事者 等                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                |   |
| 連携機関                                |        | 市町村、病院、高齢者施設、介護支援専門員協会 等                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |   |
| 実施時期                                |        | 各所の取組み内容により、1～3年程度                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         |   |
| 事業内容                                |        | <p>●<u>高齢者の低栄養予防（小田原保健福祉事務所）</u></p> <p>地域の高齢者が年を重ねてもおいしく食事が食べられ低栄養を予防するため、介護予防支援者向け媒体「食生活チェックシート」を作成し、試行している。多職種の支援者が栄養改善の必要性を理解し、栄養改善につなげられるよう各機関の連携を深めている。</p> <p>●<u>栄養・食生活支援を必要とする長期療養者への支援（鎌倉保健福祉事務所三崎センター）</u></p> <p>施設、病院における専門的な栄養管理下から、地域での療養となった際に生じる栄養・食生活支援体制格差の解消を目指し、在宅療養を見据えた栄養・食生活支援のあり方を検討している。</p> <p>●<u>地域の高齢者の栄養・食生活対策の推進（厚木保健福祉事務所大和センター）</u></p> <p>高齢者の低栄養予防・疾病の重症化予防を目的に、病院・施設・地域間で食情報を共有するための地域連携媒体を作成、運用について検討する等、地域の高齢者に対する栄養・食生活支援体制の整備を図っている。</p> <p>●<u>長期療養者のための食生活支援体制づくり（平塚保健福祉事務所秦野センター）</u></p> <p>地域における長期療養者の切れ目ない継続的な栄養管理を推進するため、栄養情報提供書を活用した効果的な情報の共有、伝達方法について検討するとともに、研修会で先進的な事例を共有、課題解決に向けた支援を行い、長期療養者が病状に合った食事の提供が受けられる体制づくりを進めている。</p> <p>※資料添付     ：   有   ・   <input type="checkbox"/></p> |   |
| 評価                                  | プロセス評価 | 指標の例：研修会や講習会の開催回数・参加者の状況、出前講座の依頼状況                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         |   |
|                                     | 結果評価   | 指標の例：栄養情報提供書の活用状況、病院・施設栄養士による退院・退所時カンファレンスへの出席体制、介護者の在宅療養者支援時の負担感の減少                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |   |
| 課 題                                 |        | 例：管理栄養士・栄養士と介護予防対策に携わる他職種の連携強化、定例業務に追加になるという負担感、専門性に応じた役割分担、人材不足による専門職の確保                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  |   |
| その他                                 |        | 地域食生活対策推進協議会では、「低栄養・フレイル・介護予防対策」のほか、「生活習慣病予防、重症化予防対策」「災害時の食生活支援対策」「未病の改善や健康寿命の延伸に必要な食生活対策」「その他の地域課題の改善対策」を重点項目としてテーマを設定している。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |   |
| 工夫した点                               |        | 各地域の実情に合わせて具体的な目標を設定、その内容に関連する地域の核となる人材を地域食生活対策推進協議会委員として構成し、協議している。先駆的に実施した所を参考にすると等、同じテーマで進める所の栄養士同士で相談し合って、より効果的な事業展開を目指している。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           |   |

キーワード： 体制整備 地域課題の解決

|      |                         |
|------|-------------------------|
| 実施主体 | 問合せ：神奈川県平塚保健福祉事務所秦野センター |
|------|-------------------------|

|                                     |        |                                                                                                                                                                                                                                                                                                          |   |
|-------------------------------------|--------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---|
| 事業名                                 |        | 相模原市特定保健指導プログラム「脱！メタボランチ体験クッキング教室」                                                                                                                                                                                                                                                                       |   |
| 行政栄養士の基本指針における位置づけ<br><br>* 該当区分に○印 |        | (3)生活習慣病の発症予防と重症化予防の徹底のための施策の推進                                                                                                                                                                                                                                                                          | ○ |
|                                     |        | (4)社会生活を自律的に営むために必要な機能の維持及び向上のための施策の推進                                                                                                                                                                                                                                                                   |   |
|                                     |        | (5)食を通じた社会環境の整備の促進                                                                                                                                                                                                                                                                                       |   |
| 指標と目標値                              |        | 対象者が、生活習慣病予防を意識した食習慣の改善を継続することができる                                                                                                                                                                                                                                                                       |   |
| 現状と課題                               |        | <p>標準的な健診・保健指導プログラム【確定版】（平成１９年４月 厚生労働省 健康局）に、「プログラムには、食生活や運動などの実習・講習会などを取り入れ、対象者が自分の生活習慣に気づき、改善できるものが有効」と明記されている。このことから、試作と試食という体験を通して食事に関する具体的手法を知り、自宅での再現性を高めるためのプログラムを開始した。</p> <p>特定保健指導対象者は、食事改善が課題の者が多く、特に食事の量については講義や口頭ではイメージしにくい現状にあることから、平成 20 年から継続して実施している。</p>                               |   |
| 事業の目的                               |        | 試作と試食という体験を通して食事に関する具体的手法を知り、自宅での再現性を高める。                                                                                                                                                                                                                                                                |   |
| 対 象                                 |        | 初回面接に参加した者へ「脱！メタボランチ体験クッキング教室」（以下「クッキング」という。）を案内し、参加は希望制である。（添付「相模原市の特定保健指導の流れ」参照）動機付け支援、積極的支援どちらも対象となる。また、その家族と一緒に参加することも可。                                                                                                                                                                             |   |
| 連携機関                                |        |                                                                                                                                                                                                                                                                                                          |   |
| 実施時期                                |        | 月に１度、通年                                                                                                                                                                                                                                                                                                  |   |
| 事業内容                                |        | <p>１、講義<br/>食に関する知識をクイズ形式で講義をしている。クイズの出題は、料理カードやフードモデルを使用。</p> <p>２、試作、試食</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・メニューは、油を控える方法や野菜の摂取量を増加させる方法、減塩方法を体験できる他、家庭で再現できるように揃えやすい材料を使用している。１食分の試食により食事量を体験できる。</li><li>・ご飯の計量体験（希望者は、自宅からご飯茶碗を持参）</li><li>・自宅で食べているみそ汁の塩分測定（希望制）</li></ul> <p>※資料添付　：　有</p> |   |
| 評価                                  | プロセス評価 | <ul style="list-style-type: none"><li>・教室直後のアンケート集計結果、自分の食事の改善点が「分かった」と答えた者は７割、自分の食事量が「分かった」と答えた者も７割、「ためになった、楽しかった」と答えた者は９割だった。</li><li>・参加割合は、平成 28 年度は 12.3%だった。（平成 27 年度 7.9%）</li></ul>                                                                                                              |   |
|                                     | 結果評価   | <p>当市では、６か月後の体重や腹囲（客観的指標）、生活改善への意欲等（主観的指標）の結果報告を文書返信（以下「評価アンケート」という。）にて実施している。クッキング参加群と参加していない群で検定をした。客観的指標である体重減少、主観的指標に有意差は認められなかったが、どの主観的指標もクッキング参加群が「改善した」「ためになった」「改善を続けたい」の割合は高いという結果だった。特に、「今後、生活習慣を改善するか」「特定保健指導の満足度」については、クッキング参加群と参加していない群の割合の差が大きいという結果だった。（添付グラフ 1・2 参照）</p>                  |   |
| 課 題                                 |        | クッキングによる行動変容が維持・継続できるよう、自己管理能力の向上に着目した内容の検討や継続的なフォローアップの出来る支援を検討する必要がある。                                                                                                                                                                                                                                 |   |
| その他                                 |        |                                                                                                                                                                                                                                                                                                          |   |

|       |                                                                                                                      |
|-------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 工夫した点 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・紹介コメントや写真を工夫（参加者が増加した）</li> <li>・一連の内容をグループで実施することによるグループダイナミクス効果</li> </ul> |
|-------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|

キーワード：

|      |                 |          |                  |
|------|-----------------|----------|------------------|
| 実施主体 | 健康増進課           | 所在地      | 相模原市中央区富士見 6-1-1 |
| 電話番号 | 042-769-8322    | F A X 番号 |                  |
| 担当者  | 黒嶋 梨奈(中央保健センター) | E - mail |                  |

|                                     |        |                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |   |
|-------------------------------------|--------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---|
| 事業名                                 |        | 高校生の生活習慣に関する実態調査                                                                                                                                                                                                                                                                                      |   |
| 行政栄養士の基本指針における位置づけ<br><br>* 該当区分に○印 |        | (3)生活習慣病の発症予防と重症化予防の徹底のための施策の推進                                                                                                                                                                                                                                                                       |   |
|                                     |        | (4)社会生活を自律的に営むために必要な機能の維持及び向上のための施策の推進                                                                                                                                                                                                                                                                |   |
|                                     |        | (5)食を通じた社会環境の整備の促進                                                                                                                                                                                                                                                                                    | ○ |
| 指標と目標値                              |        | 高校生の栄養・生活習慣に関する実態把握を行い、高等学校での食育推進体制を構築する。                                                                                                                                                                                                                                                             |   |
| 現状と課題                               |        | 佐渡市の健康課題の一つに肥満がある。肥満者の割合は、どの世代においても県平均を上回っており、高校生においても同様に高い状況にあり（佐渡市 13.8%、新潟県 9.4%）、生活習慣や食生活の乱れに原因があると考えられるが、実態が把握できていない。                                                                                                                                                                            |   |
| 事業の目的                               |        | 高校生の食事について、生活習慣も含めて実態把握し、関係機関が連携して食育を推進できる体制を構築できる基礎資料を得ることを目的とする。                                                                                                                                                                                                                                    |   |
| 対 象                                 |        | 佐渡島内の高校に通う全生徒                                                                                                                                                                                                                                                                                         |   |
| 連携機関                                |        | 佐渡地区高等学校長会、県立佐渡高等学校、県立佐渡高等学校相川分校、県立羽茂高等学校、県立佐渡中等教育学校、県立佐渡特別支援学校、佐渡市健康推進協議会、佐渡市                                                                                                                                                                                                                        |   |
| 実施時期                                |        | 平成 28 年 10 月～11 月                                                                                                                                                                                                                                                                                     |   |
| 事業内容                                |        | ○調査内容の検討：佐渡市が幼稚園、保育園、小・中学校を対象として実施した生活習慣に関するアンケート調査をベースに、連携機関である高等学校の養護教諭及び家庭科教諭と佐渡市管理栄養士で調査内容の検討を実施した。<br>○調査の実施：佐渡島内の高校に通う全生徒を対象に調査を実施した。<br>○調査結果のまとめと報告：保護者向け及び連携機関向け調査報告書を作成した。保護者向け報告書は全生徒へ配布、連携機関向け報告書は、ネットワーク会議において報告した。<br><br>※資料添付     ：     無                                             |   |
| 評価                                  | プロセス評価 | ○調査票の作成：島内高等学校の養護教諭及び家庭科教諭、佐渡市と協力し作成。<br>○調査の実施：男子 684 名、女子 676 名、合計 1,360 名に実施。                                                                                                                                                                                                                      |   |
|                                     | 結果評価   | ○生活習慣の傾向：起床時間は 6 時台（55.3%）、就寝時間は 23 時台（47.1%）が最も多かった。家族一緒に食事摂取について、朝食は 55%、夕食は 85%であった。運動の実施状況では、運動しないが約半数（50.2%）であった。<br>○食習慣の傾向：朝食をほぼ毎日食べる者は 85%、朝食に主食・主菜・副菜が揃った食事をする者は 27.4%、家族全員が朝食を食べる割合は、67%であった。間食をしない者は 25%、間食をする時間帯は夕食後が一番多く 32.8%であった。ペットボトル飲料（500m l）の摂取状況では、1 日 1 本飲む者の割合が一番多く 44.5%であった。 |   |
| 課 題                                 |        | 今後は、「食の自立」の重要な時期である高校生に対して、生活習慣も含めた食に関する知識を身につけられるよう、佐渡市及び関係機関と連携し食育に関する取組を推進していきたい。                                                                                                                                                                                                                  |   |
| その他                                 |        |                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |   |

|       |                                                                                     |
|-------|-------------------------------------------------------------------------------------|
| 工夫した点 | 佐渡市が実施している幼稚園、保育園、小・中学校を対象として実施した「生活習慣に関するアンケート調査」をベースに調査内容を検討したため、それぞれの世代での比較が行えた。 |
|-------|-------------------------------------------------------------------------------------|

キーワード：

|      |                   |          |                                   |
|------|-------------------|----------|-----------------------------------|
| 実施主体 | 新潟県佐渡地域振興局健康福祉環境部 | 所在地      | 新潟県佐渡市相川二町目浜町 20-1                |
| 電話番号 | 0259-74-3403      | F A X 番号 | 0259-74-3333                      |
| 担当者  | 中川 圭子             | E - mail | nakagawa.keiko@pref.niigata.lg.jp |

|                                     |        |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |   |
|-------------------------------------|--------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---|
| 事業名                                 |        | 「うす味でおいしい病院食」提供のための病院支援                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           |   |
| 行政栄養士の基本指針における位置づけ<br><br>* 該当区分に○印 |        | (3)生活習慣病の発症予防と重症化予防の徹底のための施策の推進                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |   |
|                                     |        | (4)社会生活を自律的に営むために必要な機能の維持及び向上のための施策の推進                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            |   |
|                                     |        | (5)食を通じた社会環境の整備の促進                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                | ○ |
| 指標と目標値                              |        | 病院食（一般食）の食塩給与量 1 日平均 8g 未満を市内全病院（44 施設）で達成                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        |   |
| 現状と課題                               |        | ・新潟市は脳血管疾患及び胃がんによる死亡が全国に比べ約 1 割多い。<br>・市民の食塩摂取量（推定）は、男性 10.1g、女性 9.5g と目標量を上回っている。<br>・病院食の食塩給与量が目標量（1 日 8g 未満）を達成している病院は平成 27 年度 21 施設（47.7%）と半数以下である。<br>・病院の減塩取組調査では 37 施設が「取組んでいる」と回答しているが、事後評価を実施しているのは 19 施設（51.4%）と少ない。                                                                                                                                                                                    |   |
| 事業の目的                               |        | 市民の健康課題である脳血管疾患・胃がんによる死亡を減少させるために、市が重点施策として掲げている「減塩」について、新潟市病院給食研究会と連携して病院給食の栄養管理・栄養指導の質的向上への取組を行うことにより、病院給食を起点とした減塩の普及を図る。                                                                                                                                                                                                                                                                                       |   |
| 対 象                                 |        | 新潟市内病院 44 施設                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |   |
| 連携機関                                |        | 新潟市病院給食研究会（病院管理栄養士・調理師で構成）                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        |   |
| 実施時期                                |        | 平成 27 年 4 月～                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |   |
| 事業内容                                |        | 1． 病院給食研究会と市の共催事業<br>・国立循環器病研究センター（高田医師）と研究会役員の意見交換会 2 回 ・減塩研修会 3 回<br>・「かるしお調理研修会」 講師：国立循環器病研究センター栄養管理室 調理師長<br>2． 減塩モデル病院（3 病院）の取組支援と他病院への普及<br>・モデル病院の取組支援、取組のまとめと普及<br>・国立循環器病研究センター栄養管理室の視察（モデル病院調理師 2 名・行政職員が参加）<br>3． 病院から地域への減塩の普及<br>・食生活改善推進員リーダー向け調理講習会（講師：病院調理師）<br>・病院給食研究会「病院食料理コンクールレシピ集」の作成・普及<br>・「病院食料理コンクール」入賞レシピの市民向け調理講習会（講師：病院栄養士・調理師）<br>※資料添付 ： <input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ 無 |   |
| 評価                                  | プロセス評価 | ・意見交換、研修会等を集中的に行うことにより、減塩の重要性及び市の減塩施策への理解が高まった。<br>・減塩モデル病院の取組については、定期的な状況確認と経過のとりまとめを行い、モチベーションを低下させないように支援を行った。また、他の病院の参考となるよう取組報告書を作成。<br>・病院管理栄養士・調理師の持つ減塩指導のノウハウを活用し、市民啓発を行うことができた。                                                                                                                                                                                                                          |   |
|                                     | 結果評価   | ・病院食（一般食）の食塩給与量が目標量（1 日 8g 未満）を達成している病院は H27 年度 21 施設（47.7%）→H28 年度 25 施設（56.8%）に増加した。<br>・減塩モデル病院の取組成果（H28 年度と H29 年度の比較）<br>（成果の例）①病院食が「おいしい」という評価の増加 A 病院：64.8% → 86.0%<br>②病院が減塩に取り組んでいることの認知度の向上 B 病院：64.4% → 81.5%                                                                                                                                                                                          |   |
| 課 題                                 |        | 調理師が主体となって「うす味でおいしい病院食」提供の取組が広く普及されるよう、普及方法について病院給食研究会との協議が必要。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |   |
| その他                                 |        |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |   |

|       |                                                                                                                                                            |
|-------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 工夫した点 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・「かるしお」の調理方法を学ぶ機会を得られるよう国立循環器病研究センター栄養管理室の協力を得た。</li> <li>・他病院への普及に活用するため、減塩モデル病院の取組内容をまとめ全病院に配布することとした。</li> </ul> |
|-------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|

キーワード：うす味でおいしい病院食

|      |               |          |                               |
|------|---------------|----------|-------------------------------|
| 実施主体 | 新潟市保健所食の安全推進課 | 所在地      | 新潟市中央区紫竹山 3-3-11              |
| 電話番号 | 025-212-8223  | F A X 番号 | 025-246-5673                  |
| 担当者  | 廣川 孝子         | E - mail | shokuanzen@city.niigata.lg.jp |

|                                         |        |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             |   |
|-----------------------------------------|--------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---|
| 事業名                                     |        | 保健・医療・福祉ネットワーク事業（けんこう相談会）                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |   |
| 行政栄養士の基本指針<br>における位置づけ<br><br>* 該当区分に○印 |        | (3)生活習慣病の発症予防と重症化予防の徹底のための施策の推進                                                                                                                                                                                                                                                                                             | ○ |
|                                         |        | (4)社会生活を自律的に営むために必要な機能の維持及び向上のための施策の推進                                                                                                                                                                                                                                                                                      |   |
|                                         |        | (5)食を通じた社会環境の整備の促進                                                                                                                                                                                                                                                                                                          |   |
| 指標と目標値                                  |        | 富山市健康プラン 2 1 （第 2 次） 生活習慣病の発症と重症化予防                                                                                                                                                                                                                                                                                         |   |
| 現状と課題                                   |        | ・ プラン 21(第 2 次計画期間 H25～H34)策定時において、壮年期(40～64 歳)の死因別死亡割合は、脳血管疾患が H17 年より増加しており、また H17 年を 100 とした標準化死亡比でも、男女とも国より高くなっている。<br>・ 平成 23 年富山市介護保険課の調査では、要介護認定者の 28.5%が脳梗塞などの脳関連の疾患が原因であり、介護が必要となる原因の 1 位となっている。<br>・ 策定時の 40～74 歳の脳血管疾患の年齢調整死亡率(SMR)と現状値の比較<br>平成 22 年男性 92.1%女性 87.8%→平成 27 年男性 72.5%女性 62.7%と減少し、引き続き取り組む必要がある。 |   |
| 事業の目的                                   |        | 循環器疾患、糖尿病などの様々な生活習慣病予防に関する正しい知識の普及啓発や具体的な生活習慣改善への支援を目的として、住民にとって地域の身近な公民館を活用し、疾病の一次予防を行う                                                                                                                                                                                                                                    |   |
| 対 象                                     |        | 市民                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          |   |
| 連携機関                                    |        | なし                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          |   |
| 実施時期                                    |        | 5 月～ 1 2 月 4 回× 2 会場                                                                                                                                                                                                                                                                                                        |   |
| 事業内容                                    |        | 健康チェック（血圧測定・身長・体重・体脂肪測定・尿検査）<br>家庭の味噌汁塩分濃度測定<br>保健師・栄養士による個別相談<br><br>※資料添付： 有 ・ 無                                                                                                                                                                                                                                          |   |
| 評価                                      | プロセス評価 | 昨年度に 1 会場で実施したところ、予約数が多かったため、今年度は 2 会場に増やし実施した。<br>4 0 代から 8 0 代の幅広い年齢層の予約があり、個別相談を希望された参加者には好評を得ている。<br>身近な公民館での開催は、健康に関心を持つきっかけとなり、高齢者の外出機会にもなった。                                                                                                                                                                         |   |
|                                         | 結果評価   | 住民が継続して参加することにより、生活習慣病予防への理解が深まり、体重減少や、また尿中塩分濃度が高い人には、繰り返し減塩指導することで、改善につなげることができた。                                                                                                                                                                                                                                          |   |
| 課 題                                     |        | 個別相談なので、1 人当たりに要する時間が長い。スタッフの稼働量や受け入れ枠も限られる。                                                                                                                                                                                                                                                                                |   |
| その他                                     |        |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             |   |

|       |                                                             |
|-------|-------------------------------------------------------------|
| 工夫した点 | ポスターを作成し、がん検診会場、地区公民館に掲示し、各家庭にチラシを回覧した。また、地区健康教育の場でも PR した。 |
|-------|-------------------------------------------------------------|

キーワード：

|      |                 |          |                                   |
|------|-----------------|----------|-----------------------------------|
| 実施主体 | 富山県富山市西保健福祉センター | 所在地      | 富山県富山市婦中町羽根 1105-7                |
| 電話番号 | 076-469-0770    | F A X 番号 | 076-469-0772                      |
| 担当者  | 安川 也子           | E - mail | yasukawa.nariko@city.toyama.lg.jp |

|                                 |        |                                                                                                                                                                                     |   |
|---------------------------------|--------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---|
| 事業名                             |        | 職域栄養士等研修会及び管内栄養士協議会支援                                                                                                                                                               |   |
| 行政栄養士の基本指針における位置づけ<br>＊ 該当区分に○印 |        | (3)生活習慣病の発症予防と重症化予防の徹底のための施策の推進                                                                                                                                                     |   |
|                                 |        | (4)社会生活を自律的に営むために必要な機能の維持及び向上のための施策の推進                                                                                                                                              | ○ |
|                                 |        | (5)食を通じた社会環境の整備の促進                                                                                                                                                                  |   |
| 指標と目標値                          |        | 食形態の一覧表を作成（H30. 3）し、活用できる体制整備をする。                                                                                                                                                   |   |
| 現状と課題                           |        | 地域包括ケアシステムでは、管理栄養士の在宅等に向けた活動が期待されている。また、食形態は高齢者施設により、基準及び名称はそれぞれ違うため、転院や施設入所、在宅療養において、患者に適した食事提供までに時間が要することが見受けられる。                                                                 |   |
| 事業の目的                           |        | ① 厚生センター主催：管内の医療・福祉施設（デイサービスやグループホーム等）に勤務する管理栄養士・栄養士は、地域包括ケアにおける役割を理解し、今後の栄養管理につなげる。<br>② 協議会支援：厚生センターは、医療・福祉施設に勤務する栄養士が自ら提供している食事が適切な形態であるか検討し、他施設の食形態について、学習会及び情報共有する活動を支援する。     |   |
| 対 象                             |        | 管内の病院・介護保険施設・老人福祉施設等に勤務する管理栄養士・栄養士                                                                                                                                                  |   |
| 連携機関                            |        | 管内栄養士協議会                                                                                                                                                                            |   |
| 実施時期                            |        | 平成２８年４月～平成３０年３月                                                                                                                                                                     |   |
| 事業内容                            |        | ① 研修会の開催 １回/年 講義及びグループワーク 試食<br>＜対象者＞管内の医療・福祉施設に勤務する管理栄養士・栄養士<br>H28「地域包括ケアにおける管理栄養士が果たす役割」 H29「嚥下調整食の実践」<br>② 管内栄養士協議会に所属する病院・老人福祉施設に勤務する栄養士が食形態一覧表を作成するための勉強会に参加<br>※資料添付 ： 有 ・ 無 |   |
| 評価                              | プロセス評価 | １事業の企画・実施<br>① 参加者アンケートの結果は９割以上おおむねよかったという意見だった。また、グループワークを取り入れ、お互い課題を共有することができた。<br>② 協議会活動では、調理実習や試食会を行い、実践的な勉強会が行われた。                                                            |   |
|                                 | 結果評価   | ① 厚生センター事業では、施設間の連携を見すえた研修会を開催することにより、各施設の栄養士と顔をみえる関係づくりがすすみ、情報をやりとりできるようになってきている。（中核病院と老人福祉施設の間で栄養情報提供がすすんでいる）また、食形態一覧表を作成した。<br>② 協議会活動では、摂食嚥下分類 2013 の共通認識が深まった                  |   |
| 課 題                             |        | ① 食形態一覧表を活用し、多職種や住民が活用できるようなシステムづくりに努める。<br>② 協議会活動では、役員会・部会研修会を開催するなど、今後も継続的な勉強会につなげ、地域の栄養改善活動に寄与できるようにする。                                                                         |   |
| その他                             |        |                                                                                                                                                                                     |   |
| 工夫した点                           |        | 協議会活動の医療・福祉施設の活動に積極的に参加し、管内の福祉施設に勤務する管理栄養士を講師にするなど、情報共有及び連携を図った。                                                                                                                    |   |

キーワード：食形態 管内栄養士協議会 連携

|      |              |        |                               |
|------|--------------|--------|-------------------------------|
| 実施主体 | 富山県砺波厚生センター  | 所在地    | 富山県南砺市高儀 147                  |
| 電話番号 | 0763-22-3511 | FAX番号  | 0763-22-7235                  |
| 担当者  | 打尾 佳英子       | E-mail | kaeko.uchio@pref.toyama.lg.jp |

| 業名                                  |        | 栄養管理連絡票の活用とネットワークの構築事業                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |   |
|-------------------------------------|--------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---|
| 行政栄養士の基本指針<br>における位置づけ<br>* 該当区分に○印 |        | (3)生活習慣病の発症予防と重症化予防の徹底のための施策の推進                                                                                                                                                                                                                                                                                                              |   |
|                                     |        | (4)社会生活を自律的に営むために必要な機能の維持及び向上のための施策の推進                                                                                                                                                                                                                                                                                                       | ○ |
|                                     |        | (5)食を通じた社会環境の整備の促進                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           |   |
| 指標と目標値                              |        | ・ 転院、転所時に、管理栄養士が栄養管理情報交換ツールとして栄養管理連絡票を使用することで、施設間および在宅に栄養管理情報をスムーズに切れ目なく提供できる。<br>・ 咀嚼・嚥下困難および低栄養の対象者に関わりをもった管理栄養士が、必要な栄養管理情報を積極的にかつスムーズに提供し合える地域包括ケアシステムづくりを目指す。                                                                                                                                                                            |   |
| 現状と課題                               |        | ・ 医療機関や介護保険施設等へ転院、転所する際や在宅へ戻る際に、低栄養等栄養管理の必要な対象者について、十分な栄養管理情報が提供されていない現状にある。(丹南管内で「栄養サポートチーム加算 200 点」を取得している医療機関がなく、栄養管理高リスクの患者情報を書面で提供する手段がない)<br>・ 咀嚼・嚥下障害を有し栄養管理の必要性が高いと考えられる対象者がいると回答した管内の医療機関や介護保険施設、居宅サービス事業所等は 63%、栄養管理連絡票による情報提供は 22.7%（H28 年 5 月）。                                                                                  |   |
| 事業の目的                               |        | 医療機関、介護保険施設、在宅等での栄養管理情報を切れ目なくスムーズに連携し合うための情報交換ツールとして作成した「栄養管理連絡票」を活用し、管内の地域包括ケアシステムの構築を目指す。                                                                                                                                                                                                                                                  |   |
| 対 象                                 |        | 医療機関および介護保険施設等管理栄養士・栄養士、介護保険に関わる多職種                                                                                                                                                                                                                                                                                                          |   |
| 連携機関                                |        | 管内医療機関、介護保険施設および居宅事業所等管理栄養士・栄養士、市町高齢者対策主管課および地域包括支援センター                                                                                                                                                                                                                                                                                      |   |
| 実施時期                                |        | 平成 28～29 年度                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  |   |
| 事業内容                                |        | 〈平成 28 年度〉①管内の管理栄養士・栄養士対象研修会において、管内の栄養管理状況報告と「福井県退院支援ルール」の周知と併せ、栄養管理連絡票の活用について意見交換を行った。②栄養指導員（健康増進法第 19 条）が行う集団および個別の給食施設指導により、施設間の栄養管理情報の連携について指導・助言を行った。<br>〈平成 29 年度〉管内 5 市町の高齢者対策主管課（地域包括支援センター）と保健所が連携し、市町ごとに介護支援専門員と栄養士等合同で研修や事例検討を行った。その中で、在宅栄養管理の重要性の認識を高め、在宅におけるケアプランに栄養管理情報が容易に活かせるよう、管理栄養士・栄養士の活用を推進した。<br>※資料添付　：　有 ・ <b>無</b>   |   |
| 評価                                  | プロセス評価 | ①　管内管理栄養士・栄養士研修会（医療機関、介護保険関係施設等）　　　参加施設 35 件<br>②　医療機関、介護保険関係施設、事業所等給食施設指導 40 件（特定給食施設 29 件、その他施設 11 件）                                                                                                                                                                                                                                      |   |
|                                     | 結果評価   | ・ 丹南管内における栄養管理情報の提供状況<br>①医療機関退院時、介護支援専門員へ栄養管理連絡票による情報提供率 16.7%（H28 年度）⇒25.5%（H29 年度）<br>②介護支援専門員から医療機関への栄養管理連絡票の提供率 9.9%（H28 年度）⇒9.2%（H29 年度）<br>③介護保険施設の栄養管理連絡票の受取率 11.8%(H29 年度)<br>・ 管理栄養士のいる医療機関等を中心に、施設間、在宅に栄養管理連絡票による情報提供がなされ、効果的に栄養管理が継続できる環境が整備できた。<br>・ 医療機関や介護保険施設等施設内の退院調整部門と栄養部との連携が深まり、栄養士のカンファレンスへの参加依頼が増加する等栄養管理情報の必要性が高まった。 |   |
| 課 題                                 |        | ・ 管内医療機関、介護保険施設における栄養管理情報について退院時カンファレンス等を通し、在宅での栄養管理について、組織ごとの体制整備を推進していく必要がある。<br>・ 管理栄養士等専門職のいない事業所等への栄養管理の情報共有には課題はあるが、事業所内での栄養管理連絡体制の構築に向けた支援を更に充実させていく。<br>・ 在宅での栄養管理実践に向け、退院（退所）時の栄養指導の推進および医療機関、介護保険関係施設における栄養管理を充実させる。<br>・ 在宅における食や栄養についての相談は、県栄養士会の在宅栄養管理・食事支援センターおよび医療機関等管理栄養士を中心に在宅栄養相談、訪問栄養食事指導ができる体制が必要である。                    |   |
| その他                                 |        | 福井県「退院支援ルール」丹南圏域版、および栄養管理連絡票様式は、福井県丹南健康福祉センターHP からダウンロード可能。 <a href="http://www.pref.fukui.lg.jp/doc/tannan-hwc/tiikihoken/taiinn.html">http://www.pref.fukui.lg.jp/doc/tannan-hwc/tiikihoken/taiinn.html</a>                                                                                                                                |   |
| 工夫した点                               |        | ・ 保健所栄養士が管内栄養士研修会関連の事業予算により、人材育成の立場から、地域における栄養課題を抽出し PDCA サイクルに基づき事業を推進できた。<br>・ 管内の管理栄養士・栄養士研修会において、地域の高齢者の栄養管理の課題について整理し、低栄養、食形態等の栄養管理の共通指標が必要なことや、転院・転所、在宅療養移行時に対する問題点を整理した。                                                                                                                                                              |   |

キーワード：地域包括ケアシステム、栄養管理連絡票、咀嚼・嚥下障害、低栄養、多職種連携

|      |                     |          |                             |
|------|---------------------|----------|-----------------------------|
| 実施主体 | 福井県丹南健康福祉センター       | 所在地      | 福井県鯖江市水落町 1 丁目 2-2 5        |
| 電話番号 | 0 7 7 8-5 1-0 0 3 4 | F A X 番号 | 0 7 7 8-5 1-7 8 0 4         |
| 担当者  | 田中幸知恵、新田和美          | e - mail | t-fukusi-c@pref.fukui.lg.jp |

|                                     |        |                                                                                                                                                                                                                                                           |   |
|-------------------------------------|--------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---|
| 事業名                                 |        | 越前市健康 2 1 推進事業～減塩を中心とした無関心層への働きかけ～                                                                                                                                                                                                                        |   |
| 行政栄養士の基本指針における位置づけ<br><br>* 該当区分に○印 |        | (3)生活習慣病の発症予防と重症化予防の徹底のための施策の推進                                                                                                                                                                                                                           | ○ |
|                                     |        | (4)社会生活を自律的に営むために必要な機能の維持及び向上のための施策の推進                                                                                                                                                                                                                    |   |
|                                     |        | (5)食を通じた社会環境の整備の促進                                                                                                                                                                                                                                        |   |
| 指標と目標値                              |        | 越前市健康 2 1 計画（第 2 次）【平成 2 5 年度から平成 2 9 年度】より<br>食塩摂取量減（－ 3 g）、野菜摂取量増（＋ 1 0 0 g）                                                                                                                                                                            |   |
| 現状と課題                               |        | 越前市健康 2 1 計画（第 2 次）では、平成 2 3 年度県民健康栄養調査の結果から食塩摂取量（2 0 歳以上 1 0 . 9 g）、野菜摂取量（2 0 歳以上 3 2 4 . 2 g）について、約 3 g の減塩、約 1 0 0 g の野菜増量が目標となっている。特に食塩は 1 0 代後半から摂取量が多い現状である。（1 5 ～ 1 9 歳男性 1 1 . 1 g、女性 9 . 6 g）                                                    |   |
| 事業の目的                               |        | 乳幼児期から高齢期までそれぞれのライフステージにおいて健康づくりに取り組むとともに、新たに生活習慣病予防し、子どもの頃から健康な生活習慣づくりに取り組む。                                                                                                                                                                             |   |
| 対 象                                 |        | ① 2 歳 6 か月児歯科健診へ参加の保護者対象<br>② 中学 2 年生血液検査において、要精検、要経過観察者の生徒・保護者対象（市内 2 中学校）                                                                                                                                                                               |   |
| 連携機関                                |        | 福井県丹南健康福祉センター、市内中学校 2 校                                                                                                                                                                                                                                   |   |
| 実施時期                                |        | ①平成 2 7 年 1 月より継続 ②平成 2 9 年 6 月より                                                                                                                                                                                                                         |   |
| 事業内容                                |        | 若い世代の無関心層へ減塩等を啓発する取り組みとして、<br>① 2 歳 6 か月 歯科健診時に味噌汁等の塩分を測定、塩分含浸濾紙で味覚閾値判定体験も同時実施。<br><br>② 中学校 2 年生の血液検査要精検、要経過観察の生徒とその保護者に生活習慣アンケート、塩分計を貸出し家庭での塩分測定を実施（市内中学校 2 校をモデル校として実施）。希望する保護者には、保護者会時に健康教育を実施。半年後にアンケート調査、塩分測定を再度行い事業の評価とする予定<br>※資料添付： 有 ・ <u>無</u> |   |
| 評価                                  | プロセス評価 | ①味噌汁等持参率・・・8 5 . 4 %、測定結果・・・薄味（0 . 6 %以下）3 1 . 3 %、普通（0 . 7 ～0 . 9 %）4 3 . 5 %、濃い（1 . 0 %以上）2 5 . 2 %<br>②アンケート・・・対象者 9 0 名に実施（2 校分）                                                                                                                      |   |
|                                     | 結果評価   | ① 1 年後の 3 歳 7 か月児健診にてアンケート調査を実施。2 歳 6 か月児健診で塩分測定結果が薄味でなかった人のうち、「その後薄味に気をつけている」と回答のあった人 6 5 . 0 %<br>② 半年後の平成 3 0 年 1 月にアンケート調査、塩分測定を再度行い事業の評価とする予定                                                                                                        |   |
| 課 題                                 |        | ②について市内 2 中学校をモデル校として実施したが、今後も全中学校で継続的に事業を実施するにはマンパワー不足が課題としてあげられる。                                                                                                                                                                                       |   |
| その他                                 |        |                                                                                                                                                                                                                                                           |   |

|       |                                                                                          |
|-------|------------------------------------------------------------------------------------------|
| 工夫した点 | ① 母子事業でもその保護者を対象に生活習慣病予防の普及啓発を図った。② 中学校の養護教諭と連携し協議を重ね事業を組み立てた。アンケートは県丹南健康福祉センターと協議し作成した。 |
|-------|------------------------------------------------------------------------------------------|

キーワード：

|      |              |          |                           |
|------|--------------|----------|---------------------------|
| 実施主体 | 越前市 健康増進課    | 所在地      | 福井県越前市府中一丁目 1 1 - 2       |
| 電話番号 | 0778-24-2221 | F A X 番号 | 0778-24-5885              |
| 担当者  | 佐々木 智子       | e - mail | kenkou@city.echizen.lg.jp |

|                    |                                        |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           |   |
|--------------------|----------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---|
| 事業名                |                                        | はつらつ栄養教室                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  |   |
| 行政栄養士の基本指針における位置づけ | (3)生活習慣病の発症予防と重症化予防の徹底のための施策の推進        |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           |   |
|                    | (4)社会生活を自律的に営むために必要な機能の維持及び向上のための施策の推進 |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           | ○ |
|                    | * 該当区分に○印                              |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           |   |
| 指標と目標値             |                                        | <p>&lt;地域に暮らす 65 歳以上の方&gt;①自分の食生活の改善点について知り、理解できる。②教室で学んだことを生活に取り入れることができる。③介護予防についての意識が高まる。</p> <p>&lt;食生活改善推進員&gt;①身近に住む高齢者と接することで高齢者の健康課題を把握し、正しい情報を普及啓発することができる②参加者へ積極的に調理実習をすすめ、高齢者の手技を観察し調理アドバイスをを行い家庭での調理意欲を持ってもらえるよう取組むことができる③人と人のつながりを大切にし、地域での普及活動にやりがいを見出すことができる。</p>                                                                                                                          |   |
| 現状と課題              |                                        | <p>毎年地域のニーズに合わせたテーマを決め、今年度は昨年度アンケートより骨や筋肉を作る食事について知りたいという回答が多く、介護保険新規申請理由として、もの忘れの次に運動器の衰えがあがっていた。そのため、転倒しない体づくり、転倒しても骨折しない体づくりができるようロコモティブシンドローム予防をテーマとした。</p> <p>近年参加者集めの大変さや食生活改善推進員会の会員減少などの課題も出てきている地区もあり、サロンでの参加声掛けもしくは合同開催をすることで負担を減らしている。参加者からはこういった教室を増やしてほしい、毎年行ってほしいなど好評であり、地区でも定着してきている。しかし、食生活改善推進員が主体となって行う事業のため、各地区ごとの食生活改善推進員の人数や構成によって負担の度合いに差があり、一体の方法では難しい教室となっており、活動全体の底上げも必要である。</p> |   |
| 事業の目的              |                                        | <p>&lt;地域に暮らす 65 歳以上の方&gt;栄養改善の必要性がわかり、食生活から介護予防を考える機会とする。</p> <p>&lt;食生活改善推進員&gt;地域の健康課題を理解し、ニーズに合った活動に繋げることができる。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                    |   |
| 対 象                |                                        | 昭和町に住む 6 5 歳以上の方                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          |   |
| 連携機関               |                                        | いきいき健康課介護保険係・地域包括支援センター・社会福祉協議会                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           |   |
| 実施時期               |                                        | 食生活改善推進員会への伝達講習会 7 月、地区公会堂での開催 9 月～1 1 月                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  |   |
| 事業内容               |                                        | <ul style="list-style-type: none"> <li>・食生活改善推進員へ教室の内容を伝達する講習会の開催、その後、食生活改善推進員と管理栄養士が 1 1 地区公会堂にて知識の伝達と調理実習（うち 1 地区は試食形式）を実施</li> <li>・周知方法はちらしの組回覧、広報掲載、声掛け、2 地区は地区サロンにて開催</li> <li>・公会堂により設備の差があるが、カセットコンロ等の持込みによりお茶を用意する様な水道 1 か所あれば開催が可能</li> </ul> <p>※資料添付     ：     無</p>                                                                                                                          |   |
| 評価                 | プロセス評価                                 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・参加者全体の 84%が女性であった。また新規参加者は全体の 27%であり、地区によっては参加者全員がこれまでに参加経験のある方だった。男性参加者や新規参加者を増やせるよう、サロンや地区の催しで声掛けを継続していく。</li> <li>・昭和町全 12 地区中、昨年度まで 10 地区開催だったが、今年度 11 地区開催することができた。</li> </ul>                                                                                                                                                                               |   |
|                    | 結果評価                                   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・参加者の帰宅後の実施意欲は教室後アンケートで 81%と高かった。いいえ、未回答の方は普段家庭で料理をしない方が多かった。自宅で料理を担っている方へ伝達をしてもらえるよう伝えていきたい。</li> <li>・調理内容や品数等無理のない範囲にすることで、会員数が少ない地区でも開催することができた。</li> <li>・参加者からの「健康状態を維持をし、毎年楽しみにしているこの教室にまた来たい」といった感想を各地区からもらい、食生活改善推進員からは大変な事業であるが続けていきたい等感想がでた。</li> </ul>                                                                                                 |   |
| 課 題                |                                        | <ul style="list-style-type: none"> <li>・食生活改善推進員会が休会中の地区は実施ができなため、資料の配布のみになってしまっている。</li> <li>・地区から開催回数を増やしてほしいと要望があるが、会への負担が大きくなってしまう。</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                                        |   |
| その他                |                                        |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           |   |

|       |                                                                                                |
|-------|------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 工夫した点 | <p>対象が高齢者であるため、徒歩や自転車で来ることができる地区公会堂で開催している。</p> <p>参加型にすることで自宅でも実践できるようにしたり、介護予防の意識向上を狙った。</p> |
|-------|------------------------------------------------------------------------------------------------|

キーワード：

|      |              |          |                                    |
|------|--------------|----------|------------------------------------|
| 実施主体 | 昭和町いきいき健康課   | 所在地      | 山梨県中巨摩郡昭和町押越 616                   |
| 電話番号 | 055-275-8785 | F A X 番号 | 055-275-4817                       |
| 担当者  |              | E - mail | iked-sh@town.yamanashi-showa.lg.jp |

|                                |                                        |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            |   |
|--------------------------------|----------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---|
| 事業名                            |                                        | 「ベジ食べ！北信州」                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 |   |
| 行政栄養士の基本指針における位置づけ<br>＊該当区分に○印 | (3)生活習慣病の発症予防と重症化予防の徹底のための施策の推進        |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            | ○ |
|                                | (4)社会生活を自律的に営むために必要な機能の維持及び向上のための施策の推進 |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            |   |
|                                | (5)食を通じた社会環境の整備の促進                     |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            | ○ |
| 指標と目標値                         |                                        | 地元でとれる野菜・果物の摂取量増加と減塩の定着、健康と農業の連携強化<br>(長期) 生活習慣病の予防、健康寿命の延伸、地産地消の推進                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        |   |
| 現状と課題                          |                                        | 長野県は全国と比べて脳血管疾患死亡率が高く、その原因の1つである塩分摂取量については県民の約9割がとりすぎている。特に男性では県内地域差との関連は見られないが女性に比べて就業率が多く、2次、3次産業従事者が多いため家庭以外での食事をする機会が多いと考えられる。県では健康に配慮した食環境整備事業として健康に配慮したメニュー「ヘルシーメニュー」を提供する店舗を「信州食育発信3つの星レストラン事業」として登録している。管内登録は10店舗だが「ヘルシーメニュー」を注文する顧客の増加がみられず、住民の健康増進、地産地消にもつながっていない。                                                                                                                                                                                                                               |   |
| 事業の目的                          |                                        | 当所では、農作物の収穫期である9月の1週間を「地元でとれる野菜・果物の摂取量増加と減塩」「地産地消」に取り組むウィークとして「北信州野菜を食べようウィーク」を実施してきたが、更に「3つの星レストラン」や他部局と連携し「ベジ食べ！北信州」として地域の健康づくりと地産地消の推進を図った。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             |   |
| 対 象                            |                                        | 北信地域の住民                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |   |
| 連携機関                           |                                        | 北信地域振興局企画振興課・農政課・商工観光課、北信農業改良普及センター、管内市町村、保育所、学校、給食施設、管内3つの星レストラン登録店、食生活改善推進員等食育ボランティア                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |   |
| 実施時期                           |                                        | 平成29年9月1日～30日（こだわり1品料理の提供は9月8日～18日）                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        |   |
| 事業内容                           |                                        | <ul style="list-style-type: none"> <li>・3つの星レストランにおける「ヘルシーメニュー」喫食者へのスタンプラリーの実施、達成者への景品贈呈。⇒管内10店舗中3店舗のスタンプを集めると、抽選で50人に地元野菜（1500円相当）贈呈。また、期間限定「こだわり1品料理」の考案、無料提供。</li> <li>・農政課、普及センターはスタンプラリー景品選定、「こだわり1品料理」における旬の野菜について情報提供、地産地消の「のぼり旗」等の貸し出し。</li> <li>・商工観光課は道の駅、商工会等への事業周知、スタンプラリーの景品選定。</li> <li>・保育所、学校、給食施設等は、地元野菜を使った給食の提供、野菜の摂取量増加、減塩の工夫について喫食者や家庭への普及啓発やスタンプラリーチラシ配布等による家庭への周知。</li> <li>・食生活改善推進員等食育ボランティアは、自主活動を通し「野菜摂取量増加や減塩」の普及啓発を図る。</li> </ul> ※資料添付：有・ <input checked="" type="radio"/> 無 |   |
| 評価                             | プロセス評価                                 | ・3つの星レストラン「ヘルシーメニュー」喫食者数 通常530食/月⇒9月（ベジ食べ中）777食/月（約1.5倍に増加）<br>・スタンプラリー達成者 112名<br>・野菜を食べようウィーク実施施設 昨年度29施設 ⇒ 今年度47施設（約1.6倍に増加）                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            |   |
|                                | 結果評価                                   | スタンプラリー達成者のうち今後も「ヘルシーメニュー」を注文したい人の割合92%                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |   |
| 課 題                            |                                        | 「ヘルシーメニュー」リピート率を上げるためには、管内「3つの星レストラン」の登録数増加と共に、同店舗内で複数の対象メニューが必要。また、住民への継続的な周知、普及が必要。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |   |
| その他                            |                                        | 本事業は本県の健康づくり県民運動「信州ACEプロジェクト」の「(Eat)健康に食べる」の一環として実施。（ACEは脳卒中予防に効果のあるA(Action:体を動かす)、C(Check:健診を受ける)、E(Eat:健康に食べる)を表し、世界で1番(ACE)の健康長寿を目指す思いを込めたもの）                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          |   |

|       |                                                                                                            |
|-------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 工夫した点 | <p>働き盛りの男性に多く食べてもらえるようチラシは商工会議所や市役所、病院等を中心に配布した。</p> <p>「こだわり1品メニュー」は店舗分まとめて管内研修会等で周知し、野菜摂取のきっかけ作りとした。</p> |
|-------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------|

## キーワード：食環境、野菜摂取、減塩、連携

|      |                   |          |                                |
|------|-------------------|----------|--------------------------------|
| 実施主体 | 北信保健福祉事務所、北信地域振興局 | 所在地      | 長野県飯山市静間 1340-1                |
| 電話番号 | 0269-62-6311      | F A X 番号 | 0269-62-6036                   |
| 担当者  | 小林晶子 西澤伸幸         | E - mail | hokuho-kenko@pref.nagano.lg.jp |

|                                            |               |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |   |
|--------------------------------------------|---------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---|
| <b>事業名</b>                                 |               | <b>介護予防・生活支援サービス事業「栄養講座」</b>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |   |
| <b>行政栄養士の基本指針における位置づけ</b><br><br>* 該当区分に○印 |               | (3)生活習慣病の発症予防と重症化予防の徹底のための施策の推進                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |   |
|                                            |               | (4)社会生活を自律的に営むために必要な機能の維持及び向上のための施策の推進                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             | ○ |
|                                            |               | (5)食を通じた社会環境の整備の促進                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 |   |
| <b>指標と目標値</b>                              |               | ① 基本チェックリストの低栄養項目の該当者の減少<br>② 健診受診者の65歳以上の方のうちBMI20以下に該当する者の減少                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |   |
| <b>現状と課題</b>                               |               | 町の健康診査結果より、65歳以上の女性のBMI20以下の割合が平成24年度：16.1%から平成28年度20.6%と増加傾向にある。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  |   |
| <b>事業の目的</b>                               |               | 口腔機能の低下や体重減少がみられる高齢者へ早期に介入し、介護予防の実現、健康長寿の延伸に努める。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |   |
| <b>対 象</b>                                 |               | 基本チェックリストにより低栄養の項目に該当した高齢者                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         |   |
| <b>連携機関</b>                                |               | 長野県歯科医師会、同課内 介護保険係                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 |   |
| <b>実施時期</b>                                |               | 29年 8月10日、9月6日                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |   |
| <b>事業内容</b>                                |               | (8月10日)「最後までお口から食べるために」歯科衛生士より …参加者9名<br>1) 口腔機能についての講話<br>口の機能が低下すると、口のしまりが悪くなり、いつまでも嚙んでいてむせる、誤嚥性肺炎により発熱する心配があるため、口腔ケアに注意をし、抵抗力を付けたり、飲み込む機能の維持に注意をする。<br>2) 首・肩・口・頬・舌の体操<br>誤嚥を予防し、血行を良好にし、スムーズに摂食を行うため、食前に口の運動が必要であり、しゃべる・歌う・笑う、咳払いについても、各部位の運動が大切になる。<br><br>(9月6日)「低栄養や減塩の推進に努める」管理栄養士より …参加者8名(男性1名、女性7名)<br>1) 高齢期における体の変化や口腔機能に応じた食事についての講話<br>加齢に伴う体の変化や口腔機能を確認し、その機能を低下させないための食事をどのように考えるかフードモデル等を活用して提示した。<br>2) 調理実習<br>主菜・副菜・汁もの3品を作り、主食はごはんとし、減塩を意識したバランス食の1食分を試食した。<br>※資料添付 : 有 ・ 無 |   |
| <b>評価</b>                                  | <b>プロセス評価</b> | ・ 参加者の感想から、教室参加前は首から上の部分の不調があり、口の中も荒れたり、食欲・体重減少の悪循環があったことに気づかれた方がいて口腔機能を意識することの必要性を感じてもらえた。<br>・ 普段の食事がいかに大事なのか、栄養バランスや減塩の必要性について再確認することができたという感想も多く聞かれた。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          |   |
|                                            | <b>結果評価</b>   | (参加者の翌年の健診結果をもって評価する、またはこれから訪問等を行い食事の変化を確認する予定。)                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |   |
| <b>課 題</b>                                 |               | 対象者は400人程であるが、参加者が少ないこと、講座の周知について工夫が必要。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            |   |
| <b>その他</b>                                 |               |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |   |

|              |                                                                         |
|--------------|-------------------------------------------------------------------------|
| <b>工夫した点</b> | フードモデルや写真を使ってイメージを膨らますよう心がけた。調理実習を通してどのような順序で調理をするか考えてもらうようにした。(脳の活性化へ) |
|--------------|-------------------------------------------------------------------------|

キーワード：

|             |              |               |                                    |
|-------------|--------------|---------------|------------------------------------|
| <b>実施主体</b> | 山ノ内町         | <b>所在地</b>    | 下高井郡山ノ内町平穏3352-1                   |
| <b>電話番号</b> | 0269-33-3116 | <b>FAX番号</b>  | 0269-33-1104                       |
| <b>担当者</b>  | 徳竹陽子         | <b>E-mail</b> | tokutake-496@town.yamanouchi.lg.jp |

|                                     |                                        |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |   |
|-------------------------------------|----------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---|
| 事業名                                 |                                        | 企業・職場給食等と協働した働く世代へのアプローチ                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |   |
| 行政栄養士の基本指針における位置づけ<br><br>* 該当区分に○印 | (3)生活習慣病の発症予防と重症化予防の徹底のための施策の推進        |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               | ○ |
|                                     | (4)社会生活を自律的に営むために必要な機能の維持及び向上のための施策の推進 |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |   |
|                                     | (5)食を通じた社会環境の整備の促進                     |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               | ○ |
| 指標と目標値                              |                                        | ヘルスプランぎふ 21（岐阜県健康増進計画）<br>野菜摂取量の増加（成人 1 人 1 日あたりの平均摂取量）350g 以上                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                |   |
| 現状と課題                               |                                        | 岐阜県は、メタボリックシンドローム該当者の割合が、H27 年度が 12.9%で全国順位は最も低い状況となっている。一方、心疾患による年齢調整死亡率が国より高く、野菜摂取量は低位である。<br>岐阜県の成人 1 人 1 日あたりの野菜摂取量は、H28 年国民健康・栄養調査結果（都道府県順位）によると男性 273g/日（38 位）、女性 257g/日（33 位）で、目標値に約 100 g 少ない。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        |   |
| 事業の目的                               |                                        | 職員の健康管理担当者と連携し、職員食堂を活用して昼食に野菜たっぷりメニューを提供し、啓発の対象となりにくい働く世代に対して、適切な食品やメニューを選択することが出来るよう啓発するとともに、生活習慣病の発症予防と重症化予防の推進を図る。また、圏域事業所給食施設へ取組事例を情報提供及び協働事業の実施に繋げる。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |   |
| 対 象                                 |                                        | 総合庁舎職員、岐阜県民（食堂は一般の方も利用可能）                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |   |
| 連携機関                                |                                        | 県事務所（健康管理担当、互助会）、食堂（栄養成分表示の店）、圏域事業所給食施設（健康管理担当、給食委託会社）、圏域市町村、県保健所等                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            |   |
| 実施時期                                |                                        | 平成 29 年度                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |   |
| 事業内容                                |                                        | <p>企業・職場給食等の食堂を食育・健康づくりの情報発信の拠点と位置付けて、中濃圏域の健康課題である脂質異常症、高血圧等の生活習慣病予防の啓発を行う。青年期層への取組を重点として健康管理部門と協働で食堂と連携し啓発を実施した。</p> <p>(1)「はじめよう！ベジ活（関保健所版）」（県内庁舎 3 カ所でも同様の事業を実施）<br/>9 月の健康増進月間・食生活改善普及運動期間中の 1 週間に職員食堂を活用して 1 食で野菜 120g 以上のメニューを提供、味噌汁を塩分計で測定して調理従事者へ適塩について再教育、展示や野菜摂取アンケートを併せて実施した。一般県民特に地域高齢者への利用も H P 等を活用して呼びかけた。</p> <p>(2)総合庁舎食堂における食育普及活動（県内庁舎 2 カ所で実施）<br/>6 月の食育月間に職員食堂を活用して、脂質異常症対策、肥満対策について展示、喫食者への食生活支援を実施した。</p> <p>(3)企業・職場給食への普及啓発<br/>企業等と協働した食育・健康づくり普及活動の必要性や取組事例を検討会において紹介し、新たに取組む企業等を募集し、企業等の健康課題に合わせた食育・健康づくりの普及啓発を実施した。</p> <p>※資料添付：有・<input type="checkbox"/></p> |   |
| 評価                                  | プロセス評価                                 | <p>(1)「はじめよう！ベジ活（関保健所版）」（県内庁舎 3 カ所でも同様の事業を実施）<br/>1 日 35 食提供、最終日は展示及び朝食の野菜摂取アンケートを実施 55 名</p> <p>(2)総合庁舎食堂における食育普及活動（県内庁舎 2 カ所で実施）110 名</p> <p>(3)企業・職場給食への普及啓発 検討会を開催 8 事業所が出席、普及啓発活動 1 事業所 150 名</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        |   |
|                                     | 結果評価                                   | 企業・職場給食における食育普及活動の増加、野菜摂取量の増加（国民健康・栄養調査、県民栄養調査）                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |   |
| 課 題                                 |                                        | 企業・職場給食に栄養士が配置されていない場合、喫食者に適切な量や献立を提供することが難しく、栄養士の配置や保健所の継続的な指導が必要である。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        |   |
| その他                                 |                                        |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |   |
| 工夫した点                               |                                        | 健康管理部門と事前に職員の健康課題について情報共有を行い、喫食者に合わせた啓発を行った。栄養管理の必要な施設においては、栄養士の必要性についても併せて啓発した。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              |   |

キーワード：ベジ活、健康管理、事業所給食

|      |                       |          |                        |
|------|-----------------------|----------|------------------------|
| 実施主体 | 岐阜県関保健所               | 所在地      | 岐阜県美濃市生櫛 1612-2        |
| 電話番号 | 0575-33-4011(代)内線 363 | F A X 番号 | 0575-33-4701           |
| 担当者  | 健康増進課 森・石垣            | E - mail | c22705@pref.gifu.lg.jp |

|                                     |        |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                |   |
|-------------------------------------|--------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---|
| 事業名                                 |        | 骨粗しょう症予防教室                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |   |
| 行政栄養士の基本指針における位置づけ<br><br>* 該当区分に○印 |        | (3)生活習慣病の発症予防と重症化予防の徹底のための施策の推進                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                |   |
|                                     |        | (4)社会生活を自律的に営むために必要な機能の維持及び向上のための施策の推進                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         | ○ |
|                                     |        | (5)食を通じた社会環境の整備の促進                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             |   |
| 指標と目標値                              |        | 骨粗しょう症予防検診受診者の5年後検診結果要精検率の減少                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |   |
| 現状と課題                               |        | <p>平成28年度に骨粗しょう症予防検診を受診した人のうち、5年前（平成23年度）も受診していた人の判定結果をみると、平成23年度40歳・45歳の5年後は異常なしの割合がほとんどであった。50歳・55歳の方は、要精検となる人の割合が増えていた。60歳・65歳の方は、半数以上が要精検となっていた。特に平成23年度55歳の方が5年後、要精検になる率があがっていた。</p> <p>平成28年度骨粗しょう症予防検診の判定結果を見ると、異常なし36.5%、要指導20.1%、要精検43.4%であり、要精検率は55歳から60歳のときに割合が上昇していた。</p> <p>55歳前後の女性に起こる女性ホルモンの減少により起こりうる変化に対応できるように、生活習慣を見直し意識付けをする機会が必要である。</p> |   |
| 事業の目的                               |        | 55歳から60歳に見られる骨粗しょう症予防検診での「要精検率」を少なくさせる。<br>骨量の減少カーブを緩やかにし、骨粗しょう症による骨折を予防する。                                                                                                                                                                                                                                                                                    |   |
| 対 象                                 |        | 55歳以上の女性の市民                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |   |
| 連携機関                                |        |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                |   |
| 実施時期                                |        | ①平成29年11月25日（土）      ②平成29年11月30日（木）                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           |   |
| 事業内容                                |        | <p>【募集方法】<br/>広報での募集及びH28年度骨粗しょう症予防検診受診者のうち、55歳以上の判定区分要指導、要精検となった人へのダイレクトメール</p> <p>【実施内容】<br/>○保健師による講話（骨粗しょう症とは、女性の身体の変化）<br/>○管理栄養士による講話及び調理実習（カルシウム摂取について、カロリー控えめで満腹感が得られ乳製品でなくてもカルシウムがとれるメニュー）<br/>○健康運動指導士による実技（骨刺激を与える運動、家事の合間にできるような運動実践）</p> <p>※資料添付   ：   有   ・   ○無</p>                                                                            |   |
| 評価                                  | プロセス評価 | ①11月25日（土）参加者数 23人      ②11月30日（木）参加者数 30人<br>両日の受講者53人のうち個別通知（ダイレクトメール）での申し込みは21人 一般参加が32人。<br>また骨粗しょう症予防のために今後の日常生活に取り入れる内容としては、カルシウムを多く含む食材の摂取45人、ビタミンD・Kを含む食材の摂取41人、運動を行う29人あった。                                                                                                                                                                           |   |
|                                     | 結果評価   | 平成29年度開始の事業のため、まだ5年後の結果は出ていない。しかし今回の教室参加者のアンケートでは日ごろの生活習慣を見直し、今後の生活に取り入れていきたい、また意識が高まったとの結果が出た。教室実施により参加した市民の骨粗しょう症予防への意識の向上が見られた。                                                                                                                                                                                                                             |   |
| 課 題                                 |        | 今回年代別に見ると65歳の参加が一番多かった。55歳の参加が少なかったもので、変化が大きくみられる55歳の参加を増やしていきたい。                                                                                                                                                                                                                                                                                              |   |
| その他                                 |        |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                |   |
| 工夫した点                               |        | 1回の教室の中で食事と運動を組み合わせ実施した。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |   |

キーワード：

|      |              |          |                           |
|------|--------------|----------|---------------------------|
| 実施主体 | 岐阜県可児市健康増進課  | 所在地      | 岐阜県可児市広見一丁目一番地            |
| 電話番号 | 0574-62-1111 | F A X 番号 | (0574) 63-7070            |
| 担当者  | 只腰 知子        | E - mail | kenkozsin@city.kani.lp.jp |

|                                 |                                        |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         |   |
|---------------------------------|----------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---|
| 事業名                             |                                        | 働き盛り世代の健康支援を考える<br>～健康課題の解決に向けて、事業所と連携した取組経過～                                                                                                                                                                                                                                                                                                           |   |
| 行政栄養士の基本指針における位置づけ<br>* 該当区分に○印 | (3)生活習慣病の発症予防と重症化予防の徹底のための施策の推進        |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         | ○ |
|                                 | (4)社会生活を自律的に営むために必要な機能の維持及び向上のための施策の推進 |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         |   |
|                                 | (5)食を通じた社会環境の整備の促進                     |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         |   |
| 指標と目標値                          |                                        | 高血圧有病者の割合：男性 45.0%より減少、女性 38.7%より減少（平成 29 年度）<br>習慣的喫煙者の割合：男性 32.5%より減少、女性 8.2%より減少（平成 29 年度）                                                                                                                                                                                                                                                           |   |
| 現状と課題                           |                                        | 静岡県東部地域は、特定健診の結果から肥満（男性：48.6% 女性：22.9%）、高血圧症有病者（男性：45.0%、女性：38.7%）、習慣的喫煙者（男性：32.5%、女性：8.2%）等県平均より高く健康課題が多い地域である。                                                                                                                                                                                                                                        |   |
| 事業の目的                           |                                        | <ul style="list-style-type: none"> <li>働き盛り世代への健康づくりを更に重点的に推進するため、事業所給食施設を通して、従業員に対する健康づくりの取組状況について、アンケートにより実態把握を行う。</li> <li>健康課題の解決に向けた効果的な健康づくりの取組を検討するため、アンケートの結果をもとに、モデル事業所と連携して、健康づくり支援を実施し、今後の方針を探る。</li> </ul>                                                                                                                                  |   |
| 対 象                             |                                        | 管内事業所給食施設                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |   |
| 連携機関                            |                                        | 事業所給食施設（健康管理担当、総務担当）、受託給食会社、健康保険組合                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |   |
| 実施時期                            |                                        | 平成 29 年 7 月～12 月                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        |   |
| 事業内容                            |                                        | <p>1 健康づくりに関するアンケート<br/>平成 29 年度給食施設実態調査の対象である事業所の担当者に、給食施設実態調査と併せて「健康づくりに関するアンケート」を実施した。アンケートは、健康課題の内容、健康づくり実施の有無、減塩メニュー実施の有無、卓上調味料の有無、禁煙・受動喫煙対策、健康づくりへの支援希望の有無等の項目とした。</p> <p>2 事業所と連携した取組<br/>健康づくりへの支援希望のあった 11 事業所のうち、4 事業所をモデル事業所とし、健康づくり支援を実施した。各モデル事業所とは、数回、事前打合せを行い、健康課題から支援内容を検討し、取組内容を決定した。</p> <p>※資料添付： 有 ・ <input type="checkbox"/> 無</p> |   |
| 評価                              | プロセス評価                                 | <ul style="list-style-type: none"> <li>回収数 41 施設/調査数 50 施設（回答率 82%）</li> <li>アンケート調査により事業所における健康づくりの実践状況とその課題が明らかになった。</li> <li>事業所に対し、食堂を活用した減塩イベントや健康づくりに関する講演、昼休みを活用した健康イベントへのブース出展、健診会場にて禁煙・受動喫煙防止に関するブース出展等の支援を行った。</li> <li>事業所内の各部署を繋ぎ、健康管理部門と給食部門、総務部門と連携した取組となった。</li> <li>テレビ放映、新聞掲載</li> </ul>                                               |   |
|                                 | 結果評価                                   | <ul style="list-style-type: none"> <li>A 事業所については、イベントをきっかけに、卓上調味料の撤去及び毎日の味噌汁を減塩味噌汁に変更することを検討することとなり、減塩対策の推進へと繋がった。</li> <li>B 事業所は、今まで禁煙・受動喫煙防止対策に関連しての取組は行っておらず、今回の支援は事業所での禁煙・受動喫煙防止対策を進めていくよいきっかけとなった。</li> </ul>                                                                                                                                    |   |
| 課 題                             |                                        | <ul style="list-style-type: none"> <li>事業所の健康管理部門と給食部門の連携している事業所の増加</li> <li>健康経営に取り組む事業所の増加</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                                 |   |
| その他                             |                                        |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         |   |

|       |                                                                                                                                                         |
|-------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 工夫した点 | <ul style="list-style-type: none"> <li>健康づくりアンケートを基に数回の打合せを行い、健康づくりの計画・支援を行ったこと。</li> <li>市町等他機関との連携</li> <li>事業所と連携して進めるにあたり、健康経営の視点を伝えたこと。</li> </ul> |
|-------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|

キーワード：

|      |                    |          |                                    |
|------|--------------------|----------|------------------------------------|
| 実施主体 | 静岡県東部健康福祉センター健康増進課 | 所在地      | 沼津市高島本町 1-3                        |
| 電話番号 | 055-920-2112       | F A X 番号 | 055-920-2194                       |
| 担当者  | 阿部 由貴              | E - mail | kftoubu-kenzou@pref.shizuoka.lg.jp |

|                                     |        |                                                                                                                                                                                                                  |   |
|-------------------------------------|--------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---|
| 事業名                                 |        | 介護予防普及啓発事業 ～健康講座(複合教室)での栄養改善の取り組み～                                                                                                                                                                               |   |
| 行政栄養士の基本指針における位置づけ<br><br>* 該当区分に○印 |        | (3)生活習慣病の発症予防と重症化予防の徹底のための施策の推進                                                                                                                                                                                  |   |
|                                     |        | (4)社会生活を自律的に営むために必要な機能の維持及び向上のための施策の推進                                                                                                                                                                           | ○ |
|                                     |        | (5)食を通じた社会環境の整備の促進                                                                                                                                                                                               |   |
| 指標と目標値                              |        | やせの高齢者の割合（75 歳以上BMI 18.5 未満）6%以下（H32 年度）（第 5 次富士宮市健康増進計画）<br>やせの高齢者の割合（75 歳以上BMI 21.5 未満）30%以下（H32 年度）（第 3 次富士宮市食育推進計画）                                                                                          |   |
| 現状と課題                               |        | 富士宮市の高齢者の栄養状況は、やせの高齢者の割合（BMI 18.5 未満）8.8%（H28 年度）、基本チェックリスト栄養 2 項目該当者は 0.60%（H28 年度）である。健康講座や各種教室等を通じて、低栄養予防について周知し食事の見直しや体重を維持管理できる人を増加させる必要がある。                                                                |   |
| 事業の目的                               |        | 運動・口腔・栄養は密接に関わっており、複合プログラムでの実施により介護予防効果が期待できることから、介護予防・健康増進等に関する正しい知識の普及・啓発をし、日常生活の改善を図るきっかけ作りとし自らの健康意識の向上を図る。特に栄養改善としては、食事の多様性得点チェック表TAKE 10 <sup>®</sup> （以下、食べたものチェック表）を活用して自らの食事を見直し、また体重を維持管理することで低栄養を予防する。 |   |
| 対 象                                 |        | 60 歳以上の市民                                                                                                                                                                                                        |   |
| 連携機関                                |        |                                                                                                                                                                                                                  |   |
| 実施時期                                |        | 通年                                                                                                                                                                                                               |   |
| 事業内容                                |        | ・運動器の機能向上・口腔機能向上・栄養改善等の複合プログラムで、1クール4回の講座の中で、1時間程度の低栄養予防講座を入れている。<br>（講座内容）<br>・定期的な体重計測のすすめ・食模型を使い主食主菜副菜の目安量の確認・食べたものチェック表の活用、共食の大切さについて<br>・食べたものチェック表の得点が低い等、低栄養傾向にある人には個別栄養相談につなげて対応する。<br><br>※資料添付： 無      |   |
| 評価                                  | プロセス評価 | ・市内 14 会場で健康講座実施 42 回実 188 人のべ 473 人（内、栄養は 14 回 158 人）（H28 年度）<br>・食事の目安量を知ることによって食べ過ぎや不足に気づくことができた、食べたものチェック表の活用により食の偏りに気づき食事を見直しをしたとの感想が多く聞かれた。                                                                |   |
|                                     | 結果評価   | ・食べたものチェック表提出者 91 人の平均得点は、7.78 点／10 点であった。また得点が低い順に、いも類、海藻、卵であった。                                                                                                                                                |   |
| 課 題                                 |        | ・講座出席者は、過栄養にある人が多いと思われる。低栄養傾向にあるやせの人に、より多く参加してもらうための周知方法を検討する必要がある。<br>・食べたものチェック表の得点の変化や体重変化を確認し、評価していく必要がある。                                                                                                   |   |
| その他                                 |        |                                                                                                                                                                                                                  |   |

|       |                                                                                                                                                            |
|-------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 工夫した点 | <ul style="list-style-type: none"> <li>自分で食事の偏り(食事の多様性)を確認できる食べたものチェック表の活用をすすめた。</li> <li>記入済チェック表を回収し、摂取状況を把握するとともに個々にアドバイスを付け返却し食事内容の改善につなげた。</li> </ul> |
|-------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|

キーワード: 低栄養予防 食事の多様性得点チェック表 複合教室

|      |              |        |                             |
|------|--------------|--------|-----------------------------|
| 実施主体 | 静岡県富士宮市健康増進課 | 所在地    | 富士宮市宮原12番地の1                |
| 電話番号 | 0544-22-2727 | FAX番号  | 0544-28-0267                |
| 担当者  | 光森 美里        | E-mail | kenko@city.fujinomiya.lg.jp |

|                                 |        |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           |   |
|---------------------------------|--------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---|
| 事業名                             |        | 高校生の食育推進について                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              |   |
| 行政栄養士の基本指針における位置づけ<br>* 該当区分に○印 |        | (3)生活習慣病の発症予防と重症化予防の徹底のための施策の推進                                                                                                                                                                                                                                                                                                           | ○ |
|                                 |        | (4)社会生活を自律的に営むために必要な機能の維持及び向上のための施策の推進                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |   |
|                                 |        | (5)食を通じた社会環境の整備の促進                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        |   |
| 指標と目標値                          |        | 栄養バランスを考えた食事をする市民の割合 10～30 歳代 48.1%（平成 27 年度）<br>→60%以上（平成 32 年度）（名古屋市：食育に関するアンケート調査）                                                                                                                                                                                                                                                     |   |
| 現状と課題                           |        | ・ 朝食を毎日食べている市民の割合は 75.0%であるが、20 歳代男性 38.0%、20 歳代女性 67.6%と若い世代では非常に低く、目標の 90%と大きく離れている。（名古屋市：食育に関するアンケート調査（H26.11））<br>・ 若い世代の食事に関する課題が多く指摘されているが、保健所として食育活動を実施する機会が持てないのが実状である。                                                                                                                                                           |   |
| 事業の目的                           |        | ・ 大学生や社会人として生活していく時に自分で栄養バランスを考えて食事を整える知識や技術を備えているようにするために、食事について関心を持つことができる取組を実施する。                                                                                                                                                                                                                                                      |   |
| 対 象                             |        | 名古屋市内 S 高校 栄養を選択する生徒 30 名（アンケート調査は 2、3 年生 370 名）                                                                                                                                                                                                                                                                                          |   |
| 連携機関                            |        | 名古屋文理大学短期大学部                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              |   |
| 実施時期                            |        | 平成 28 年度から 30 年度まで（予定）                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |   |
| 事業内容                            |        | 1. 「食事に関する意識調査の実施」（アンケート調査）<br>目的：アセスメントと優先課題の特定<br>結果から重大性と取り組みやすさを鑑み、優先課題は朝食とする<br>テーマは「朝食の栄養バランスを整えること」<br>2. 「朝食を考えるワークショップ」栄養学を学ぶ短大生と高校生で意見交流<br>目的：朝食を食べる大切さを学ぶ<br>テーマ：朝食の内容、自分たちの朝食内容の見直し、理想的な献立の作成<br>3. 「調理実習」栄養学を学ぶ短大生と高校生で理想的な朝食を作る<br>目的：自分で作ることができるバランスのよい食事にするには<br>内容：電子レンジなども使い、簡単にできる朝食を一緒に作って会食をする<br>※資料添付：有・ <b>無</b> |   |
| 評価                              | プロセス評価 | 食事に関する意識調査より「朝食を毎日食べる」85.1%<br>「朝食が主食・主菜・副菜がそろっている」15.9%<br>実施後のアンケート 「栄養に関して知識が得られたか」では「得られた」83.3%、<br>「朝食の見直しができたか」では「できた」96.7%                                                                                                                                                                                                         |   |
|                                 | 結果評価   | 栄養バランスを考えた食事をする市民の割合 10～30 歳代 60%以上（平成 32 年度）                                                                                                                                                                                                                                                                                             |   |
| 課 題                             |        | 対象者のほとんどが朝食を毎日食べていた。栄養バランスを整えることが大事と知っていても実践は、できていない。「自分で食事を用意する力」「自分で食品を選択する力」を獲得することにつなげるための取組が必要                                                                                                                                                                                                                                       |   |
| その他                             |        |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           |   |

|       |                                                                              |
|-------|------------------------------------------------------------------------------|
| 工夫した点 | 思春期・青年期の健康教育において有効とされているピアエデュケーション（同世代の仲間より行われる教育）の要素を取り入れた体験型のプログラムでの企画・実施。 |
|-------|------------------------------------------------------------------------------|

キーワード：若い世代への食育 バランスのよい食事

|      |                |          |                                  |
|------|----------------|----------|----------------------------------|
| 実施主体 | 名古屋市西保健所 保健予防課 | 所在地      | 名古屋市西区花の木二丁目 18 番 1 号            |
| 電話番号 | 052-523-4618   | F A X 番号 | 052-531-2000                     |
| 担当者  | 保健予防課（渡辺）      | e - mail | a5234616@nishi.city.nagoya.lg.jp |

|                                 |                                        |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             |   |
|---------------------------------|----------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---|
| 事業名                             |                                        | 介護支援専門員による栄養・口腔アセスメントに関する実態調査                                                                                                                                                                                                                                                                                               |   |
| 行政栄養士の基本指針における位置づけ<br>* 該当区分に○印 | (3)生活習慣病の発症予防と重症化予防の徹底のための施策の推進        |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             |   |
|                                 | (4)社会生活を自律的に営むために必要な機能の維持及び向上のための施策の推進 |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             | ○ |
|                                 | (5)食を通じた社会環境の整備の促進                     |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             |   |
| 指標と目標値                          |                                        | 【医療】在宅患者訪問栄養食事指導料、歯科訪問診療料、訪問歯科衛生指導料の請求件数 の増加<br>【介護】居宅療養管理指導費（歯科医師、歯科衛生士、栄養士）の請求件数 の増加                                                                                                                                                                                                                                      |   |
| 現状と課題                           |                                        | 在宅等で療養する要支援、要介護高齢者について、管理栄養士や歯科衛生士等による栄養・口腔ケアの実態について、関係者からは日常のケアプランに入っていないという声があったが、当所では把握できていなかった。                                                                                                                                                                                                                         |   |
| 事業の目的                           |                                        | ケアプラン作成時の介護支援専門員（以下、ケアマネとする。）による栄養・口腔に関するアセスメントの実態を把握することを目的とする。                                                                                                                                                                                                                                                            |   |
| 対 象                             |                                        | 管内の介護保険事業所（居宅、小規模多機能居宅）および地域包括支援センター全 97 事業所に属するケアマネ                                                                                                                                                                                                                                                                        |   |
| 連携機関                            |                                        | 滋賀県介護支援専門員連絡協議会                                                                                                                                                                                                                                                                                                             |   |
| 実施時期                            |                                        | 平成 29 年 7 月                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 |   |
| 事業内容                            |                                        | <p>病院とケアマネの退院時連携に関する調査（以下、連携調査とする。）と併せて実施し、平成 29 年 6 月の 1 ヶ月間に退院されたケースについて回答を得た。調査内容としては、①介護支援専門員の属性、②どのような時に栄養ケア、口腔ケアが必要と判断しているか、③退院時に栄養、口腔の課題となる情報を聞き取る職種とその方法、④退院時に栄養・口腔ケアが必要と思われた数と実際ケアプランに反映した数、ケアプランに反映する上での課題等。調査方法としては、郵送にてアンケート用紙を送付し、郵送 FAX 等にて回答を得た。</p> <p>※資料添付： 有 ・ <input checked="" type="checkbox"/> 無</p> |   |
| 評価                              | プロセス評価                                 | 連携調査を併せて実施したため、53 事業所 148 名のケアマネから回答が得られた。回収率 54.6% (53/97 事業所)。                                                                                                                                                                                                                                                            |   |
|                                 | 結果評価                                   | 今回の調査では、退院時におけるケアマネの栄養・口腔ケアのアセスメントの実態が把握できた。栄養、口腔ケアが必要と判断した者のうちケアプランに反映されているのは栄養ケアでは約 9 割、口腔ケアでは約 7 割であった。                                                                                                                                                                                                                  |   |
| 課 題                             |                                        | 必要なケースに栄養・口腔ケアが提供されるために重要と思われるものとしては、利用者・家族の理解、ケアマネ自身の知識・調整等の力量アップ、対象者把握のアセスメントツールが上位であった。このことから、今後関係機関と協力し、①早期からの住民啓発②ケアマネへの研修、学習の場を設けていく。                                                                                                                                                                                 |   |
| その他                             |                                        | 今年度は実態の把握を行い、次年度以降具体的な取り組みを行う予定。                                                                                                                                                                                                                                                                                            |   |

|       |                                                                                   |
|-------|-----------------------------------------------------------------------------------|
| 工夫した点 | 事前に他に同様の調査が行われていないか文献検索を行い、設問を検討した。また、調査用紙配布前には、連携機関に依頼し、プレ調査を行い、設問内容および設問肢を検討した。 |
|-------|-----------------------------------------------------------------------------------|

キーワード：介護支援専門員、栄養・口腔ケア、実態調査

|      |                         |          |                         |
|------|-------------------------|----------|-------------------------|
| 実施主体 | 滋賀県東近江健康福祉事務所           | 所在地      | 滋賀県東近江市八日市緑町 8-22       |
| 電話番号 | 0 7 4 8 - 2 2 - 1 3 0 9 | F A X 番号 | 0 7 4 8 - 2 2 - 1 6 1 7 |
| 担当者  | 清水、大友                   | E - mail |                         |

|                                     |        |                                                                                                                                                                                                                                |   |
|-------------------------------------|--------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---|
| 事業名                                 |        | 出前講座「高血圧予防のための食事からの健康づくり」                                                                                                                                                                                                      |   |
| 行政栄養士の基本指針における位置づけ<br><br>* 該当区分に○印 |        | (3)生活習慣病の発症予防と重症化予防の徹底のための施策の推進                                                                                                                                                                                                | ○ |
|                                     |        | (4)社会生活を自律的に営むために必要な機能の維持及び向上のための施策の推進                                                                                                                                                                                         |   |
|                                     |        | (5)食を通じた社会環境の整備の促進                                                                                                                                                                                                             |   |
| 指標と目標値                              |        | <長期目標> 竜王町健康増進計画(健康いきいき竜王 21 プラン)の目標値<br>食塩摂取量の減少 8.7g(H27)→8.0g(H34)<br><短期目標> 事業終了後のアンケート回答で「話を聞いて日常生活の中で何かやってみようと思われましたか」の問いに対して「取り組んでみようと思った」と回答した者の割合が80%以上                                                               |   |
| 現状と課題                               |        | 竜王町は男女とも高血圧による服薬治療者が多く、要介護の有病状況でも高い傾向である。住民健診の結果お渡し会(保健指導)で普段の食事内容を伺うと漬物等の摂取頻度が高く、日頃より食品に含まれる塩分量について把握し、塩分を控えた食事をとるよう心掛ける必要がある。                                                                                                |   |
| 事業の目的                               |        | 参加者が高血圧と食事の関係を理解したうえで、普段の食事でのどのくらい塩分摂取をしているのかを把握し、日頃から行える減塩方法を学び、取り組みが実施できるように知識の普及啓発を行う。                                                                                                                                      |   |
| 対 象                                 |        | 主に 65 歳以上の住民(集団)                                                                                                                                                                                                               |   |
| 連携機関                                |        |                                                                                                                                                                                                                                |   |
| 実施時期                                |        | 随時                                                                                                                                                                                                                             |   |
| 事業内容                                |        | 下記①～④に基づき管理栄養士が講話を行っている<br>①高血圧と食事(塩分)の関わりについて<br>②日常の塩分摂取についての振り返り(塩分チェック表の記入)<br>③塩分クイズ<br>④作るとき・食べるときの減塩方法、栄養成分表示の見方 等<br><br>※資料添付 : 有 ・ <input type="checkbox"/> 無                                                        |   |
| 評価                                  | プロセス評価 | 終了時、受講者にアンケートを実施。                                                                                                                                                                                                              |   |
|                                     | 結果評価   | <長期目標> 5年に1回実施している「滋賀の健康・栄養マップ」調査で平成27年度の食塩摂取量が男性9.4g、女性8.0gであり、次回実施予定の平成32年度では男女とも目標値である8.0gに達しているか評価を行う。<br><短期目標> アンケートで「話を聞いて日常生活の中で何かやってみようと思われましたか」の問いに対して「取り組んでみようと思った」と回答した者78.6% その中で「今以上に塩分に気をつける」、「だしを使いたい」等の回答を得た。 |   |
| 課 題                                 |        | ・平成28年度より実施しているが、マンネリ化しないように内容を工夫する必要がある。<br>・みそ汁の塩分濃度測定を健康推進員を中心に町内全体で多く行えるように取り組む。                                                                                                                                           |   |
| その他                                 |        | 来年度より対象年齢を拡大予定(若年、壮年期に向けても啓発を行う)                                                                                                                                                                                               |   |
| 工夫した点                               |        | 受講者が楽しく学べるようにクイズを取り入れ、参加型の内容にした。                                                                                                                                                                                               |   |

キーワード：高血圧予防、減塩

|      |          |
|------|----------|
| 実施主体 | 竜王町健康推進課 |
|------|----------|

|                                     |                                        |                                                                                                                                                                                                                                   |   |
|-------------------------------------|----------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---|
| 事業名                                 |                                        | 妊婦教室（妊娠期栄養指導）                                                                                                                                                                                                                     |   |
| 行政栄養士の基本指針における位置づけ<br><br>* 該当区分に○印 | (3)生活習慣病の発症予防と重症化予防の徹底のための施策の推進        |                                                                                                                                                                                                                                   |   |
|                                     | (4)社会生活を自律的に営むために必要な機能の維持及び向上のための施策の推進 |                                                                                                                                                                                                                                   | ○ |
|                                     | (5)食を通じた社会環境の整備の促進                     |                                                                                                                                                                                                                                   |   |
| 指標と目標値                              |                                        | 舞鶴市健康増進計画（重点施策①健やかな子どもの成長発達のための健康づくりの推進）                                                                                                                                                                                          |   |
| 現状と課題                               |                                        | 母子手帳交付時、食事バランスに気を付けている妊婦は 29.0%と低い傾向にある。<br>また、朝食を食べているのは 71.0%で約 3 割が朝食欠食である。（数値は平成 28 年度）<br>健康増進計画策定アンケートより、働き盛り（20～50 歳代）でうす味を心がけている人の割合は 43.1%（H24）から 42.1%（H29）と微減傾向で推移している。                                                |   |
| 事業の目的                               |                                        | 従来から実施しているもうすぐパパ・ママ教室（育児準備教室）に加え、平成 28 年度より妊婦教室を新規に開催した。教室では、妊娠期の食生活のうち、課題となっている減塩や、この時期に必要なとなる栄養素について試食を伴って実施し、朝食習慣についても講話を実施し摂取率を上げる。妊婦の朝食習慣を定着させることで生まれてきた児の朝食習慣の確立にも繋げる。<br>また、その他には妊娠期からの孤立した子育てを防げるよう、妊婦同士・先輩ママとの交流を実施している。 |   |
| 対 象                                 |                                        | 妊娠 5 か月以降の妊婦                                                                                                                                                                                                                      |   |
| 連携機関                                |                                        | 舞鶴市子育て支援基幹センター                                                                                                                                                                                                                    |   |
| 実施時期                                |                                        | 平成 28 年 5 月～（隔月実施）                                                                                                                                                                                                                |   |
| 事業内容                                |                                        | ①妊娠期の食事について<br>講話…栄養について（鉄分、カルシウム、塩分）、食事バランスについて、朝食について<br>試食…だしの飲み比べ（顆粒だし、無添加だしパック）、野菜たっぷりスープ<br>②妊娠期歯科指導（歯科衛生士）、ブラッシング指導<br>③先輩ママ・妊婦同士の交流<br><br>※資料添付：有・ <b>無</b>                                                              |   |
| 評価                                  | プロセス評価                                 | 試食を行うことで体験を持ってうす味やだし、野菜のうまみを感じてもらうことが出来た。<br>妊婦教室に栄養士が直接介入することで妊婦への知識提供だけでなく、行政栄養士が存在し、相談することが出来るという認知のためのアプローチが出来た。                                                                                                              |   |
|                                     | 結果評価                                   | 参加者数 40 組/6 回（定員 10 名/回）初妊婦のうち 13.5%<br>正しい栄養バランスの実施について ぜひ実施したい 47.5%、既に実施している 2.5%<br>うす味の実施について ぜひ実施したい 32.5%、既に実施している 12.5%（妊婦教室アンケートより）                                                                                      |   |
| 課 題                                 |                                        | 妊娠中に行政栄養士が妊婦教室と従来から実施しているもうすぐパパ・ママ教室と 2 回介入しており、妊婦に行政栄養士がいると知ってもらえる機会は確保しているが、妊婦の食事から離乳食にかけてのつながりを持たせていくこと。                                                                                                                       |   |
| その他                                 |                                        |                                                                                                                                                                                                                                   |   |

|       |                                                             |
|-------|-------------------------------------------------------------|
| 工夫した点 | 舞鶴市内の産科医療機関の妊婦教室等を見学し、医療機関で実施されていない試食を伴った講話という内容で新規に実施を始めた。 |
|-------|-------------------------------------------------------------|

キーワード：

|      |                                          |          |                             |
|------|------------------------------------------|----------|-----------------------------|
| 実施主体 | 京都府舞鶴市役所<br>健康・子ども部健康づくり課<br>（舞鶴市保健センター） | 所在地      | 京都府舞鶴市字余部下 1167 番地<br>中総会館内 |
| 電話番号 | 0773-65-0065                             | F A X 番号 | 0773-62-0551                |
| 担当者  | 奥野・本合                                    | E - mail | Kenzo@city.maizuru.lg.jp    |

|                                 |                                                                                                                                                                                                                                                                                       |                                                                                                                                                                                                   |   |
|---------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---|
| 事業名                             | 淡路圏域災害時保健活動ガイドライン〔食・栄養追加版〕の作成に向けて                                                                                                                                                                                                                                                     |                                                                                                                                                                                                   |   |
| 行政栄養士の基本指針における位置づけ<br>* 該当区分に○印 | (3)生活習慣病の発症予防と重症化予防の徹底のための施策の推進                                                                                                                                                                                                                                                       |                                                                                                                                                                                                   |   |
|                                 | (4)社会生活を自律的に営むために必要な機能の維持及び向上のための施策の推進                                                                                                                                                                                                                                                |                                                                                                                                                                                                   |   |
|                                 | (5)食を通じた社会環境の整備の促進                                                                                                                                                                                                                                                                    |                                                                                                                                                                                                   | ○ |
| 指標と目標値                          | 【指標】連携機関への淡路圏域災害時保健活動ガイドライン〔食・栄養追加版〕（案）の周知度の向上（以下、ガイドライン）<br>【目標値】ガイドライン〔平成29年度版〕の完成                                                                                                                                                                                                  |                                                                                                                                                                                                   |   |
| 現状と課題                           | 【現状】平時から災害発生時に備えるべきガイドラインの作成が十分にすすんでおらず、行政栄養士も災害発生時の具体的な栄養・食生活支援活動のイメージがもてていなかった。<br>【課題】平時から災害発生時に備え、行政栄養士の栄養・食生活支援活動ができる効果的な体制整備が必要である。                                                                                                                                             |                                                                                                                                                                                                   |   |
| 事業の目的                           | 効果的な栄養・食生活支援活動ができるガイドラインの作成                                                                                                                                                                                                                                                           |                                                                                                                                                                                                   |   |
| 対 象                             | 淡路圏域行政栄養士（健康福祉事務所、圏域内市）、県・各市連携機関・課、給食施設協議会、淡路ブロック栄養士会等関係団体                                                                                                                                                                                                                            |                                                                                                                                                                                                   |   |
| 連携機関                            | 対象に同じ                                                                                                                                                                                                                                                                                 |                                                                                                                                                                                                   |   |
| 実施時期                            | 平成26年度～現在                                                                                                                                                                                                                                                                             |                                                                                                                                                                                                   |   |
| 事業内容                            | ①現況分析<br>・市町栄養改善業務強化推進研修会にて、自市の防災計画の確認のもと、災害発生時に必要な栄養・食生活支援活動内容の意見を出し情報整理した。<br>②ガイドラインの内容検討<br>・既存のガイドラインに栄養・食生活支援活動に関する追記すべき内容を検討した。<br>③ガイドラインへの追記<br>・既存のガイドラインに栄養・食生活支援活動に関する項目の様式、リーフレットを作成し、追記した。<br>④他職種との合同研修会<br>・連携機関・職種との合同研修会で、災害発生時の行政栄養士の栄養・食生活支援活動を周知した。<br>※資料添付：有・無 |                                                                                                                                                                                                   |   |
| 評価                              | プロセス評価                                                                                                                                                                                                                                                                                | 現況の把握ができた。<br>行政栄養士による栄養・食生活支援活動に必要な内容を確認できた。<br>災害時危機管理対応等に関する研修会等の対象に行政栄養士以外の連携機関・職種（保健師、給食協議会、淡路ブロック栄養士会）も含めることができた。<br>定期的な研修会を行うことで、行政栄養士としてもスキルアップできた。<br>（研修会の開催状況）平成26年度～ 10回（平成29年9月末現在） |   |
|                                 | 結果評価                                                                                                                                                                                                                                                                                  | 効果的な栄養・食生活支援活動のガイドラインができた。                                                                                                                                                                        |   |
| 課 題                             | 災害発生時における栄養・食生活支援活動の連携強化、効果的な運用が行えるように、ガイドラインの定期的な見直しが必要である。                                                                                                                                                                                                                          |                                                                                                                                                                                                   |   |
| その他                             | 課題に基づき、具体的な栄養・食生活支援活動につながる研修（定期的な総合防災訓練）に出席し、連携強化及び周知を行う。                                                                                                                                                                                                                             |                                                                                                                                                                                                   |   |
| 工夫した点                           | 連携職種のもつ既存のガイドラインをもとに効果的な栄養・食生活支援活動にむけての内容検討を行い、共有化を図ったこと。                                                                                                                                                                                                                             |                                                                                                                                                                                                   |   |

キーワード：

|      |                                      |        |                                  |
|------|--------------------------------------|--------|----------------------------------|
| 実施主体 | 兵庫県南あわじ市健康課<br>（兵庫県市町栄養士連絡協議会淡路ブロック） | 所在地    | 兵庫県南あわじ市市善光寺22番地1                |
| 電話番号 | 0799-43-5218                         | FAX番号  | 0799-43-5318                     |
| 担当者  | 内原                                   | e-mail | kenkou@city.minamiawaji.hyogo.jp |

|                                 |                                        |                                                                                                                                                                                                                        |   |
|---------------------------------|----------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---|
| 事業名                             |                                        | 手づかみ食べレシピの作成                                                                                                                                                                                                           |   |
| 行政栄養士の基本指針における位置づけ<br>* 該当区分に○印 | (3)生活習慣病の発症予防と重症化予防の徹底のための施策の推進        |                                                                                                                                                                                                                        |   |
|                                 | (4)社会生活を自律的に営むために必要な機能の維持及び向上のための施策の推進 |                                                                                                                                                                                                                        | ○ |
|                                 | (5)食を通じた社会環境の整備の促進                     |                                                                                                                                                                                                                        |   |
| 指標と目標値                          |                                        | 指標：手づかみ食べの進め方に不安や悩みを持つ保護者を減少させる。<br>目標値：月齢や口腔機能の発達に合わせた手づかみ食べができる乳幼児を増やす。                                                                                                                                              |   |
| 現状と課題                           |                                        | 市町村栄養士が乳幼児相談等の場で保護者に手づかみ食べを進め説明をする際に、どんな食材でどのように調理すればよいのかを口頭だけで短時間には説明するのは難しく、また経験が浅い栄養士が手づかみ食べをするにふさわしいレシピを提案するのは難しい状況である。                                                                                            |   |
| 事業の目的                           |                                        | 手づかみ食べを進めるには、その児の口腔機能を確認しながら実施していくことが必要であり、月齢やその児の口腔機能の発達状況等を確認するための資料（媒体）を作成することで、具体的な手づかみ食べの進め方について保護者が知ることができる。また、それぞれの段階にあったレシピを知ることによって手づかみ食べの次の段階へ進めることにつなげる。                                                    |   |
| 対 象                             |                                        | 手づかみ食べをする乳幼児の保護者                                                                                                                                                                                                       |   |
| 連携機関                            |                                        | 市町村に勤務する行政栄養士等                                                                                                                                                                                                         |   |
| 実施時期                            |                                        | 平成29年7月から平成30年3月                                                                                                                                                                                                       |   |
| 事業内容                            |                                        | <p>（公社）奈良県栄養士会公衆衛生事業部に所属する市町村の行政管理栄養士により、手づかみ食べをすすめるにあたりお薦めのメニューを収集した。その際、材料が手に入りやすく、作り方が簡単なもの、親が食べている料理から取り分けできるものを選別した。実用性の高さを検証するために試作し、分量や手順等を再確認した。対象児の咀嚼機能の段階にあわせてレシピを分類しレイアウトした。</p> <p>※資料添付： 有 ・ <b>無</b></p> |   |
| 評価                              | プロセス評価                                 | <p>・ レシピを市町村行政栄養士から収集することで実用度の高いものを採用することができた。</p> <p>また、栄養士の視点から取り分けできるレシピを掲載した。</p> <p>・ 検討会に参加できない者がいてもその都度決定内容を連絡し、意見を媒体に反映させることができた。</p>                                                                          |   |
|                                 | 結果評価                                   | <p>・ 口腔機能の発達等を確認し、それにあった手づかみ食べをすすめるための望ましいレシピの提案ができた。</p> <p>・ 親の料理から取り分けできるように保護者の調理の軽減に結び付けられた。</p>                                                                                                                  |   |
| 課 題                             |                                        | 平成30年度以降に乳幼児健診等で活用し、指導のしやすさ、保護者の状況等を確認していく。                                                                                                                                                                            |   |
| その他                             |                                        |                                                                                                                                                                                                                        |   |

|       |                                                                                                    |
|-------|----------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 工夫した点 | <p>口腔機能の発達に合わせて手づかみ食べをすすめることができるようなレシピのレイアウトとした。</p> <p>また、取り分けできるレシピを掲載することで、保護者の調理不安の軽減を図った。</p> |
|-------|----------------------------------------------------------------------------------------------------|

キーワード：

|      |                        |          |                          |
|------|------------------------|----------|--------------------------|
| 実施主体 | （公社）奈良県栄養士会<br>公衆衛生事業部 | 所在地      | 奈良県磯城郡田原本町三笠<br>22-1-201 |
| 電話番号 | 0744-33-2166           | F A X 番号 | 0744-33-2177             |
| 担当者  | 下地、平岡、西山               | e - mail | n-eiyou@m4.kcn.ne.jp     |

|                                     |        |                                                                                                                                                                                                                     |   |
|-------------------------------------|--------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---|
| 事業名                                 |        | 食生活改善を通じた介護予防、生活支援推進事業<br>～栄養委員との協働によるシルバー世代の健康づくり～                                                                                                                                                                 |   |
| 行政栄養士の基本指針における位置づけ<br><br>* 該当区分に○印 |        | (3)生活習慣病の発症予防と重症化予防の徹底のための施策の推進                                                                                                                                                                                     |   |
|                                     |        | (4)社会生活を自律的に営むために必要な機能の維持及び向上のための施策の推進                                                                                                                                                                              |   |
|                                     |        | (5)食を通じた社会環境の整備の促進                                                                                                                                                                                                  | ○ |
| 指標と目標値                              |        | 低栄養傾向（BMI20 以下）の高齢者の割合の増加の抑制 22%（平成 34 年）<br>…第 2 次健康おかやま 21                                                                                                                                                        |   |
| 現状と課題                               |        | 単身高齢者世帯や見守りが必要な高齢者が増える中で栄養委員は地域の健康づくりボランティアとして、食生活の改善を通じて高齢者の自立を支援していく役割が期待されている。<br>栄養委員から「バランスのとれた食事を高齢者が一目で理解でき低栄養予防につながる普及啓発資料を作成し、地域での活動に利用したい」との提案もある。                                                        |   |
| 事業の目的                               |        | 栄養委員が地域活動を実践する中で得た高齢者の状況から見える課題を整理し、低栄養予防に向けて地域活動の実践につながるように、他地域との情報共有を図る。また、栄養委員自ら低栄養予防にむけてのスキルを向上させることで、地域の実情を踏まえた効果的な活動を展開していくことを目的とする。                                                                          |   |
| 対 象                                 |        | 栄養委員                                                                                                                                                                                                                |   |
| 連携機関                                |        | 備中保健所管内総社・早島栄養改善協議会                                                                                                                                                                                                 |   |
| 実施時期                                |        | 平成 28 年度～                                                                                                                                                                                                           |   |
| 事業内容                                |        | 1 スキルアップ研修会の実施<br>管内各市町のリーダー的存在である栄養委員を対象に高齢者の低栄養予防に関する研修会を開催し、受講者が中心となって市町でより実践的な研修を開催した。<br>2 普及啓発教材の作成<br>栄養委員の代表者で活動を推進していくために協議をし、普及啓発教材を作成した。<br>3 地域での普及啓発<br>※資料添付 : 有 ・ <input checked="" type="radio"/> 無 |   |
| 評価                                  | プロセス評価 | ・普及啓発媒体作成にあたっては、スキルアップ研修会での内容も踏まえて、使用の場面を設定し、目的や対象を明確にして使用する栄養委員が自分たちの活動の中で使いやすいように意見を出し合って作成した。<br>・作成途中の普及啓発資料を実際に地域で使用し、利用者の意見を吸い上げて作成し利用者の理解が深まるように工夫を行った。                                                      |   |
|                                     | 結果評価   | ・地域の高齢者のサロン等に働きかけを行い、栄養委員が連携できるところから、地域の実態に合わせて柔軟に普及啓発を推進している。<br>・地域での普及啓発を行う中で普及啓発媒体を目にした他の団体から「配食サービス等に使いたい」との声が上がるなど他団体への波及効果がみられる。                                                                             |   |
| 課 題                                 |        | ・指標に関する評価につながっているかどうかは、今後、第 2 次健康おかやま 21 の最終評価等で検討をしていく必要がある。                                                                                                                                                       |   |
| その他                                 |        |                                                                                                                                                                                                                     |   |
| 工夫した点                               |        | 地域での活動を実践する栄養委員の意見を中心に事業を組み立て、継続的な活動につながるように配慮した。                                                                                                                                                                   |   |

キーワード：

|      |              |          |                  |
|------|--------------|----------|------------------|
| 実施主体 | 備中保健所保健課     | 所在地      | 岡山県倉敷市羽島 1 0 8 3 |
| 電話番号 | 086-434-7025 | F A X 番号 | 086-425-1941     |
| 担当者  | 佐守 直子        | E - mail |                  |

|                    |        |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |   |
|--------------------|--------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---|
| 事業名                |        | 産・官・学による若い世代のための食育キャンペーン                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            |   |
| 行政栄養士の基本指針における位置づけ |        | (3)生活習慣病の発症予防と重症化予防の徹底のための施策の推進                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     | ○ |
|                    |        | (4)社会生活を自律的に営むために必要な機能の維持及び向上のための施策の推進                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              |   |
|                    |        | (5)食を通じた社会環境の整備の促進                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  |   |
| * 該当区分に○印          |        |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |   |
| 指標と目標値             |        | ●適正な体重を維持する人を増やす H32年目標：72%●朝食を食べていない人を減らす H32年目標：6%●よく噛んで食べている人を増やす H32年目標：59%●主食・主菜・副菜を組み合わせた食事を1日2回以上食べている人を増やす H32年目標：80%                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |   |
| 現状と課題              |        | 倉敷市では、平成23年度から健康増進計画「健康くらしき21・II」,「第二次倉敷市食育推進計画」を推進しており、平成27年度の中間評価により、若い世代で朝食を毎日食べている人の割合が低い、若い世代・男性で食に関する知識や技術がある人も他の世代に比べて低いという現状が分かった。また、平成26年度の国保特定健診結果では、血糖・HbA1cの有所見者割合が国・県より高いという現状があり、生活習慣病予防、特に糖尿病予防の対策の強化及び、若い世代に向けての規則正しい食生活の定着を図るための啓発を課題としている。                                                                                                                                                                        |   |
| 事業の目的              |        | ・無関心層を含めた食への関心が低い若い世代・男性への啓発を強化する。<br>・簡単な朝食調理体験を通じて食に対する関心を高める。<br>・朝食摂取や野菜摂取及び適正体重を維持することの重要性について啓発を行い、若い頃からの生活習慣病予防を図る。                                                                                                                                                                                                                                                                                                          |   |
| 対 象                |        | 一般市民（特に若い世代、男性対象）                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |   |
| 連携機関               |        | イオンリテール（株）, 川崎医療福祉大学                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                |   |
| 実施時期               |        | 平成28年度から年2回ずつ（H28年度：6月19日, 8月31日 H29年度：6月18日, 8月27日）                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                |   |
| 事業内容               |        | 商業地（イオン倉敷店）にて、以下の内容を実施した。<br>●朝食調理体験●野菜350g計量ゲーム●大学生が考えた朝食レシピコンテストや朝食アンケートを通じた朝食の大切さの啓発●啓発資料の展示や配布による朝食摂取、適正体重、よく噛む等の啓発●ティッシュ配布による簡単朝食レシピ紹介●栄養相談, 歯科相談 ※資料添付：有・無                                                                                                                                                                                                                                                                    |   |
| 評価                 | プロセス評価 | ・大学と連携し、若い世代である学生の声を取り入れたことで、若い世代のニーズに合わせた事業を行うことができた。また、商業地（イオン倉敷店）への出張型イベントとし、無関心層を含めた若い世代へのアプローチも行うことができた。<br>・三者（産：イオンリテール, 官：倉敷市, 学：大学）での協働事業であることをお互いに認識し、それぞれが倉敷市の健康課題を共有することを目的に、何度も足を運び、互いに顔を合わせて企画作成や事業展開の考察を行ったため、それぞれの良さを生かした事業となった。更に、事業実施後には共通認識を図ることで、三者での継続実施に向けた事業評価を行うことができた。                                                                                                                                     |   |
|                    | 結果評価   | ・アンケートでは、次回このようなイベントがあれば、「ぜひ参加したい」「できれば参加したい」と回答した割合が97%であったことから、啓発による参加者の満足度は高かったと考えられる。<br>・本事業を通して、学生が啓発を行うことで学生自身の食への関心が高まると共に、大学生からの声かけにより男子中高生などの参加がみられたことや、事業に参加した学生が事業後に学内で他の学生に向けて啓発を行ったこと等、若い世代から若い世代への推進の広がりがみられた。<br>・「これから野菜をもっと摂っていきたい」「普段の食事を改めて考えさせられた」「子どもと一緒に作って会話がはずんでよかった」などの参加者の感想からも、食への関心が高まったと考えられた。<br>・商業地での啓発を行ったことで、短期間で若い世代や男性を含む多くの人の参加が得られた。<br>（参加者人数：平成29年6月18日実施 延べ1,930人, 平成29年8月27日実施 延べ2,457人） |   |
| 課 題                |        | それぞれの担当者が変わっても、産・官・学の取り組みとして継続実施できる仕組み作りをすること。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |   |
| その他                |        |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |   |
| 工夫した点              |        | ・若い世代へのアプローチを強化するために、若い世代が集う商業地で出張型イベントとした。<br>・産・官・学で倉敷市の計画や課題を共有し、企画から評価・反省まで行った。<br>・若い世代から若い世代への効果的な啓発を行うために学生を主体とした事業とした。<br>・男性への働きかけを強化するために、父の日に合わせてイベントを行った。                                                                                                                                                                                                                                                               |   |

キーワード：産官学、出張型イベント、若い世代、男性、大学連携

|      |              |        |                                    |
|------|--------------|--------|------------------------------------|
| 実施主体 | 倉敷市保健所       | 所在地    | 倉敷市笹沖170                           |
| 電話番号 | 086-434-9868 | FAX番号  | 086-434-9805                       |
| 担当者  | 守安、山下        | E-mail | syokuiku@city.kurashiki.okayama.jp |

|                                     |        |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              |   |
|-------------------------------------|--------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---|
| 事業名                                 |        | 栄養ケア情報提供に関する取組                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |   |
| 行政栄養士の基本指針における位置づけ<br><br>* 該当区分に○印 |        | (3)生活習慣病の発症予防と重症化予防の徹底のための施策の推進                                                                                                                                                                                                                                                                                                              |   |
|                                     |        | (4)社会生活を自律的に営むために必要な機能の維持及び向上のための施策の推進                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |   |
|                                     |        | (5)食を通じた社会環境の整備の促進                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           | ○ |
| 指標と目標値                              |        | 栄養ケア情報提供実施施設数（0％→100％）<br>栄養ケア情報提供件数の増加<br>在宅療養者への運用拡大                                                                                                                                                                                                                                                                                       |   |
| 現状と課題                               |        | 食事支援が必要な長期療養者が療養する場を移動しても、それまで受けていた栄養ケア情報が移動先に伝わらず、受入側も必要な情報が不足していると感じる管理栄養士・栄養士が多くいる。平成27年度に管内の病院、介護老人保健施設、老人福祉施設、社会福祉施設等を対象に行った実態調査では、栄養ケア情報提供は必要と感じているが実施できていない施設が多いものの、7割の施設が「共通の様式」や「研修会」があれば実施できると回答していた。                                                                                                                              |   |
| 事業の目的                               |        | 転院・転所時にスムーズに食事の状況を伝えることができるよう、栄養ケア情報提供に関する様式等を整える。また、いずれは在宅療養者へも情報提供できるよう、他職種を巻き込んだ体制整備を行う。                                                                                                                                                                                                                                                  |   |
| 対 象                                 |        | 病院・施設の管理栄養士・栄養士                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              |   |
| 連携機関                                |        | 病院、介護老人保健施設、老人福祉施設、社会福祉施設、医師会、歯科医師会、介護支援専門員連絡協議会、市町関係課                                                                                                                                                                                                                                                                                       |   |
| 実施時期                                |        | 平成28年度～平成30年度（予定）                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            |   |
| 事業内容                                |        | 1 栄養ケア情報提供に関する検討会の開催<br>（1）開催回数：平成28年8月から平成29年12月まで 14回<br>（2）構成員：病院、介護老人保健施設、老人福祉施設、社会福祉施設等の管理栄養士 11名<br>（3）検討内容：栄養ケア情報提供書や食形態マップ等の検討等<br>2 栄養ケア情報提供に関する研修会の開催<br>（1）対象者・参加者：病院・施設の管理栄養士・栄養士等、72名<br>（2）内容：栄養ケア情報提供に関する取組についての説明、歯科医師による摂食嚥下に関する講演<br>3 他職種への普及啓発<br>（1）内容：医師、看護師、介護支援専門員等の関係職種への事業説明。<br>※資料添付：有・ <input type="checkbox"/> |   |
| 評価                                  | プロセス評価 | 栄養ケア情報提供書を作成し、情報共有するための体制づくりを行えた。<br>食形態マップを作成したことで、施設間の食形態情報の共有につながった。<br>病院、施設の管理栄養士と検討を行ったことで、主体的な取組みにつながるとともに、管内の病院・施設への普及啓発の際にリーダー的存在となった。<br>病院、施設間の情報交換の機会が増え、管理栄養士個々のスキルアップにつながった。<br>地域包括ケア会議への管理栄養士の参画につながった。                                                                                                                      |   |
|                                     | 結果評価   | 栄養ケア情報提供実施施設数(22施設)、栄養ケア情報提供件数(H29.10現在82件)<br>食形態マップ作成施設数(42施設)                                                                                                                                                                                                                                                                             |   |
| 課 題                                 |        | 病院や施設から在宅療養に移行される方への情報提供をどのように関係機関と連携しながら行うか。<br>また、在宅療養者へ食事支援を行える管理栄養士・栄養士の人材不足。                                                                                                                                                                                                                                                            |   |
| その他                                 |        | 今後は、在宅療養者への情報提供方法について検討を行う。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  |   |
| 工夫した点                               |        | 病院・施設間の情報提供だけではなく、在宅療養者も対象としている。<br>他職種への理解を求め、栄養士間だけでなく施設全体の取組となるよう体制整備に力を入れた。                                                                                                                                                                                                                                                              |   |

キーワード：栄養ケア情報提供、地域包括ケア

|      |               |        |                             |
|------|---------------|--------|-----------------------------|
| 実施主体 | 山口県岩国健康福祉センター | 所在地    | 岩国市三笠町1丁目1-1                |
| 電話番号 | 0827-29-1523  | FAX番号  | 0827-29-1594                |
| 担当者  | 原田 理恵         | E-mail | a13214@pref.yamaguchi.lg.jp |

|                    |        |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           |   |
|--------------------|--------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---|
| 事業名                |        | 光　スマイル　ライフ　プロジェクト　～光市健康応援プロジェクト～<br>「光の恵みいただきます事業」                                                                                                                                                                                                                                                                                        |   |
| 行政栄養士の基本指針における位置づけ |        | (3)生活習慣病の発症予防と重症化予防の徹底のための施策の推進                                                                                                                                                                                                                                                                                                           | ○ |
|                    |        | (4)社会生活を自律的に営むために必要な機能の維持及び向上のための施策の推進                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |   |
| ＊ 該当区分に○印          |        | (5)食を通じた社会環境の整備の促進                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        | ○ |
| 指標と目標値             |        | 光市健康づくり推進計画（平成 28～37 年度）より　※平成 32 年度中間評価予定<br>・朝食を毎日とっている児童生徒の割合：100％に近づける　・ほぼ毎日（週 6 日以上）朝食を摂取している人の割合：90％以上　・1 日 3 回野菜を食べる人の割合：増加　・主食、主菜、副菜のそろった食事を 1 日 2 回以上とる人の割合：70％以上　・家で料理をする機会がある人の割合：増加　・「食育」に関心がある人の割合：90％以上　・地元の食材を購入している人の割合：95％　・行事食を取り入れることを意識している人の割合：増加                                                                    |   |
| 現状と課題              |        | 本市の健康・食育に関するアンケート調査結果によると、1 日 3 回食事をしていない、なかでも 2 割前後の小中学生や成人、約 3 割の高校生が朝食を食べていない状況である。また、毎食野菜を摂取していない人や主食・主菜・副菜を摂取していない人が多い、一人で食事をする子どもや食事が楽しくない人がおり、ふれあいやつながりが希薄になっている現状がある。このことから、望ましい栄養摂取と食生活に関する意識の希薄、地元の食に関する意識の低下、食文化の継承などが課題である。                                                                                                   |   |
| 事業の目的              |        | 食育への関心を高め、望ましい食生活を実践する市民の増加を目指し、おすすめの旬の食材とその旬の食材を活用したレシピを紹介し、地産地消の推進を図るとともに、家庭における実践的な食の選択力・調理力の向上を図る。                                                                                                                                                                                                                                    |   |
| 対　象                |        | 光市民                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |   |
| 連携機関               |        | 市内の食料品を取扱う店舗、光市健康づくり推進計画市民協議会                                                                                                                                                                                                                                                                                                             |   |
| 実施時期               |        | 平成 28 年度～                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 |   |
| 事業内容               |        | ・開始 PR オープニングイベントの実施：平成 28 年 6 月 3 日　光市農業振興拠点施設「里の厨」<br>・普及啓発の実施：レシピカード（平成 28 年度作成配付）及びバランスアップリーフレット（平成 29 年度作成配付）の活用、旬の食材（野菜）PR：各月指定の旬の食材を使った料理のレシピカード及び 4 季節のバランスアップリーフレットを市内の食料品を扱う店舗等との連携による設置・配布等、「光の恵みいただきますレシピ」市広報及び市ホームページ・平成 29 年 6 月から市 facebook 掲載・配信、地域等の教各種室でレシピの活用。<br><br>※資料添付　　：　有　・ <input checked="" type="checkbox"/> |   |
| 評価                 | プロセス評価 | ・市内 11 店舗が設置に協力。レシピカード平成 28 年度 9,364 枚配付、バランスアップリーフレット（春夏秋冬）各 2,000 部作成・平成 29 年 10 月～秋を設置配付中。<br>・市広報レシピ掲載：年 11 回、市ホームページ掲載：平成 28 年度配信延 8 回、アクセス月平均 129 件<br>・地域等の教室で活用：平成 28 年度計 11 回・9 品・参加者延 269 人<br>・窓口やイベントでのレシピカード配布：平成 28 年度 1,047 枚                                                                                              |   |
|                    | 結果評価   | 上記指標について、山口県「健康づくりに関する県民意識調査」、光市「まちづくり市民アンケート調査」及び「健康・食育に関するアンケート調査」で評価予定。                                                                                                                                                                                                                                                                |   |
| 課　題                |        | 一方的な情報発信のため、今後は双方向の事業展開を検討する。                                                                                                                                                                                                                                                                                                             |   |
| その他                |        | 本事業について： <a href="https://www.city.hikari.lg.jp/kenkou/hikarinomegumi_28_6.html">https://www.city.hikari.lg.jp/kenkou/hikarinomegumi_28_6.html</a> （光市健康増進課 HP）                                                                                                                                                                           |   |
| 工夫した点              |        | 光市健康づくり推進計画市民協議会委員所属団体及び庁内他課等と連携した取組みとして実施したこと。また、市内店舗等との本事業の連携により、他の健康づくり事業に関する連携につながっている。                                                                                                                                                                                                                                               |   |

キーワード：光市健康づくり推進計画、光の恵みいただきます事業、食育

|      |                         |          |                                                                                      |
|------|-------------------------|----------|--------------------------------------------------------------------------------------|
| 実施主体 | 山口県光市<br>福祉保健部健康増進課     | 所在地      | 山口県光市光井二丁目 2 番 1 号                                                                   |
| 電話番号 | 0 8 3 3 - 7 4 - 3 0 0 7 | F A X 番号 | 0 8 3 3 - 7 4 - 3 0 7 2                                                              |
| 担当者  | 松尾咲子                    | E - mail | <a href="mailto:kenkouzoushin@city.hikari.lg.jp">kenkouzoushin@city.hikari.lg.jp</a> |

|                                     |        |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |   |
|-------------------------------------|--------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---|
| 事業名                                 |        | 医療機関等と連携した糖尿病対策（糖尿病についてのアンケート調査）                                                                                                                                                                                                                                                                                              |   |
| 行政栄養士の基本指針における位置づけ<br><br>* 該当区分に○印 |        | (3)生活習慣病の発症予防と重症化予防の徹底のための施策の推進                                                                                                                                                                                                                                                                                               | ○ |
|                                     |        | (4)社会生活を自律的に営むために必要な機能の維持及び向上のための施策の推進                                                                                                                                                                                                                                                                                        |   |
|                                     |        | (5)食を通じた社会環境の整備の促進                                                                                                                                                                                                                                                                                                            |   |
| 指標と目標値                              |        | ・ 西部圏域における糖尿病死亡率の改善（県の死亡率を下回る水準）H25:26.4<br>・ 糖尿病連携手帳の活用の増加（H26:28.1%）                                                                                                                                                                                                                                                        |   |
| 現状と課題                               |        | 徳島県は糖尿病による死亡率が全国的にも高く、その中でも美馬保健所管内においては、平成27年の糖尿病粗死亡率が25.4（徳島県14.8、全国10.6）と高く、糖尿病の発症予防から重症化予防まで、全ての課程における対策が重要となっている。<br>美馬保健所管内においては、平成15年度及び20年度に管内医療機関を介して糖尿病患者を対象としたアンケートを実施し、糖尿病治療や重症化予防のための施策に反映するためのニーズ調査を行っている。                                                                                                       |   |
| 事業の目的                               |        | 糖尿病在宅療養者の療養状況や課題、効果的な社会資源を把握し、今後の糖尿病対策における支援体制や環境整備に関する施策の基礎データとする。                                                                                                                                                                                                                                                           |   |
| 対 象                                 |        | 地域住民（2型糖尿病患者）                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 |   |
| 連携機関                                |        | 医師会、医療機関                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |   |
| 実施時期                                |        | 平成26年度から現在まで                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  |   |
| 事業内容                                |        | ○ 糖尿病についてのアンケート調査の実施（西部総合県民局として実施）<br>期間：平成26年10月14日から12月15日まで<br>対象：20歳から64歳までの2型糖尿病在宅療養者<br>項目：基本項目（性別・年齢等）、治療状況、療養状況、指導状況、合併症、職場や医療機関の状況等<br>方法：医療機関が調査期間に受診した者を対象に、調査票を手渡しし、その場で自記式にて記入。<br>回収数：558枚（有効枚数424枚）<br>○ アンケート結果に基づく糖尿病連携手帳の普及啓発<br>糖尿病連携手帳用カードの作成（平成27年度年度）、啓発（平成28年度）<br>※資料添付： 有 ・ <input type="checkbox"/> |   |
| 評価                                  | プロセス評価 | ・ アンケートの実施にあたり、医療機関を一軒一軒訪問することで、医療機関の現状や糖尿病療養に対する意識や実情を把握することができた。                                                                                                                                                                                                                                                            |   |
|                                     | 結果評価   | ・ アンケート結果から、糖尿病患者の現状が把握できるとともに、糖尿病連携手帳の普及の必要性が統計的に確認することができた。                                                                                                                                                                                                                                                                 |   |
| 課 題                                 |        | ・ 糖尿病患者の実情を把握するためのアンケートを実施するためには、マンパワーと日数を要する。（データ集計、報告書の作成にも日数を要した）<br>・ 医療機関の糖尿病治療等に対する意識に温度差があり、事業や施策への協力に差が生じる。                                                                                                                                                                                                           |   |
| その他                                 |        |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |   |

|       |                                                                                                                                                                                                                |
|-------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 工夫した点 | <ul style="list-style-type: none"> <li>医療機関にアンケートの調査依頼に訪問する際にも、医療機関の現状が把握できるように、共通の聞き取り様式を作成し、共通の内容が確認できるようにした。</li> <li>アンケート結果報告書を作成し、各医療機関に結果を報告するだけでなく、生活習慣病や食に関する会議等でも結果を報告し、関係機関への理解を促すようにした。</li> </ul> |
|-------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|

キーワード：糖尿病、糖尿病連携手帳、医療機関

|      |              |          |                                   |
|------|--------------|----------|-----------------------------------|
| 実施主体 | 徳島県西部総合県民局   | 所在地      | 徳島県美馬市穴吹町穴吹字明連23                  |
| 電話番号 | 0883-52-1016 | F A X 番号 | 0883-53-9446                      |
| 担当者  | 竹谷水香         | e - mail | taketani_mika_1@pref.tokushima.jp |

|                                     |        |                                                                                                                                                                                                                                                                                |   |
|-------------------------------------|--------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---|
| 事業名                                 |        | 子育て世代への食育支援事業（子育てクッキング）                                                                                                                                                                                                                                                        |   |
| 行政栄養士の基本指針における位置づけ<br><br>* 該当区分に○印 |        | (3)生活習慣病の発症予防と重症化予防の徹底のための施策の推進                                                                                                                                                                                                                                                | ○ |
|                                     |        | (4)社会生活を自律的に営むために必要な機能の維持及び向上のための施策の推進                                                                                                                                                                                                                                         |   |
|                                     |        | (5)食を通じた社会環境の整備の促進                                                                                                                                                                                                                                                             |   |
| 指標と目標値                              |        | 松茂町健康づくり計画<br>・肥満傾向にある子どもの割合の減少                                                                                                                                                                                                                                                |   |
| 現状と課題                               |        | 栄養・食生活は、生命を維持し、子どもたちが健やかに成長し、健康な生活を送るために欠くことのできない営みであり、多くの生活習慣の予防の観点から重要である。その中で子どもの肥満は将来の肥満や生活習慣病に結びつきやすいとの報告があり、学校保健統計調査（平成22年度）によると松茂町では小学5年生女子において肥満傾向の出現率が全国や徳島県より高くなっている。                                                                                                |   |
| 事業の目的                               |        | 小学生の朝食の欠食や偏りなどが肥満や生活習慣病につながるため、適切な食生活の基礎をつくるために、保護者への健康教育（講話、実習）を実施し、子どもの生活習慣病予防につなげる。またこれまで実施されなかった子育て世代へアプローチし家庭への波及効果を期待する。                                                                                                                                                 |   |
| 対 象                                 |        | 幼稚園児、小学生の保護者                                                                                                                                                                                                                                                                   |   |
| 連携機関                                |        |                                                                                                                                                                                                                                                                                |   |
| 実施時期                                |        | 平成29年5月から10月までの第2火曜日                                                                                                                                                                                                                                                           |   |
| 事業内容                                |        | ・ 広報による参加者募集（定員20名）<br>・ 5月から10月までの年間5回（無料）実施。<br>朝食の大切さ、子どものメタボリックシンドローム、糖尿病について、歯の健康、運動などについての講話により、子どものときからの食の大切さを理解する。<br>・ テーマにそった調理実習により、適切な食事量、バランス等を実際に確かめる。<br>平成14年から実施し、子育て世代への食育と健康づくりの啓発を実施する貴重な機会となっている。<br>※資料添付   ：   有   ・ <input checked="" type="radio"/> 無 |   |
| 評価                                  | プロセス評価 | 「自分や家族の食生活を見直す機会になった」「子どものときからの食生活が非常に大切であることがわかった」「家族での食事の時間に講話の内容を話す機会があった」などの参加者からの感想があった。                                                                                                                                                                                  |   |
|                                     | 結果評価   | 平成14年から継続して実施しており、食を通しての保護者間での情報交換もあり、子育て世代の生活環境を知ることでもできた。                                                                                                                                                                                                                    |   |
| 課 題                                 |        | 肥満予防には適切な食事量や正しい生活習慣を子どものときから身につけることが大切で、家族も巻き込んだ家庭での食育が重要なため内容の充実をはかり、多くの保護者に参加を求めたい。                                                                                                                                                                                         |   |
| その他                                 |        | 肥満傾向の子どもの減少という目標にはダイレクトには反映されないが、受講者の家庭の生活習慣がどのように変化したかを把握できるようにアンケート等実施することも必要                                                                                                                                                                                                |   |

|       |                                                                                 |
|-------|---------------------------------------------------------------------------------|
| 工夫した点 | 30分という短い時間での講話なため、わかりやすく要点をまとめた内容にし、調理も苦手な保護者も興味を示すようなメニューにし、家庭で取り入れやすいように工夫した。 |
|-------|---------------------------------------------------------------------------------|

キーワード：子育て世代への食育、子どもの生活習慣病予防

|      |              |        |                                      |
|------|--------------|--------|--------------------------------------|
| 実施主体 | 松茂町保健相談センター  | 所在地    | 徳島県板野郡松茂町広島字三番越2-2                   |
| 電話番号 | 088-683-4533 | FAX番号  | 088-699-4521                         |
| 担当者  | 山下 ひろみ       | E-mail | Hokensentamatsushige@image.ocn.ne.jp |

|                                     |        |                                                                                                                                                                                                                                                                                                |   |
|-------------------------------------|--------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---|
| 事業名                                 |        | 愛顔のE - IYOプロジェクト事業                                                                                                                                                                                                                                                                             |   |
| 行政栄養士の基本指針における位置づけ<br><br>* 該当区分に○印 |        | (3)生活習慣病の発症予防と重症化予防の徹底のための施策の推進                                                                                                                                                                                                                                                                |   |
|                                     |        | (4)社会生活を自律的に営むために必要な機能の維持及び向上のための施策の推進                                                                                                                                                                                                                                                         |   |
|                                     |        | (5)食を通じた社会環境の整備の促進                                                                                                                                                                                                                                                                             | ○ |
| 指標と目標値                              |        | 第3次愛媛県食育推進計画<br>県民一人当たりの野菜摂取量の増加 20歳以上 350g<br>朝食を欠食する若い世代の割合の減少 (20歳代～30歳代) 15%以下                                                                                                                                                                                                             |   |
| 現状と課題                               |        | 厚生労働科学研究費補助金「健康寿命における将来予測と生活習慣病対策の費用対効果に対する研究」では、愛媛県男性の健康寿命は69.63歳で全国42位（ワースト6位）、女性は73.83歳で全国19位であった。元気な愛媛づくりのためには、人の活力が不可欠であり、人の活力の源は、社会生活の基礎となる身体づくりにある。身体づくりに重要な食事の中で、今一度栄養に着目した施策が必要である。                                                                                                   |   |
| 事業の目的                               |        | 健康的な食生活を送ることは、「健康寿命の延伸」や「医療費や介護費の抑制」につながるほか、とかく不規則な食生活になりがちな若い世代が、正しい食生活を学び実践する機会を持つことは、子どもの食生活など、子育てにも良い影響を与えるため、「若い世代・働き盛り」にターゲットを絞り、平成28年度から3か年計画で食生活改善をサポートする取組を行う。                                                                                                                        |   |
| 対 象                                 |        | 愛媛県民                                                                                                                                                                                                                                                                                           |   |
| 連携機関                                |        | 松山東雲短期大学、済美高等学校、カゴメ（株）、（公社）愛媛県栄養士会                                                                                                                                                                                                                                                             |   |
| 実施時期                                |        | 平成28年度～                                                                                                                                                                                                                                                                                        |   |
| 事業内容                                |        | （平成29年度の取組み）<br>（1）「朝食をとろう！野菜de朝食」キャンペーン<br>①短大生、高校生による野菜を使った朝食レシピの開発とPR活動<br>②婚活イベントによる若い世代へのPR活動<br>（2）企業の食生活・栄養改善支援<br>①企業のE-IYOサポートプログラム<br>モデル企業の食生活・栄養改善の支援（県6保健所による実施）<br>②我が社のE - IYO名人育成研修会<br>県内企業の福利厚生担当者を対象に研修会を実施（栄養士会へ委託）<br>（3）「栄養先進県えひめ」の発信<br>リーフレットの作成、のぼり旗の作成<br>※資料添付：有・○無 |   |
| 評価                                  | プロセス評価 | 県民一人当たりの野菜の摂取量<br>20歳代及び30歳代の朝食の欠食率                                                                                                                                                                                                                                                            |   |
|                                     | 結果評価   | 上記指標について愛媛県県民健康調査で評価予定                                                                                                                                                                                                                                                                         |   |
| 課 題                                 |        | 事業の成果が短期間で反映されにくく、評価が難しいこと                                                                                                                                                                                                                                                                     |   |
| その他                                 |        | 本事業について：愛媛県HP<br><a href="https://www.pref.ehime.jp/h25500/kenkou/kenjou/eiyou/index.html">https://www.pref.ehime.jp/h25500/kenkou/kenjou/eiyou/index.html</a>                                                                                                                                 |   |
| 工夫した点                               |        | ロゴマーク、ポスター、リーフレットを作成し、共通媒体として啓発活動に活用している。<br>民間、学校と連携した官民学連携事業として幅広く事業を展開している。                                                                                                                                                                                                                 |   |

キーワード：E - IYOプロジェクト、朝食、野菜

|      |                        |        |                            |
|------|------------------------|--------|----------------------------|
| 実施主体 | 愛媛県保健福祉部健康衛生局<br>健康増進課 | 所在地    | 愛媛県松山市一番町四丁目4番地2           |
| 電話番号 | 089-912-2401           | FAX番号  | 089-912-2399               |
| 担当者  | 健康政策係 関谷 雅子            | E-mail | healthpro@pref.ehime.lg.jp |

|                                 |        |                                                                                                                      |   |
|---------------------------------|--------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---|
| 事業名                             |        | 健康づくりサポーター養成講座                                                                                                       |   |
| 行政栄養士の基本指針における位置づけ<br>* 該当区分に○印 |        | (3)生活習慣病の発症予防と重症化予防の徹底のための施策の推進                                                                                      |   |
|                                 |        | (4)社会生活を自律的に営むために必要な機能の維持及び向上のための施策の推進                                                                               | ○ |
|                                 |        | (5)食を通じた社会環境の整備の促進                                                                                                   |   |
| 指標と目標値                          |        | 第2次四国中央市健康づくり計画より<br>3食バランスのとれた食事をしている人の割合：60歳代 30%・・・目標値 80%<br>1日30分以上の運動をすることが週2日以上ある人の割合：60歳代 51.5%・・・目標値 80%    |   |
| 現状と課題                           |        | 高齢化社会の現代、平均寿命と健康寿命の間には、男女ともに差がある。誰もが最後まで健康でいきいきとした生活を送れるよう、栄養バランスと運動の重要性を周知する必要がある。                                  |   |
| 事業の目的                           |        | 地域の皆がいいききと元気なまちになるように健康づくりに関する知識や技術を学び地域に広めていく「地域健康リーダー」を養成する。                                                       |   |
| 対 象                             |        | 四国中央市民で40歳以上の方                                                                                                       |   |
| 連携機関                            |        | 四国中央市高齢介護課                                                                                                           |   |
| 実施時期                            |        | 平成29年6月15日                                                                                                           |   |
| 事業内容                            |        | 講話：PPT「ロコモ予防でずっと元気 いつまでも自分の足で歩くために！」<br>実技：DVD「毎日ながらロコモ運動！」を観ながらの運動<br>※資料添付： <input checked="" type="radio"/> 有 ・ 無 |   |
| 評価                              | プロセス評価 | ・60人定員参加者37人（参加率61.7%）<br>・アンケートより、ロコモ予防には、食事が重要であると認識した、食事と運動が大切だとよくわかった、との意見が多い。                                   |   |
|                                 | 結果評価   | 自分の健康維持や、地域活動に取り入れたいと思ってもらうことができた。                                                                                   |   |
| 課 題                             |        | 他の教室に参加している、同じ参加者である。新たな参加者の獲得が必要である。                                                                                |   |
| その他                             |        |                                                                                                                      |   |
| 工夫した点                           |        | 講話と実技で、より具体的に意識付けできるようにした。                                                                                           |   |

キーワード：

|      |                      |        |                                  |
|------|----------------------|--------|----------------------------------|
| 実施主体 | 愛媛県四国中央市<br>市民部保健推進課 | 所在地    | 愛媛県四国中央市三島宮川4丁目6番55号             |
| 電話番号 | 0896-28-6054         | FAX番号  | 0896-28-6110                     |
| 担当者  | 仲村 明美                | e-mail | Kaze24@city.shikokuchuo.ehime.jp |

H29年度

# 健康づくりサポーター養成講座

受講料**無料**・定員**60名**

受講生大募集!!

## 健康づくりサポーターとは？

地域の皆が、いきいきと元気なまちになるように健康づくりに関する知識や技術を学び、地域に広めていく『地域健康リーダー』のことです！一緒に健康づくりの輪を広げていきませんか？



**対象者：**四国中央市民で40歳以上の方 ※原則7回つづけて参加できる方

**持参品：**・筆記用具 ・水分、タオル（必要に応じて）※動きやすい服装でお越しください

### 第1回

6月15日（木）

時間：13:30～15:00

場所：四国中央市保健センター

内容『健康づくりサポーターとは？』

『体にうれしい元気印の食生活

～低栄養・ロコモ予防のために～』

講師：保健センター 栄養士

### 第2回

7月13日（木）

時間：13:30～15:00

場所：福祉会館4階多目的ホール

内容『ながら運動でイキイキ元気！』

講師：健康運動指導士 片山昭彦先生

### 第3回

8月3日（木）

時間：13:30～15:00

場所：四国中央市保健センター

内容『自分でできるメンタルヘルスケア

～認知行動療法を使って～』

講師：心と体の健康センター 平野美輪先生

### 第4回

10月18日（水）

時間：13:30～15:00

場所：四国中央市保健センター

内容『あなたもできるがん予防』

講師：厚生農業協同組合連合会 保健師・技師

### 第5回

11月29日（水）

時間：13:30～15:00

場所：福祉会館4階多目的ホール

内容『カラダも脳も元気はつらつ！

健康エクササイズ』

講師：健康運動指導士 芝亜紀先生

### 第6回

12月18日（月）

時間：13:30～15:00

場所：福祉会館4階多目的ホール

内容『地域みんなでロコモ予防』

講師：HITO病院 間島直彦先生

### 第7回

1月17日（水）

時間：13:30～15:30

場所：消防防災センター

内容『防災センター体験ツアー

～防災意識を高めよう！～』

講師：四国中央市 安全・危機管理課

お問合せ・お申込み先

四国中央市保健センター 健康増進係 電話：28-6054

|                                     |        |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             |   |
|-------------------------------------|--------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---|
| 事業名                                 |        | 児童福祉施設における「食事摂取基準」を活用した栄養管理への援助及び指導                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         |   |
| 行政栄養士の基本指針における位置づけ<br><br>* 該当区分に○印 |        | (3)生活習慣病の発症予防と重症化予防の徹底のための施策の推進                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             |   |
|                                     |        | (4)社会生活を自律的に営むために必要な機能の維持及び向上のための施策の推進                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |   |
|                                     |        | (5)食を通じた社会環境の整備の促進                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          | ○ |
| 指標と目標値                              |        | ・管理栄養士・栄養士を配置している施設の割合 H26：60.4%→H34：80%(福岡県健康増進計画の指標)<br>・栄養管理ソフトの導入率 H26：38.2%→H34：80%(福岡県健康増進計画を参考に設定)<br>・食事摂取基準に基づき給与栄養量の目標設定及び評価を栄養素レベルで実施している施設の割合<br>H28：65.5%→H34：80%(福岡県健康増進計画を参考に設定)                                                                                                                                                                                                             |   |
| 現状と課題                               |        | 食事摂取基準は健康な個人並びに集団を対象としているが、児童福祉施設についても厚生労働省からの通知(児童福祉施設における「食事摂取基準」を活用した食事計画:雇児母発 331 第 1 号 H27. 3. 31)や「児童福祉施設における食事の提供ガイド：平成22年3月」等にて、適切な活用に努めるようにと明示されている。しかし、児童福祉施設は給食を提供している他の施設に比べ、管理栄養士等の配置や栄養管理ソフトの導入が遅れていることもあり、食事摂取基準に基づく栄養管理を適切に実施している施設が少なく、子ども一人ひとりの発育・発達等を見る視点が欠けている場合も多く見受けられる。                                                                                                              |   |
| 事業の目的                               |        | 児童福祉施設において、適切な食事摂取基準を活用した栄養管理が実施されるよう援助及び指導を行うことで、入所する子ども達の健やかな発育・発達及び健康の維持・増進に寄与することを目的とする。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                |   |
| 対 象                                 |        | 管内の児童福祉施設（55施設）                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             |   |
| 連携機関                                |        | 京築保育協会保育士会                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  |   |
| 実施時期                                |        | 平成27年4月～                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |   |
| 事業内容                                |        | <p>&lt;個別指導&gt;</p> <p>巡回指導を活用し、施設長を対象に「食事摂取基準」を活用した個別栄養管理にシフトするためには、管理栄養士等の配置や栄養管理ソフトの導入が好ましいことを伝えた。また、必要に応じ、栄養給与目標量の設定を支援する等の個別指導を行った。</p> <p>&lt;集団指導&gt;</p> <p>メインテーマを「児童福祉施設における食事摂取基準を活用した個別栄養管理」とし、平成27年度から平成28年度にかけて5回シリーズで実施。対象を、施設長を含む多職種に広げ、目的や情報の共有を図った。また、担当者のモチベーションUPのため、取組が進んでいる施設の事例紹介を基に行動科学の手法を積極的に取り入れ、対象者自らの気付きややる気を引き出すことに心掛けた。</p> <p>※資料添付：<input checked="" type="radio"/>有・無</p> |   |
| 評価                                  | プロセス評価 | ・巡回指導の件数→平成27年度：28施設 平成28年度：27施設<br>・集団指導の回数及び参加者数→平成27年度：2回（109名）、平成28年度：3回（144名）<br>・京築保育協会保育士との協力体制の確立 ・施設長や担当者からの相談件数の増加                                                                                                                                                                                                                                                                                |   |
|                                     | 結果評価   | ・管理栄養士・栄養士を配置している施設の割合→H27：62.5%、H28:72.9%<br>・栄養管理ソフトの導入率→H27:45.5%、H28:63.6%                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              |   |
| 課 題                                 |        | ・施設長の理解及び多職種での目的や情報の共有（施設間で温度差有り）<br>・個別栄養管理に係る時間の確保（マンパワーの確保） ・担当者の知識及びスキルの向上                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              |   |
| その他                                 |        |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             |   |

|       |                                                                                                                             |
|-------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 工夫した点 | ・京築保育協会保育士会の役員と連携し、施設側の立場になって研修会を企画すると共に、行動科学の手法を取り入れ、自らの気付きを促しながら本音で語り合える場づくりに努めた。<br>・研修会の対象者を給食従事者だけでなく、施設長を始めとする多職種にした。 |
|-------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|

キーワード: 目的や情報の共有、多職種連携、説得より納得(自らの気付きを促す)

|      |                |        |                                 |
|------|----------------|--------|---------------------------------|
| 実施主体 | 福岡県京築保健福祉環境事務所 | 所在地    | 福岡県行橋市行事5丁目14-29                |
| 電話番号 | 0930-23-2690   | FAX番号  | 0930-23-4880                    |
| 担当者  | 健康増進課健康増進係 林田  | E-mail | Keichiku-hhe@pref.fukuoka.lg.jp |

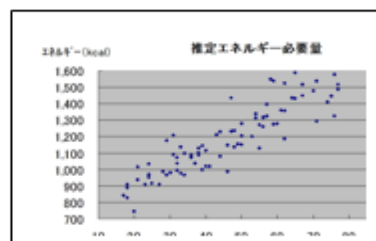
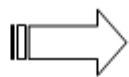
### 【集団指導の詳細】

| 年 月 日                                  | 内 容 及 び 成 果 等                                                                                                                                                                                                                                                                                 |
|----------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 平成 27 年<br>6 月 10 日<br>14:00～<br>15:00 | <p>【内容】○講話:保育所(園)給食の栄養管理について</p> <p>【成果等】京築保育協会保育士会と連携し、多くの保育士の参加も得ることができた。他職種と栄養管理に関する情報や課題を共有するきっかけとなった。 *参加者数: 65名</p>                                                                                                                                                                     |
| 平成 27 年<br>10 月 9 日<br>13:30～16:00     | <p>【内容】○報告:平成 27 年度巡回指導の結果について</p> <p>○講話及びグループワーク: 児童福祉施設における個別栄養管理について</p> <p>【成果等】実際に栄養管理ソフト(2 種類)を活用してデモンストレーションを行い、その後にグループワークを実施した。参加者の中には、PC 操作に対し苦手意識を持っている者もいたが「個別栄養管理や業務の簡素化のためにも導入したい。」という意見が多く出され、栄養管理ソフトに対する関心が高まった。 *参加者数: 44名</p>                                              |
| 平成 28 年<br>4 月 26 日<br>14:00～<br>16:30 | <p>【内容】○講話及び実習: 児童福祉施設における個別栄養管理の実際</p> <p>【成果等】希望した施設を対象にフォロー研修会を実施した。その場で各施設の栄養給与目標量を設定することが出来たが、その後の献立作成や提供した食事の評価等に課題が残った。 *参加者数: 20名</p>                                                                                                                                                 |
| 平成 28 年<br>6 月 9 日<br>14:00～<br>16:00  | <p>【内容】○講話及び事例検討: 保育所(園)給食の栄養管理について</p> <p>【成果等】京築保育協会保育士会と連携し、施設長を含む多職種の参加を得ることができた。個別栄養管理を施設全体の課題として捉え、さらに自らの気付きを促すような手法(ケースメソッドやグループダイナミクス)を使って研修会を運営したが、参加者からは「日頃から抱えている課題を、施設長や他職種と共有できた。」と好評であった。また、研修会以降に栄養管理ソフトに対する相談や、実際に導入する施設が増えた。 *参加者数: 69名</p>                                  |
| 平成 28 年<br>10 月 6 日<br>14:00～<br>16:30 | <p>【内容】○報告:平成 28 年度巡回指導の結果について</p> <p>○事例報告及びグループワーク: 児童福祉施設における個別栄養管理について</p> <p>【成果等】個別栄養管理や食育の取組が良好である施設からの事例報告を受け、その後、グループダイナミクスの手法を活用しながらグループワークを実施した。現場でしかわからない課題の解決方法などをまとめた報告を受け、参加者からは「悩んでいた事が解決できた。」等の意見が出された。年度末に実施した書面による個別指導の際に、報告した施設を参考に個別栄養管理に取り組み始めた施設も確認できた。 *参加者数: 55名</p> |

【参考資料】 児童福祉施設における食事摂取基準を活用した食事提供のために活用したツール等<sup>4)</sup>

\*厚生労働省からの通知や「児童福祉施設における食事の提供ガイド」を受け福岡県で作成。

①給与栄養目標量を設定するためのアセスメントシート（Excel のワークシート）



②児童福祉施設における「食事摂取基準」を活用した食事提供の進め方（例）～PDCAサイクルを踏まえて～



■ ■ ■ →献立管理・食育のサイクル

● ● ● →個別栄養管理のサイクル←

●このPDCAサイクルを施設長を含む多職種で回しながら、必要に応じ家庭との連携を図る。+

●栄養管理ソフトを導入することで、このPDCAサイクルを効率的に回すことが出来る。

|                                     |        |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |   |
|-------------------------------------|--------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---|
| 事業名                                 |        | 地域団体と連携した生活習慣病予防の取り組み                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         |   |
| 行政栄養士の基本指針における位置づけ<br><br>* 該当区分に○印 |        | (3)生活習慣病の発症予防と重症化予防の徹底のための施策の推進                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               | ○ |
|                                     |        | (4)社会生活を自律的に営むために必要な機能の維持及び向上のための施策の推進                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        |   |
|                                     |        | (5)食を通じた社会環境の整備の促進                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            |   |
| 指標と目標値                              |        | 「健康日本21福岡市計画」（平成25年度～32年度）の主要指標の1つである「健康づくりに取り組んでいる人の割合の上昇」を目指す。<br>【現状値（平成24年度）】57.6% ⇒ 【目標値（平成32年度）】75% （対象：20歳以上）                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          |   |
| 現状と課題                               |        | 福岡市民一人当たりの医療費は増加し続けており、その内訳をみると約4割を生活習慣病関連が占めている。また要介護状態となった原因を見ても、生活習慣病によるものが約3割を占めている。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |   |
| 事業の目的                               |        | 地域で健康づくりを進める団体に生活習慣病や食生活に関する現状や課題を周知する機会を設け、地域の健康課題の共有を図る。その上で、住民主体の健康づくり活動が一定の方向性を持って展開されるよう働きかける。また区内各校区の関係団体が一同に会することにより、連携協力の強化や健康づくりの機運醸成を図る。                                                                                                                                                                                                                                                                                                            |   |
| 対 象                                 |        | 東区自治組織会長会、東区衛生連合会、東区社会福祉協議会、東区公民館、東区食生活改善推進員協議会                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |   |
| 連携機関                                |        | 東区健康づくり実行委員会                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  |   |
| 実施時期                                |        | 平成19年度から現在まで                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  |   |
| 事業内容                                |        | <p>&lt;地域団体を対象とした啓発講習会の実施&gt;</p> <p>東区内29の小学校区ほぼ全てに、地域の様々な団体によって構成される「校区健康づくり実行委員会」が設置され、各校区の特色を活かした活動を行っている。これらの団体代表者一同を対象に、生活習慣病や健康づくりの現状と課題、国や市の施策や動向、時節に応じた食・栄養に関するテーマを設けた講習会を、毎年「福岡市生活習慣病予防月間」である2月に実施。</p> <p>近年は、この講習会の伝達という形で、各校区で地域住民を対象とした地域版啓発講習会が自主的に開催されるまでになっている。</p> <p>&lt;食生活改善推進員協議会の活動周知&gt;</p> <p>講習会と併せて、食生活改善推進員協議会が活動事例報告を行っている。生活習慣病予防の食生活普及に取り組む協議会活動への理解が広がり、関係団体との連携推進につながっている。</p> <p>※資料添付： 有 ・ <input type="checkbox"/> 無</p> |   |
| 評価                                  | プロセス評価 | ・健康づくり活動に取り組む関係団体や住民が、生活習慣病の現状や課題を認識する。<br>・食生活改善推進員の活動に関する理解が広がり、地域における活動の幅が広がる。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             |   |
|                                     | 結果評価   | 健康づくりに取り組んでいる市民（20歳以上）の割合が上昇する。<br>【現状値(H24年度)】57.6%→【目標値(H32年度)】75% （健康日本21福岡市計画（第2次））                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |   |
| 課 題                                 |        | ・地域とのつながりが薄い住民への啓発<br>・食生活改善推進員の未活動校区の解消                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |   |
| その他                                 |        |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |   |
| 工夫した点                               |        | 健康課題の共有を進め、校区での啓発活動実践に結びつけるため、魅力的な講習会となるよう内容を工夫している。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          |   |

キーワード：

|      |                  |        |                                  |
|------|------------------|--------|----------------------------------|
| 実施主体 | 福岡市東区保健福祉センター健康課 | 所在地    | 福岡市東区箱崎2丁目54-27                  |
| 電話番号 | 092-645-1078     | FAX番号  | 092-651-3844                     |
| 担当者  | 菰口 恵美            | E-mail | komoguchi.e01@city.fukuoka.lg.jp |

|                                 |        |                                                                                                                                                                                                                                                             |   |
|---------------------------------|--------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---|
| 事業名                             |        | 職域健康づくり支援モデル事業                                                                                                                                                                                                                                              |   |
| 行政栄養士の基本指針における位置づけ<br>* 該当区分に○印 |        | (3)生活習慣病の発症予防と重症化予防の徹底のための施策の推進                                                                                                                                                                                                                             | ○ |
|                                 |        | (4)社会生活を自律的に営むために必要な機能の維持及び向上のための施策の推進                                                                                                                                                                                                                      |   |
|                                 |        | (5)食を通じた社会環境の整備の促進                                                                                                                                                                                                                                          |   |
| 指標と目標値                          |        | 第2次佐賀県健康プラン指標：肥満の割合の減少（男性 30.5%⇒27.4%、女性 19.0%⇒16.3%）                                                                                                                                                                                                       |   |
| 現状と課題                           |        | <p>肥満は食事や身体活動などの生活習慣により引き起こされることが多く、平成23年県民健康栄養調査の結果では、特に本県は40歳代男性の肥満率が高かった。</p> <p>この年代の男性は、多くが企業など職域に属しているが、従業員の健康管理は本人にまかせていることが多く、従業員の健康対策は十分にできていない状況である。</p>                                                                                          |   |
| 事業の目的                           |        | <p>・モデル事業所を選定し、食生活や身体活動を中心とした指導・支援及び環境整備を行うことにより、事業所全体での取組を促し、従業員の生活習慣病の発症及び重症化予防を図る。</p> <p>・モデル事業の実施状況及び結果をもとに、今後の職域へのアプローチ等について検討を行う。</p>                                                                                                                |   |
| 対 象                             |        | 選定したモデル事業所の従業員                                                                                                                                                                                                                                              |   |
| 連携機関                            |        | 全国健康保険協会佐賀支部                                                                                                                                                                                                                                                |   |
| 実施時期                            |        | 平成28年9月～平成29年3月                                                                                                                                                                                                                                             |   |
| 事業内容                            |        | <p>【集団指導】主に3つのテーマ（「生活習慣病の予防」「健康的な食生活」「適度な運動」）で医師、保健師、管理栄養士、健康運動指導士による講話及び実技</p> <p>【個別指導】健診や2～3か月の個人の体重及び食事状況の記録をもとに、管理栄養士による個別指導</p> <p>【食環境整備】事業所周辺の健康づくり協力店（料理の栄養成分表示や健康に配慮した食事を提供する店）の増加など取組の強化</p> <p>※資料添付：有・<input checked="" type="checkbox"/>無</p> |   |
| 評価                              | プロセス評価 | <p>事業所A 集団指導1回50名参加、個別支援6名実施（食事調査32名）</p> <p>事業所B 集団指導1回38名参加、運動指導1回20名参加、個別支援15名実施（食事調査44名）</p>                                                                                                                                                            |   |
|                                 | 結果評価   | <p>・事業所における支援については、事業所のニーズに合わせた方法や内容で実施できた</p> <p>・実施回数など事業所の希望に合わせたこともあり、参加できる方が限られてしまい、全員の指導までにはいたらなかった。</p>                                                                                                                                              |   |
| 課 題                             |        | <p>・モデル事業での取組を職域全体に広げていくための広報や連携の在り方の検討が必要</p> <p>・事業所内の従業員にむけた情報発信の効果的効率的な方法の検討が必要</p>                                                                                                                                                                     |   |
| その他                             |        | 特になし                                                                                                                                                                                                                                                        |   |
| 工夫した点                           |        | <p>事業所の従業員の参加しやすい曜日、時間帯など、事業所の担当者と調整し実施した。</p> <p>支援内容についても、事業所側の意見や希望により実施した。</p>                                                                                                                                                                          |   |

キーワード：

|      |              |          |                                 |
|------|--------------|----------|---------------------------------|
| 実施主体 | 佐賀県健康増進課     | 所在地      | 佐賀市城内1-1-59                     |
| 電話番号 | 0952-25-7075 | F A X 番号 | 0952-25-7268                    |
| 担当者  | 村武悦子         | E - mail | muratake-etsuko@pref.saga.lg.jp |

|                                     |                                        |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                |   |
|-------------------------------------|----------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---|
| 事業名                                 |                                        | 管内栄養士・管理栄養士の人材育成事業                                                                                                                                                                                                                                                                                             |   |
| 行政栄養士の基本指針における位置づけ<br><br>* 該当区分に○印 | (3)生活習慣病の発症予防と重症化予防の徹底のための施策の推進        |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                |   |
|                                     | (4)社会生活を自律的に営むために必要な機能の維持及び向上のための施策の推進 |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                |   |
|                                     | (5)食を通じた社会環境の整備の促進                     |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                | ○ |
| 指標と目標値                              |                                        | ①市の事業に関わる栄養士・管理栄養士の登録制にして人数をあと3名程度確保する<br>②定期的に学習会を開き、栄養士・管理栄養士のレベルアップを目指す<br>③学習により未経験の職域にも従事できるようにする。                                                                                                                                                                                                        |   |
| 現状と課題                               |                                        | (現状) 現在武雄市では常勤の管理栄養士が1名。ほか常勤3名の管理栄養士が在籍し、主な母子保健事業と健康増進事業に従事している。このほかは個人在宅の栄養士に依頼して業務を行っている。<br>(課題) 核家族化により母子保健事業でのニーズが高まっている・糖尿病の重症化予防事業・地域包括事業や介護予防事業・食育事業の方面で、母子成人の保健指導、献立作成、調理実習、講話、イベントへの協力など幅広い業務形態へのニーズも高まっている。一方では栄養士・管理栄養士には女性が多いため、結婚・妊娠・介護などのライフイベントによる離職などがあり、継続・安定した栄養士業務の遂行が難しい状況。               |   |
| 事業の目的                               |                                        | 母子保健事業・健康増進事業・その他の事業に必要な栄養士・管理栄養士の掘り起しと力量形成<br>20代～60代まで幅広い世代の管内の有資格者の掘り起しと力量形成を行い、継続・安定した栄養業務ができるような環境整備を行う。                                                                                                                                                                                                  |   |
| 対 象                                 |                                        | 管内の有資格者                                                                                                                                                                                                                                                                                                        |   |
| 連携機関                                |                                        | 佐賀県栄養士会                                                                                                                                                                                                                                                                                                        |   |
| 実施時期                                |                                        | 平成29年4月～                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |   |
| 事業内容                                |                                        | ・市の事業に関わる・関わりたい栄養士・管理栄養士を登録制とした。<br>・在宅の栄養士・管理栄養士の掘り起しを行った。<br>・経験のある業務の力量形成のため、また未経験の職域へ挑戦するための学習会を開催した。<br>(平成29年度の主な学習会の内容)<br>母子・第1回：食事摂取基準の再学習(妊婦、授乳婦、乳児、小児)<br>母子・第2回：離乳食～国の支援ガイドについての再確認<br>母子・第3回：乳幼児相談～ケースごとの対応についての検証研究<br>成人・第1回：特定保健指導の学習会(腎についての学習会)<br>成人・第2回：特定保健指導の学習会(油脂についての学習会)<br>※資料添付： 無 |   |
| 評価                                  | プロセス評価                                 | ・離乳食指導の大切さが見直され乳幼児相談の時間が拡張される予定(予算確定すれば)                                                                                                                                                                                                                                                                       |   |
|                                     | 結果評価                                   | ・在宅栄養士の掘り起しを行い、新たに(2名)の登録があった。<br>・掘り起こした在宅の栄養士は経験はなかったが、母子保健業務に従事してもらうことができた(1名)<br>・登録した栄養士が新たな職域である食育事業(講話と実習)に従事できた(1名)<br>・担当によってばらつきがあった離乳食のスタート時の説明の深度が統一化・レベルアップした(7名)<br>・事例の共有により各栄養士が幅広い相談をカバーすることができるようになった(8名)                                                                                    |   |
| 課 題                                 |                                        | ・登録栄養士・管理栄養士の掘り起し<br>・学習会の継続                                                                                                                                                                                                                                                                                   |   |
| その他                                 |                                        | ・子育て世代への食育を推進する必要があることがみえてきた                                                                                                                                                                                                                                                                                   |   |
| 工夫した点                               |                                        | ・職域のちがう栄養士が集い、情報を共有することで、新たな職域への足掛かりとなるようにした。                                                                                                                                                                                                                                                                  |   |

キーワード：管内栄養士の連携

|      |     |
|------|-----|
| 実施主体 | 武雄市 |
|------|-----|

|                                 |                                        |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 |   |
|---------------------------------|----------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---|
| 事業名                             |                                        | 大村市介護予防事業・日常生活支援総合事業 食の自立支援コーディネート事業                                                                                                                                                                                                                                                                            |   |
| 行政栄養士の基本指針における位置づけ<br>* 該当区分に○印 | (3)生活習慣病の発症予防と重症化予防の徹底のための施策の推進        |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 |   |
|                                 | (4)社会生活を自律的に営むために必要な機能の維持及び向上のための施策の推進 |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 | ○ |
|                                 | (5)食を通じた社会環境の整備の促進                     |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 |   |
| 指標と目標値                          |                                        | 食生活の改善に関する相談件数（H29 目標 300 件 <u>H28 実施件数 260 件</u> ） 訪問指導実施件数（H29 目標 300 件 H28 実施訪問件数 213 件）栄養状態の改善したひとの割合 63%（H28）                                                                                                                                                                                              |   |
| 現状と課題                           |                                        | <p><b>現状</b>：急速な高齢化の進展に伴い、高齢者が要介護状態になる原因として、脳卒中をはじめとする「疾病」、「認知症」や「転倒」と並び、「高齢による衰弱（フレイル）」が挙げられる。</p> <p><b>課題</b>：フレイルは、低栄養との関連が極めて強く、高齢者が陥りやすい「低栄養」、「栄養欠乏」の問題の重要性が高まっている。</p>                                                                                                                                   |   |
| 事業の目的                           |                                        | <p><b>目的</b>：身体的又は生活環境の理由により食事の調理・確保が困難な大村市内の 65 歳以上の高齢者宅を訪問し、低栄養や栄養の偏りがみられる高齢者、認知機能低下や意欲の低下等により調理に支障がある高齢者に、個別に食の自立プランを提供するとともに、歯科衛生士と同行し支援することで誤嚥性肺炎や咀嚼力低下を防ぐなど、食生活の改善及び健康の増進を図ることを目的としている。</p>                                                                                                               |   |
| 対 象                             |                                        | 大村市内の 65 歳以上の高齢者                                                                                                                                                                                                                                                                                                |   |
| 連携機関                            |                                        | 大村市長寿介護課 大村市包括支援センター 大村市の医療機関 大村市介護保険事業所<br>大村市民生委員 大村市民間宅配サービス事業所等                                                                                                                                                                                                                                             |   |
| 実施時期                            |                                        | H27. 4～H29. 9. 30（現在）                                                                                                                                                                                                                                                                                           |   |
| 事業内容                            |                                        | <p><b>概要</b>：管理栄養士が、医療機関、介護施設、家族、ケアマネージャー、民生員から相談を受けて、在宅訪問を行うことで、本人の栄養状態の改善だけではなく、本人の自立支援に繋げることができる。</p> <p>① 管理栄養士が食のコーディネートを実施（PLAN・DO・CHECK・ACTION）し、継続訪問実施。</p> <p>② 歯科受診率の向上（歯科衛生士との同行訪問）</p> <p>③ 民間業者への幅広い活用と食の種類や内容の充実（社会資源の有効活用）</p> <p>④ 多職種を活用した食のコーディネート支援（医療機関、福祉施設等との連携）</p> <p>※資料添付 : 有 ・ 無</p> |   |
| 評価                              | プロセス評価                                 | <p>・食のニーズ調査票（独自）により、食生活、生活習慣、医療情報（血液検査・服薬等）を把握。</p> <p>※血液検査等の栄養指標の入手が困難な時には、簡易栄養状態評価表（MNA）を利用。</p> <p>・食のプラン（PLAN・DO・CHECK・ACTION）を作成し、必要に応じて定期的に継続訪問実施。</p> <p>・他職種の連携が必要な場合は、他職種（歯科衛生士・理学療法士・社会福祉士・ケアマネ等）と同行訪問。</p>                                                                                          |   |
|                                 | 結果評価                                   |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 |   |
| 課 題                             |                                        |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 |   |
| その他                             |                                        |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 |   |

|       |  |
|-------|--|
| 工夫した点 |  |
|-------|--|

キーワード：

|      |              |          |                               |
|------|--------------|----------|-------------------------------|
| 実施主体 | 大村市長寿介護課     | 所在地      | 長崎県大村市本町 458-2                |
| 電話番号 | 0957-53-8141 | F A X 番号 | 0957-53-8348                  |
| 担当者  | 寺道 和代        | E - mail | chouju@city.omura.nagasaki.jp |

|                                 |                                        |                                                                                                                                                               |   |
|---------------------------------|----------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---|
| 事業名                             |                                        | 高齢者施設等における食事管理体制の整備事業                                                                                                                                         |   |
| 行政栄養士の基本指針における位置づけ<br>* 該当区分に○印 | (3)生活習慣病の発症予防と重症化予防の徹底のための施策の推進        |                                                                                                                                                               |   |
|                                 | (4)社会生活を自律的に営むために必要な機能の維持及び向上のための施策の推進 |                                                                                                                                                               |   |
|                                 | (5)食を通じた社会環境の整備の促進                     |                                                                                                                                                               | ○ |
| 指標と目標値                          |                                        | 日本摂食・嚥下リハビリテーション学会嚥下食分類 2013 を理解し、自施設の食形態が学会分類のどのコードに位置づけされるかを理解する                                                                                            |   |
| 現状と課題                           |                                        | 医療機関や介護施設を入退院する患者（入所者）が、食事や栄養情報（食事形態や名称の違い）の提供不足から、摂食嚥下障害（誤嚥性肺炎等）を起こす等の事例がある。                                                                                 |   |
| 事業の目的                           |                                        | 施設間の栄養士・管理栄養士による食形態の情報共有を行うため、先進地事例を学びながら地域内の統一化を図る                                                                                                           |   |
| 対 象                             |                                        | 医療機関及び介護（福祉）施設の栄養士・管理栄養士                                                                                                                                      |   |
| 連携機関                            |                                        | 地域包括支援センター、くにさきホットネット                                                                                                                                         |   |
| 実施時期                            |                                        | 平成 28 年～29 年                                                                                                                                                  |   |
| 事業内容                            |                                        | 1. 先進地（くにさきホットネット）の取り組み事例を理解する。<br>2. 各施設毎の食形態（キザミを含む）と名称の一覧化<br>3. ソフト食の実習<br>4. 日本摂食・嚥下リハビリテーション学会嚥下食分類 2013 の理解<br>5. 栄養情報提供票（栄養サマリ）の様式作成<br><br>※資料添付 : 無 |   |
| 評価                              | プロセス評価                                 | 研修会参加施設数                                                                                                                                                      |   |
|                                 | 結果評価                                   | キザミ食の統一化（ミリ、センチでの表記）<br>日本摂食・嚥下リハビリテーション学会嚥下食分類 2013 で他施設へ情報提供する施設の数                                                                                          |   |
| 課 題                             |                                        | 施設内の食事形態の名称を変えるためには、栄養士以外の職員のコンセンサスが必要                                                                                                                        |   |
| その他                             |                                        |                                                                                                                                                               |   |

|       |  |
|-------|--|
| 工夫した点 |  |
|-------|--|

キーワード：食形態、嚥下食分類、栄養サマリー

|      |                         |          |                                                                                  |
|------|-------------------------|----------|----------------------------------------------------------------------------------|
| 実施主体 | 大分県豊肥保健所                | 所在地      | 大分県豊後大野市三重町市場 934-2                                                              |
| 電話番号 | 0 9 7 - 5 0 6 - 2 6 6 6 | F A X 番号 | 0 9 7 - 5 0 6 - 1 7 3 5                                                          |
| 担当者  | 安達 悦子                   | E - mail | <a href="mailto:adachi-etsuko@pref.oita.lg.jp">adachi-etsuko@pref.oita.lg.jp</a> |

|                                 |                                        |                                                                                                                                                                                                                                                             |   |
|---------------------------------|----------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---|
| 事業名                             |                                        | 高齢者サロン元気アップ講座                                                                                                                                                                                                                                               |   |
| 行政栄養士の基本指針における位置づけ<br>* 該当区分に○印 | (3)生活習慣病の発症予防と重症化予防の徹底のための施策の推進        |                                                                                                                                                                                                                                                             |   |
|                                 | (4)社会生活を自律的に営むために必要な機能の維持及び向上のための施策の推進 |                                                                                                                                                                                                                                                             | ○ |
|                                 | (5)食を通じた社会環境の整備の促進                     |                                                                                                                                                                                                                                                             |   |
| 指標と目標値                          |                                        | 継続参加者のうち、<br>① 10 食品群チェックシートを2週間以上記録した人の割合：80%以上<br>② ①のうち、1日の平均食品群数が7つ以上の人の割合：70%以上<br>③ 第1回時と比べて第2回時に食事のバランスが良くなったと思う人の割合：50%以上<br>④ 第1回時にBMI 20未満の人が第2回時に体重が増加または維持(±0.5kg以内)をした人の割合：100%                                                                |   |
| 現状と課題                           |                                        | 本市は平成26年度から地域包括支援センターに管理栄養士を配置し、地域ケア会議での助言、個別栄養指導、認知症予防教室・まちかど交流サロン・出前講座等における栄養指導、事業所ヘルパー研修等の高齢者の栄養改善事業を展開している。平成26～28年度の個別訪問指導の事業評価から、後期高齢者は前期高齢者と比較して低栄養の発症率が25%増加するが、高齢になるほど栄養状態の改善が難しく、指導効果が上がりにくい現状がある。低栄養の発症を予防するために、啓発の強化および地域ぐるみで継続した取組を進めていく必要がある。 |   |
| 事業の目的                           |                                        | 1、高齢者サロンを運営する代表者が、低栄養の問題とその予防の必要性および手法について理解ができサロン参加者に適宜必要な声かけや取組ができる。<br>2、サロンに参加する元気高齢者またはフレイルが顕在化しつつある高齢者が、低栄養の問題とその予防の必要性および手法について理解ができ、サロン全体で低栄養予防の意識が高まる。                                                                                             |   |
| 対 象                             |                                        | 高齢者サロンの参加者（5サロン）、継続参加実人数：60名（第1回参加者数：81名）                                                                                                                                                                                                                   |   |
| 連携機関                            |                                        | 杵築市社会福祉協議会、大分県栄養士会                                                                                                                                                                                                                                          |   |
| 実施時期                            |                                        | 平成29年7月～10月                                                                                                                                                                                                                                                 |   |
| 事業内容                            |                                        | 【第1回】<br>1、身長・体重測定 2、アセスメント 3、低栄養とは、低栄養を防ぐポイント～食事編～<br>4、低栄養予防簡単メニューの試食 5、低栄養予防のための取組の提案<br>【第2回】<br>1、体重測定 2、アセスメント 3、低栄養を防ぐポイント～歯科・口腔編～<br>4、低栄養予防簡単メニューの試食 5、取組状況の確認（10食品群チェックシートの提出）<br>※後日のサロン開催時に、10食品群チェックシートの分析結果を説明して返却<br>※資料添付：有・○無              |   |
| 評価                              | プロセス評価                                 | 事業の開催に向けて、高齢者サロン代表者を対象に低栄養に関する研修、および高齢者サロン元気アップ講座の事業説明を実施したことで、サロン代表者が事業目的を十分に理解した上で実施することができた。そのため、サロン代表者が参加者へ適宜必要な声かけを行い、サロン全体で継続した取組ができた。                                                                                                                |   |
|                                 | 結果評価                                   | 【指標の目標値達成状況】①83.3%、②72.0%、③55.0%、④91.7%<br>指標の①～③は目標を達成することができた。④については79歳女性で65日間の間に1.2kgの体重減少が生じた人がいた。減少の原因については10食品群チェックシート分析結果の返却時に確認予定。                                                                                                                  |   |
| 課 題                             |                                        | 第1回参加者の年齢層は最少年齢64歳から最高年齢99歳と幅が広く、70歳代以下と80歳代以上の人数がほぼ同じ割合であった。講座の継続参加率や低栄養予防のための取組の実施率は70歳代以下と80歳代以上で差が見られ、啓発事業においては対象を70歳代以下に絞ることが効果的であると考えられた。                                                                                                             |   |
| 工夫した点                           |                                        | 10食品群チェックシートは大分県栄養士会作成の「またくちにやさしいわ」を、試食の提供およびレシピ集の配布については「今日からできるおすすめレシピ」を使用し、県栄養士会の媒体を活用した。                                                                                                                                                                |   |

キーワード：低栄養予防、フレイル予防、高齢者サロン

|      |              |
|------|--------------|
| 実施主体 | 杵築市健康長寿あんしん課 |
|------|--------------|